

北栄町

# 公共施設個別施設計画

(第1期)

令和3年3月

# 目次

<b>第1編 公共施設の現状と公共施設個別施設計画</b> .....	<b>1</b>
第1章 公共施設個別施設計画の目的等について.....	1
1 公共施設個別施設計画の背景と目的.....	1
2 公共施設等総合管理計画の概要.....	1
3 計画の位置づけ.....	2
4 計画の対象施設.....	2
5 町民アンケート調査について.....	3
6 計画期間.....	4
7 将来構想.....	5
8 計画推進体制.....	5
第2章 管理に関する基本的な方針等について.....	6
1 管理に関する全体的な方針.....	6
2 耐震化の実施方針.....	6
3 長寿命化と省エネ化の実施方針.....	6
4 統合や廃止の推進方針.....	8
5 起債等の活用.....	8
<b>第2編 建物系施設の個別施設計画</b> .....	<b>9</b>
第1章 町民文化系施設及び社会教育系施設.....	9
第2章 スポーツ・レクリエーション系施設.....	30
第3章 産業系施設.....	45
第4章 学校教育系施設.....	48
第5章 子育て支援施設.....	63
第6章 保健・福祉施設.....	72
第7章 行政系施設.....	77
第8章 その他施設.....	83
 別添資料 公共施設に関するアンケート集計結果.....	 85

# 第1編 公共施設の現状と公共施設個別施設計画

## 第1章 公共施設個別施設計画の目的等について

### 1 公共施設個別施設計画の背景と目的

本町では、将来にわたって人口減少・少子高齢化が加速する一方、建設から相当の年数が経過した公共施設の整備にかかる費用負担の増加が見込まれるため、全ての公共施設を維持するのが困難になり、結果として住民サービスの質の低下が予測されます。こうした背景のもと、町では総務省の指針に基づき、限られた財源のなか、町民のニーズに対応した公共施設を利用したサービス提供を維持するため、長期的な視点に立って公共施設等の長寿命化や配置の見直しなど、公共施設等の総合かつ計画的な管理運営を行うため、その基本方針や改善方針、数値目標を示した「北栄町公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という）を平成28年度に策定しました。また、令和元年12月に本町が表明した気候非常事態宣言を踏まえて、全町でのゼロカーボン（人為起源のCO<sub>2</sub>の実質排出ゼロ）を実現するために、率先して公共施設からのエネルギー使用量を削減していく必要があります。

公共施設個別施設計画（以下、「本計画」という。）は、総合管理計画に定めた方針と気候非常事態宣言等に基づき、個別施設ごとの方向性やあり方を検討し、中長期的な視点に立った施設の適正化と効率的な管理運営を行うことを目的として、持続可能なまちづくりをめざします。



### 2 公共施設等総合管理計画の概要

平成28年度に策定した総合管理計画において、公共施設をそのまま保有し続けることを前提に更新費用を試算した結果、今後40年間で総額306.0億円（年平均7.7億円）かかることが分かりました。一方、直近の5年間で、公共施設等に要した投資的経費として確保できた予算は年間3.3億円であったため、今後の公共施設の更新のための財源不足が懸念される結果となりました。試算結果より、更新費用の削減のための全体目標を設定し、更新費用の削減を進めており、公共施設に関しては、総延床面積ベースで40%の削減を目標としています。

また、新たな公共施設の建設は極力控えることとし、既存の公共施設への統合や複合化、転用を検討するとともに、既存施設を可能な限り長く活用する長寿命化を図り、住民サービスの質が低下しないように配慮しつつ、施設の管理運営の効率化をすすめることで維持・修繕・更新に必要な財源を捻出することをめざします。

#### 延床面積の削減目標や今後の統廃合・複合化の基本的な考え方

- ・町全体としては延床面積ベースで40%削減
- ・比較的新しい施設は、統廃合や複合化の受け皿となる施設として活用
- ・今後の使用見込みのない施設は、譲渡や廃止等を推進

### 3 計画の位置づけ

本計画は、平成 28 年度に策定した総合管理計画の基本方針に基づき、公共施設（各施設グループごと）における具体的な施設計画を定めます。

北栄町まちづくりビジョン	北栄町気候非常事態宣言
北栄町公共施設等総合管理計画 公共施設やインフラ施設の全体的な状況や課題等を整理・把握し、長期的な視点に立って、公共施設等の総合的かつ計画的な管理運営を図るための基本的な方針を定めた計画	北栄町環境基本計画 環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための行動計画
<公共施設（公共建築物）> 北栄町公共施設個別施設計画 役場庁舎や文化施設など、施設ごとの CO2 排出量削減などを含めた保全や再編方針を示した計画	<インフラ施設> 分野ごとに策定 道路、橋梁、上下水道、農業集落排水、浄化槽、風力発電、光ファイバーケーブル
公共施設等個別施設計画： 総合管理計画の基本方針に基づき、個別施設の長寿命化やあり方など、中長期的な視点に立った施設の保全や再編方針を示した計画	

### 4 計画の対象施設

本計画の対象施設は総合管理計画に位置づけられた全ての公共施設（公共建築物）としました。

エネルギー使用量が大きな次の施設はエネルギー使用量を分析し施設分類ごとの計画として掲載しました。特にエネルギー使用量の大きな施設については、施設の老朽化状況や利用状況を確認するため、現地調査で施設の内外部、屋根（屋上）、また、老朽化が進んでいる箇所や不具合のある箇所を目視により確認しました。その結果をもとに、躯体のエネルギー効率診断を行い、施設の改修による効果を測定しました。

番号	施設分類	建物名	所在地	竣工年	延床面積 (㎡)	特にエネルギー使用量の大きな施設
1	町民文化系施設	中央公民館	土下 112	1978	1,739	○
2		北条農村環境改善センター	田井 7-1	1991	866	○
3		中央公民館大栄分館	由良宿 818	1970	1,178	○
4		大栄農村環境改善センター	由良宿 423-1	1981	1,314	○
5		ほくほくプラザ (北栄人権文化センター)	大島 1046-6	1984	593	
6	社会教育系施設	図書館	由良宿 803-1	1993	1,476	○
7		北栄みらい伝承館 (北条歴史民俗資料館)	田井 46-1	1989	420	
8		民芸実習館	田井 46-1	1989	312	

番号	施設分類	建物名	所在地	竣工年	延床面積 (㎡)	特にエネルギー 使用量の 大きな施設
9	スポーツ・レク リエーション系 施設	北条体育館	土下 112	1975	1,166	
10		大栄体育館	由良宿 797	1976	1,496	
11		大誠体育館	瀬戸 37-1	1964	598	
12		大栄ふれあい会館	下種 868	1990	930	
13		北条ふれあい会館	土下 100-3	1994	1,621	
14		勤労者体育センター	由良宿 223-2	1986	852	
15		B&G海洋センター	田井 428-1	1989	1,762	
16	産業系施設	大栄歴史文化学習館 (青山剛昌ふるさと館)	由良宿 1414	1994	891	
17	学校教育系施設	北条小学校	国坂 680	2009	6,672	○
18		北条中学校	土下 110-1	1994	7,131	○
19		大栄小学校	由良宿 209	1973	6,978	○
20		大栄中学校	由良宿 340	1964	7,474	○
21		北栄町学校給食センター	国坂 680	1996	958	
22	子育て支援施設	北条こども園	国坂 680	1981 2012	575 1,606	
23		由良こども園	由良宿 1802-1	1986	973	
24		大誠こども園	瀬戸 38-1	2004	1,330	
25		大谷こども園	大谷 2112-175	1982	592	
26	保健・福祉施設	北条健康福祉センター	土下 121-1	1999	813	
27		大栄健康増進センター	瀬戸 22-1	1996	1,365	
28	行政系施設	大栄庁舎	由良宿 423-1	1981	3,937	○
29		旧北条庁舎	土下 112	1977	2,099	○

## 5 町民アンケート調査について

公共施設の必要性や、今後どのように維持していくかなどについて、町民に公共施設に関するアンケート調査を実施しました。

調査方法	郵送による
アンケート対象者	住民基本台帳から無作為抽出した満 18 歳以上（4 月 1 日現在）の町民 1,145 人
調査期間	令和 2 年 9 月 14 日から 9 月 25 日まで
回収部数	448 部（回収率：39.1%）
主な質問内容	・回答者について（性別、年齢、家族構成、お住まい） ・公共施設について（施設の総量や配置の適正化、今後のあり方等）

## 6 計画期間

本計画の計画期間は令和 3（2021）年度から令和 12（2030）年度までの 10 年間です。

### 計画期間の概要

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	...	2030	...	2054	2055	2056			
	H28	29	30	R1	2	3	4	5	...	12	...	36	37	38			
総合 管理 計画	計画 策定																
個別 施設 計画					計画 策定												

公共施設の老朽化と人口減少を勘案し、施設の統廃合を含めた見直し検討が必要な施設、大規模改修・省エネ改修を行いながら 2060 年まで維持する施設※1 を抽出しました。見直し検討、改修検討は段階的に次のとおり計画します。（エネルギー使用量の大きな施設）

年代	2020 年代	2030 年代	2040 年代	2050 年代
見直し検討が 必要な施設	中央公民館大栄分館 大谷こども園 大誠体育館 勤労者体育センター	中央公民館 北条農村環境改善センター 北条健康福祉センター 旧北条庁舎 大栄小学校 大栄中学校	民芸実習館 北条体育館 大栄体育館 大誠こども園 由良こども園	北条こども園（旧部分）
2060 年まで維 持する施設※1  大規模改修・省 エネ改修の検討 年代別に記載	北条小学校 北条中学校 B&G 海洋センター 大栄歴史文化学習館 （青山剛昌ふるさと館） 図書館 大栄庁舎 大栄農村環境改善センター	学校給食センター 大栄健康増進センター ほくほくプラザ 大栄ふれあい会館	北栄みらい伝承館 北条ふれあい会館 （北条小学校）※2 （北条中学校）※2	北条こども園（増築部分）

※1 維持：施設の利用目的、位置、劣化状況を総合的に検討し、2060 年まで維持管理を行う予定の施設

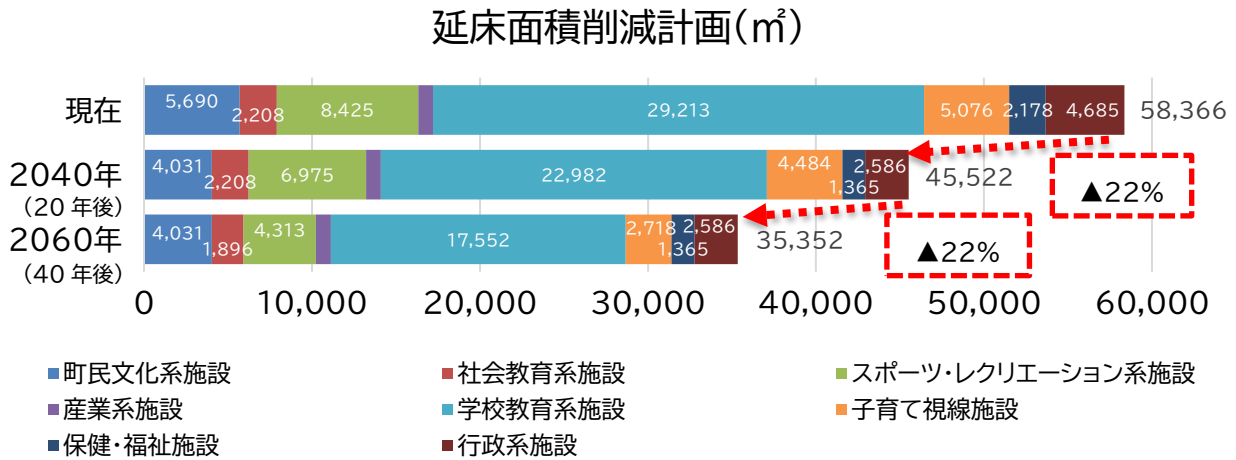
※2 学校施設の改修周期 20 年に基づく記載

維持する施設、見直し検討する年代別施設の延床面積は次のとおりです。

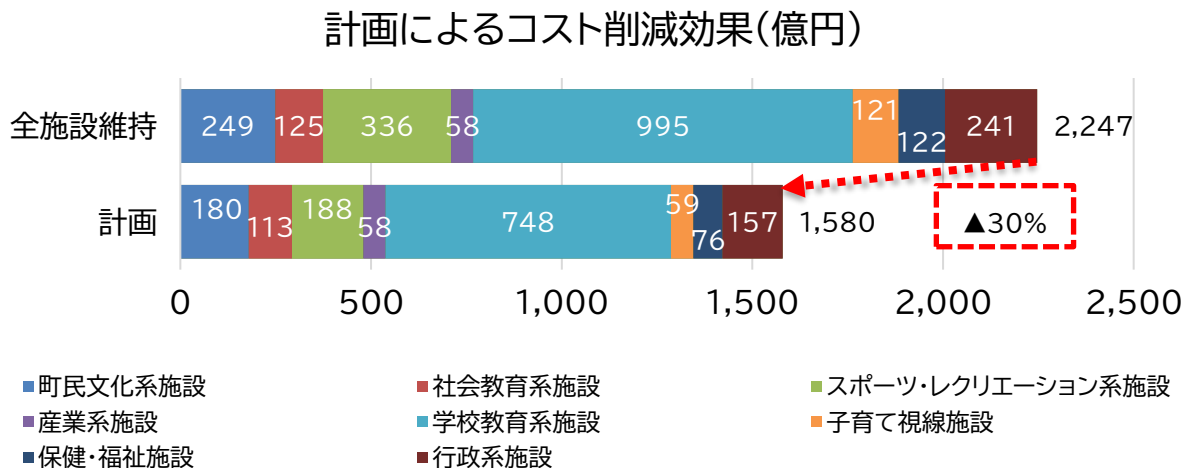


## 7 将来構想

人口減少社会を見据え、2060年（40年後）における対象公共施設の延床面積を次のとおり削減します。



本計画で施設の統廃合を進めることにより、施設の建替え、長寿命化にかかる将来コストを次のとおり削減する計画です。（※コストは公共施設等総合管理計画から抜粋）



## 8 計画推進体制

本計画を効果的かつ継続的に推進するため、公共施設に関する情報を全庁的に一元管理する部署と施設管理担当課が共同で進捗管理を行い、毎年度フォローアップを実施します。施設の更新等に関連する予算措置においては計画段階で財政担当課による事前協議を行うことで、公共施設保有総量の適正化を図ります。省エネルギー改修、再生可能エネルギー設備導入においては計画段階で地球温暖化対策担当課と事前協議を行うことで、効果的にCO<sub>2</sub>排出量を削減します。

計画内容は社会情勢の変化や事業の進捗状況等に応じて、計画期間中においても見直し、施設のあり方を検討するにあたっては、施設の利用者や地元、関係者等と十分な協議の上、進めるものとします。

## 第2章 管理に関する基本的な方針等について

### 1 管理に関する全体的な方針

#### (1)点検・診断等の実施方針

対症療法的な事後保全ではなく、計画的な予防保全の視点から点検・診断のための項目や方法を整理した上で、点検・診断を実施します。

また、その結果を情報として蓄積し、効率的・効果的なマネジメントと PDCA サイクル の実施を図ります。

技術系職員以外でも取り組めるような簡易劣化診断の仕組みづくりに努めます。

#### (2)維持管理・修繕・更新等の実施方針

公共施設については、日常的・定期的な点検・診断結果に基づき維持管理・修繕・更新の実施により機能を維持していきます。

ライフサイクルコストの低減をめざし、施設の重要度や劣化状況に応じて長期的な視点で優先度をつけて、計画的な改修・更新を行います。

施設の改修時期と改修箇所に合わせて省エネ改修を実施し、エネルギー使用量を削減します。

維持管理等については、指定管理者制度や PPP/PFI 等の民間活力の導入を検討するとともに、広域連携や民間施設の利用、地域移管、受益者負担の適正化等についても検討します。

#### (3)安全確保の実施方針

日常的・定期的な点検・診断結果に基づくデータベースから、優先度の高いものから修繕・更新を行い、安全性を確保することを検討します。

安全の確保にあたっては、多数の町民の利用がある施設であるかどうかなどの視点から、安全確保に必要な対策の対応の優先度を決定します。

点検・診断等により高度の危険性が認められた公共施設等については、優先的に安全を確保します。

今後維持していくことが難しい施設については、利用者の安全確保の観点から、早期での供用廃止といった措置を適切に図ります。

### 2 耐震化の実施方針

耐震化が十分でないものは、耐震化にかかる費用や利用状況を考慮しつつ耐震化を実施していきます。

防災拠点としての位置づけや、町民の利用状況などを考慮し、耐震化の優先順位を決定します。

### 3 長寿命化と省エネ化の実施方針

大規模改修されていないものの今後も保持する施設については、費用や利用状況を考慮しつつ大規模改修と省エネ改修を実施し、長寿命化と省エネ化を図ることにより長期的視点でコスト削減を図るとともに、エネルギー使用量削減による CO2 排出量の削減を行います。

新築する施設については、長期利用を見据えた躯体構造（平屋、木造、切妻・片流れの屋根等）を検討し、エネルギー消費性能については一次エネルギー消費量※3 を平成 28 年省エネルギー基準から 50%以上削減することをめざすとともに再生可能エネルギー設備の導入により CO2 排出量



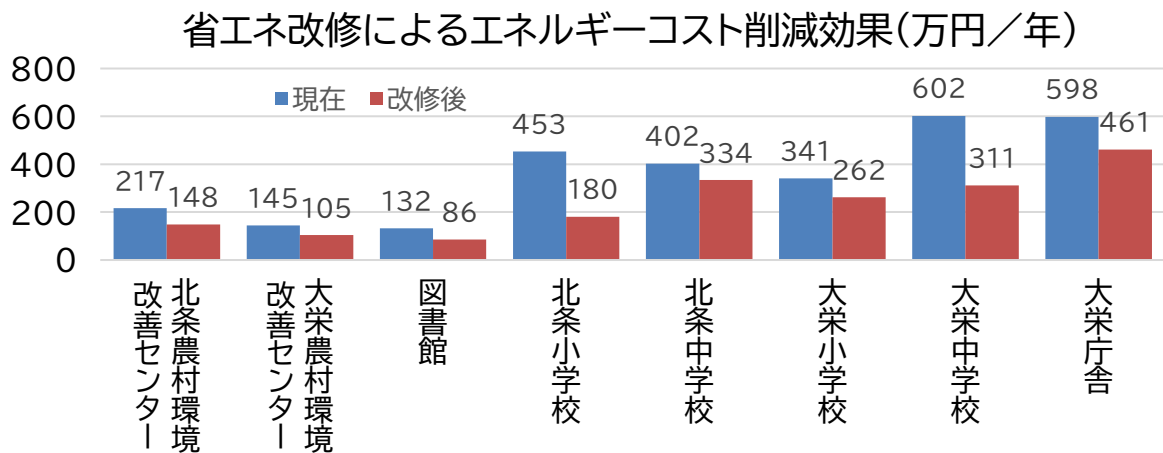
の削減を図ります。

※3 空気調和設備、空気調和設備以外の機械換気設備、照明設備、給湯設備及び昇降機(「その他一時エネルギー消費量」は除く)の使用エネルギーで、自然界から得られたままの(人為的な変換を行っていない)エネルギー

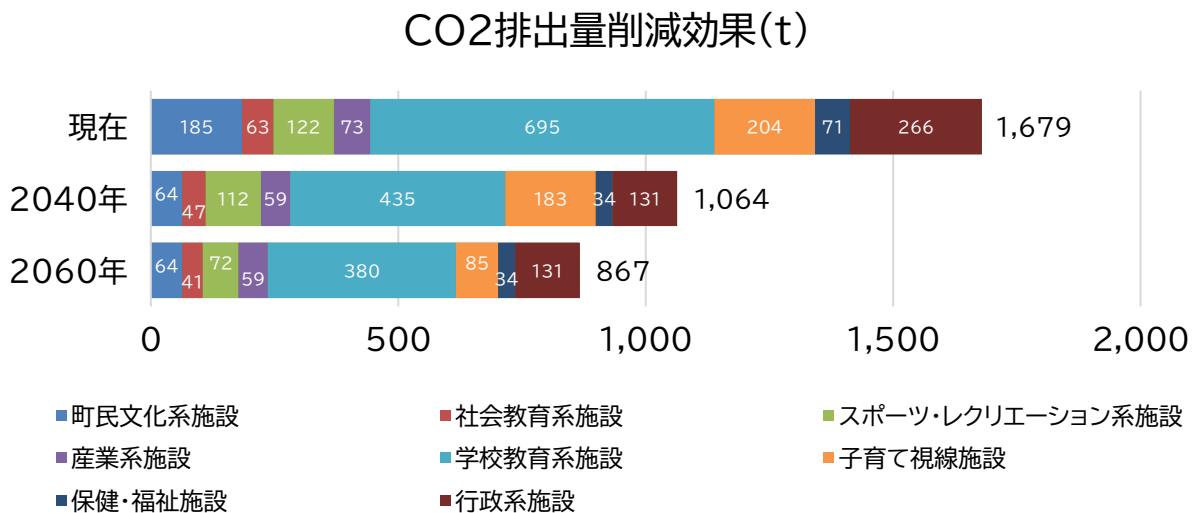
公共施設の耐用年数到来年度(公共施設の更新の対応時期)を把握し、他施設と複合化することが可能な施設については、必要な長寿命化を実施します。

建替周期は、大規模改修工事を経て概ね60年とし、その時点で診断を行い更に使用が可能であれば長寿命改修工事を行い80年まで長期使用しコストを削減することも検討します。

省エネルギー改修を行うことで、エネルギー使用量を削減でき、次のとおりコスト削減が図られます。(CO2削減効果が最大の省エネ改修で算出。内容は各施設の個別施設計画に記載。)



省エネルギー改修と施設の統廃合を行うことで、次のとおりCO2排出量の削減が図られます。



※上のグラフは公共施設の機能集約、廃止、複合化、省エネ化などによるCO2の排出量削減効果を試算したもので、2050年までに延床面積削減、省エネ改修後のエネルギー使用量(CO2排出量)については、再生可能エネルギー設備を導入することによりゼロカーボン(人為起源のCO2の実質排出ゼロ)とします。

#### 4 統合や廃止の推進方針

地域ごとの人口動態や町民ニーズ、財政状況や防災計画等を考慮し、全庁的な視点から公共施設の再編を進めていきます。

公共施設の見直しにあたっては、各施設のあり方検討の結果を尊重するとともに、最小のコストで必要なサービスを提供できるよう、建替更新時に行政サービスとして必要な水準や機能などを意識して、機能の集約、廃止、複合化等の検討を行います。

当該サービスが公共施設等でなければ提供不可能か、民間に代替できないかなど、公共施設等とサービスの関係について十分に留意します。

#### 5 起債等の活用

公共施設等適正管理推進事業債、過疎債等を活用し、公共施設の統廃合による適正配置の推進や長寿命化等により財政負担を軽減します。

## 第2編 建物系施設の個別施設計画

### 第1章 町民文化系施設及び社会教育系施設

#### 1 施設の現状と課題



施設分類	建物名	地区	延床面積 (㎡)	竣工年	経過年	耐震補強	統合・複合検討
町民文化系施設	中央公民館	北条	1,739	1978	41	H29 診断済 強度あり	○
	北条農村環境改善センター	北条	866	1991	29	—	○
	中央公民館大栄分館	大栄	1,178	1970	50	要検討	○
	大栄農村環境改善センター	大栄	1,314	1981	39	要検討	○
	ほくほくプラザ (北栄人権文化センター)	大栄	593	1984	36	—	
社会教育系施設	図書館	大栄	1,476	1993	27	—	○
	北栄みらい伝承館 (北条歴史民俗資料館)	北条	420	1989	31	—	○
	民芸実習館	北条	312	1989	31	—	○

町民文化系施設は、公民館等の集会系施設であり、概ね地域ごとに設置されており、町民活動の拠点として位置づけられる施設です。

昭和40年代に建築したものなど、老朽化が進行している施設もみられます。

稼働率は平均40%程度と利用度は低くないものの、利用者数は施設により異なる状況にあるため、今後建て替え等を行っていく際には、利用者数を適切に踏まえた規模とすることなどを検討する必要があります。

社会教育系施設は、図書館や博物館であり、社会教育活動の拠点として位置づけられる施設です。すべて新耐震基準で建てられた施設であり、現状ではハード面に大きな問題は見られません。

町民文化系施設と社会教育系施設には、会議やサークル活動等をはじめとする集会機能を有する施設が複数あることから、今後の住民の減少に応じて集約を検討していく必要があります。図書館や保健・福祉施設にも会議室があり、集会施設としての機能も有していることから、それらの施設との役割分担を検討していくことが必要です。

#### 2 施設のあり方についての基本方針

集会機能を有する施設は、町民活動の拠点としての機能を果たすことを目的とします。

会議室やホールといった集会機能が中心の施設は原則として大栄地区・北条地区に1つずつとします。また図書館や保健・福祉施設にも会議室があることから、今後の建替にあたっては、他施設の会議室等の利用状況を十分検討した規模のものとしします。

社会教育系施設等は、目的に沿った活動の拠点としての機能を果たすことを目的とし、中長期的には、利用度の推移を見据え、各施設の機能を有した上で複合化することを検討します。

### 3 施設概要とエネルギー使用量分析、検討方針

#### (1)中央公民館

番号	1
施設名	中央公民館



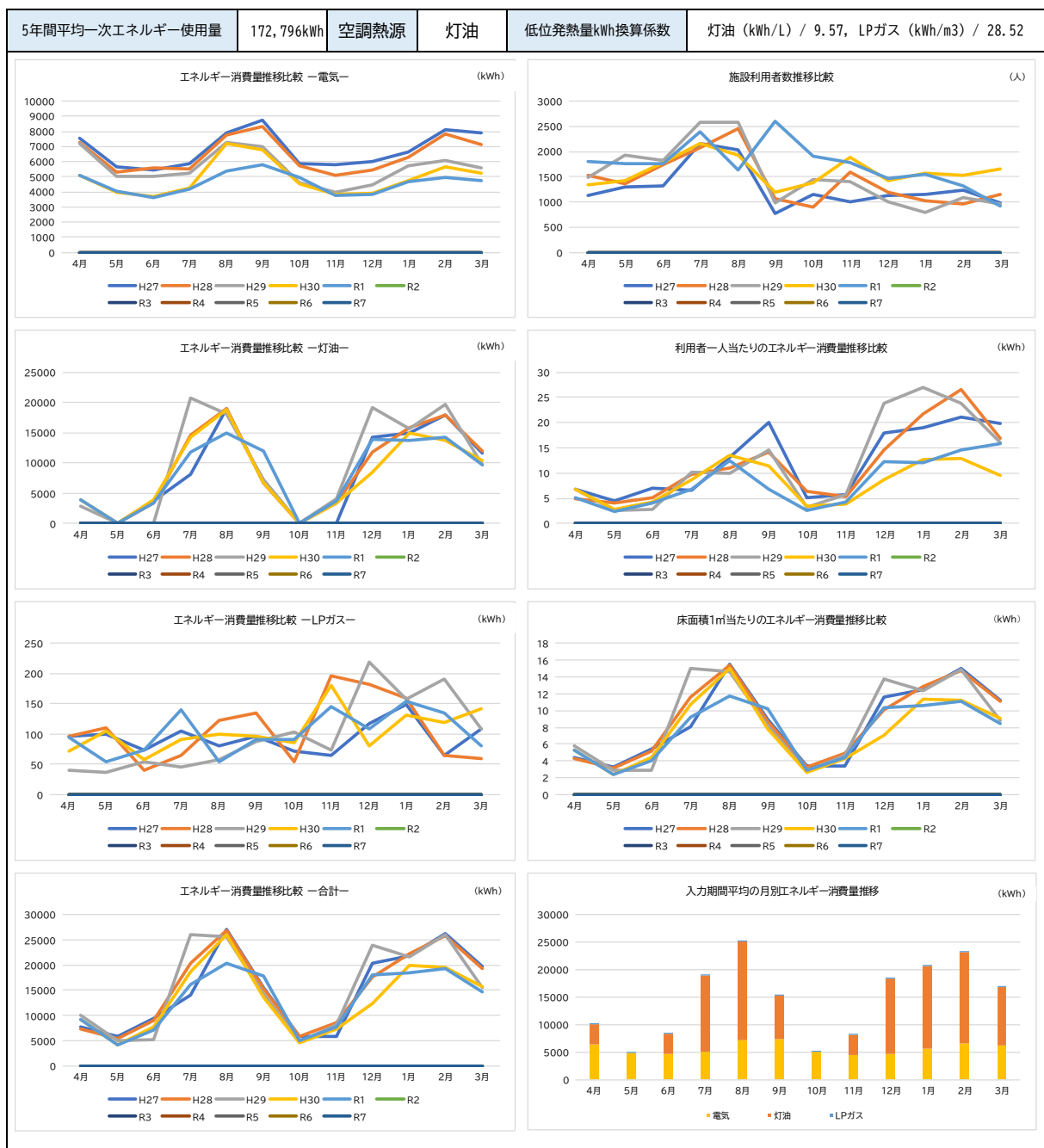
##### 1) 施設用途

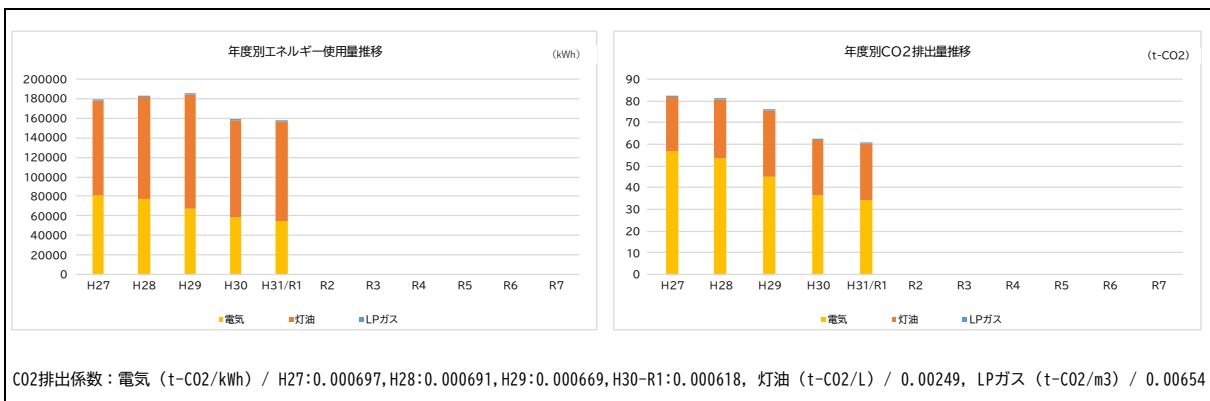
用途 (大分類)	町民文化系施設
用途 (中分類)	集会施設
所管課	中央公民館

##### 2) 建物概要

所在地	土下 112	地区	北条	構造種別	RC	階数	地上2	延床面積	1739㎡
竣工年	1979年	経過年数	41年	想定利用期限(50年利用想定)	2029年	残利用年数	9年	耐震補強	H29診断済 強度あり

##### 3) エネルギー性能





4) 利用状況

5年間平均利用者数	18,119人
利用状況	北条庁舎、中央公民館、北条体育館のメーターと一緒にしているため、0.60・0.12・0.28の割合で電気使用量を按分した。これはH30～R1における電力・子メーターの使用量から、年度、季節を通じて安定して上述の割合で電気の使用があったため、この数値で一括することとした。 高齢の方が多く利用されているが最も使用頻度の高い講堂が2階にあるため、エレベーター設置の要望がある。1階の図書室は広くはないが非常に好評で、町民にとって重要な施設機能となっている。
客観的な分析結果	灯油を使用した吸収式空調機を使用しており、夏季・冬季共に灯油によるエネルギー使用量が非常に大きい。機器の劣化が進んでいるが、建物の劣化も大分進んでいるため、長期利用を想定して改修を行うとしても多大なコストが発生することが想定される。

5) 建物状況

主な劣化状況	調理室/壁の構造クラック 屋上/保護モルタル目地の草の繁殖
診断結果	調理室に構造クラックと思われるひび割れあり。 屋上全体において保護モルタル目地から草が繁殖しており、防水が機能していない可能性あり。

6) 検討方針と実行年代

検討方針	【共通】…中央公民館・北条農村環境改善センター・北条健康福祉センター・旧北条庁舎 北条エリアの人口に見合った形で、点在する貸会議室機能を集約するなど周囲の公共施設機能の再編を検討し、利用目的に沿った比較的状态の良い施設を受け皿とする。  【中央公民館】 建物全体、設備において劣化が進んでいることや、高齢者にとって使いにくい（エレベーターが無いなど）課題があることなどから建物の大きな改修はせず、現在ある機能は他の施設に移すことを含めて再編を検討し、その結果により解体等を実施する。
実行年代	2030年代早期 周辺施設再編検討

## (2)北条農村環境改善センター

番号	2
施設名	北条農村環境改善センター



### 1) 施設用途

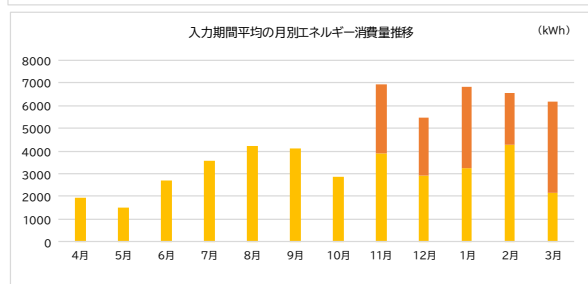
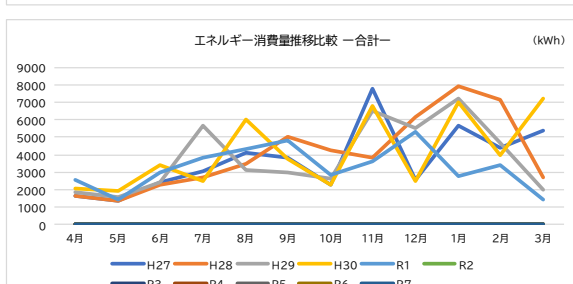
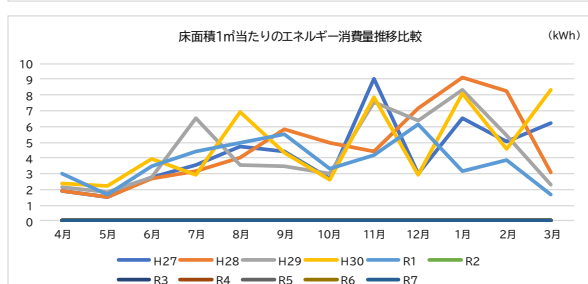
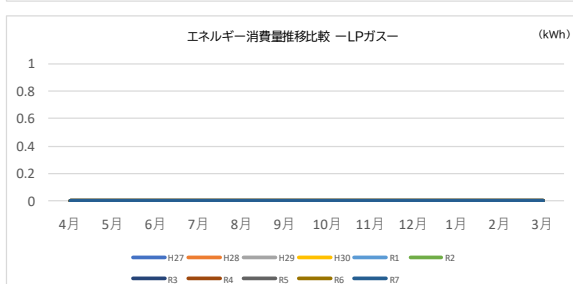
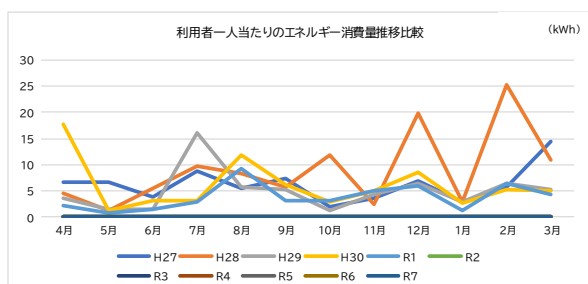
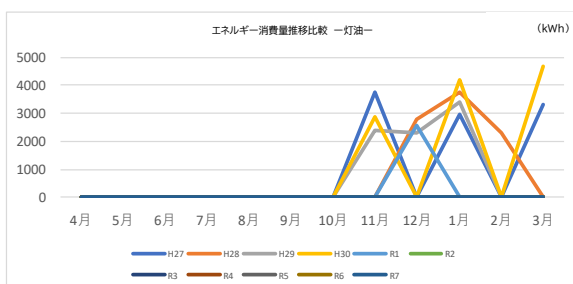
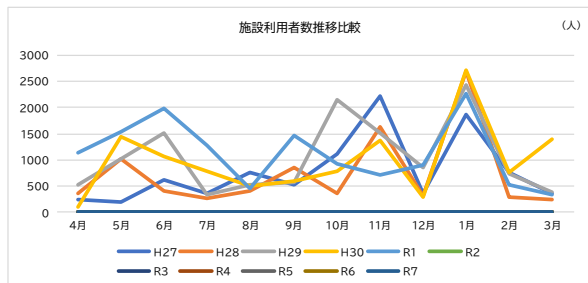
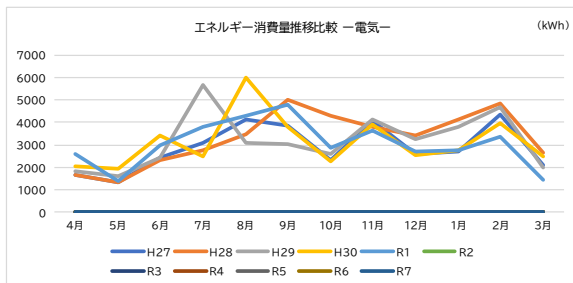
用途 (大分類)	産業系施設
用途 (中分類)	産業振興施設
所管課	総務課

### 2) 建物概要

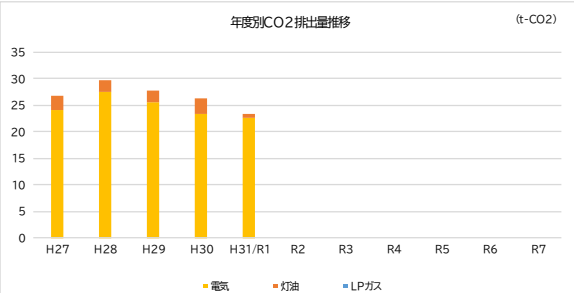
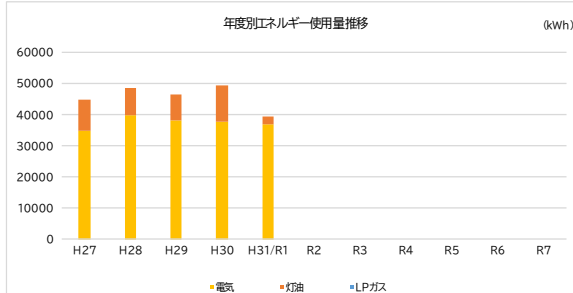
所在地	田井 7-1	地区	北条	構造種別	RC	階数	地上1	延床面積	866㎡
竣工年	1991年	経過年数	29年	想定利用期限(50年利用想定)	2041年	残利用年数	21年	耐震補強	—

### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	45,657kWh	空調熱源	電気	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m3) / 28.52
-----------------	-----------	------	----	--------------	--







CO2排出係数：電気 (t-CO2/kWh) / H27:0.000697, H28:0.000691, H29:0.000669, H30-R1:0.000618, 灯油 (t-CO2/L) / 0.00249, LPガス (t-CO2/m3) / 0.00654

4) 利用状況

5年間平均利用者数	11,223人
利用状況	施設の状態は良く、平屋のため高齢者や障がいを持った方でも使いやすい。北条エリアにおける式典などの利用に適している。施設利用頻度が高くないこともあり、常駐職員が不在。利用時は離れた北栄町役場北条支所で鍵を借りてもらい開錠している。土日祝日は中央公民館で鍵の貸し出しをしている。
客観的な分析結果	大研修室は広く平屋なので縦の移動が無く高齢者にも使いやすいと考えられるので、中央公民館の2階にある講堂利用者はこちらを積極的に利用してもらうなど、活用のポテンシャルが高いと思われる。 中央公民館や役場支所機能を近くに設けることができれば、より活用しやすい施設にできると考えられるので、建物の状態も良いことから、省エネルギー改修を行い、長期利用を想定する。

5) 建物状況

主な劣化状況	周囲犬走/クラック	外壁/クラック
		
診断結果	建物のコンディションが比較的良く、すぐに大きな問題になるような劣化は見られないので、定期点検と補修を継続することで長く使い続けられる。	

6) 検討方針と実行年代

検討方針	【共通】…中央公民館・北条農村環境改善センター・北条健康福祉センター・旧北条庁舎 北条エリアの人口に見合った形で、点在する貸会議室機能を集約するなど周囲の公共施設機能の再編を検討し、利用目的に沿った比較的状态の良い施設を受け皿とする。  【北条農村環境改善センター】 比較的建物の状態が良く、平屋で大研修室を備えて事務室などが確保できる設計で、教育施設と文化施設の中間にあるという立地条件に恵まれており、活用のポテンシャルが高い。統廃合や複合化の受け皿となる可能性があるため、定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、適切な時期に省エネルギー改修を行うことを検討する。再編検討の結果により改修等を実施する。	
実行年代	2030年代早期	周辺施設再編検討（用途改修と増築（長寿命化・省エネ改修含む））

7) 省エネルギー改修の例

施設名	北条農村環境改善センター		年間CO2排出量	25.3t-CO2
省エネ改修の内容	屋根断熱設置			
改修費	総費用	うち補助金	町費	
	6,405,000円	0円	6,405,000円	
エネルギー削減効果（年間）	エネルギー種別・量		光熱費	CO2
	電気	-4,239kWh	-121,550円	-1.8t-CO2
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月	
	53年	2073年	年 月	
その他	建物の状態が良く、今後長期間の利用ができる施設である。 屋上防水のめくれ等の劣化があり、修繕の際に屋根断熱を行う。			

施設名	北条農村環境改善センター		年間CO2排出量	25.3t-CO2																									
省エネ改修の内容	内窓+外付シェード設置																												
改修費	総費用	うち補助金	町費																										
	6,040,000円	0円	6,040,000円																										
エネルギー削減効果（年間）	エネルギー種別・量		光熱費	CO2																									
	電気	-5,784kWh	-287,445円	-3.3t-CO2																									
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月																										
	21年	2041年	年 月																										
その他	<p>現状の施設利用率が36%程度に留まっているが、劣化の進んでいる中央公民館の機能を加えるなど、利用率を高めて、長期間利用するのであれば、さらに外壁断熱について検討する。</p> <table border="1" data-bbox="587 1570 1380 1832"> <thead> <tr> <th>省エネルギー改修案</th> <th>改修コスト (千円)</th> <th>CO2 削減効果 (t/年)</th> <th>光熱費の 削減効果 (円/年)</th> <th>投資回収 年数 (年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋根断熱設置</td> <td>6,405</td> <td>-1.8</td> <td>-121,550</td> <td>52.7</td> </tr> <tr> <td>内窓+外付シェード設置</td> <td>6,040</td> <td>-3.3</td> <td>-287,445</td> <td>21.0</td> </tr> <tr> <td>屋根断熱+内窓+外付シェード設置</td> <td>12,445</td> <td>-5.7</td> <td>-464,017</td> <td>26.8</td> </tr> <tr> <td>屋根断熱+内窓+外付シェード+外壁断熱設置</td> <td>31,695</td> <td>-8.9</td> <td>-699,195</td> <td>45.3</td> </tr> </tbody> </table>				省エネルギー改修案	改修コスト (千円)	CO2 削減効果 (t/年)	光熱費の 削減効果 (円/年)	投資回収 年数 (年)	屋根断熱設置	6,405	-1.8	-121,550	52.7	内窓+外付シェード設置	6,040	-3.3	-287,445	21.0	屋根断熱+内窓+外付シェード設置	12,445	-5.7	-464,017	26.8	屋根断熱+内窓+外付シェード+外壁断熱設置	31,695	-8.9	-699,195	45.3
省エネルギー改修案	改修コスト (千円)	CO2 削減効果 (t/年)	光熱費の 削減効果 (円/年)	投資回収 年数 (年)																									
屋根断熱設置	6,405	-1.8	-121,550	52.7																									
内窓+外付シェード設置	6,040	-3.3	-287,445	21.0																									
屋根断熱+内窓+外付シェード設置	12,445	-5.7	-464,017	26.8																									
屋根断熱+内窓+外付シェード+外壁断熱設置	31,695	-8.9	-699,195	45.3																									



### (3)中央公民館大栄分館

番号	3
施設名	中央公民館大栄分館



#### 1) 施設用途

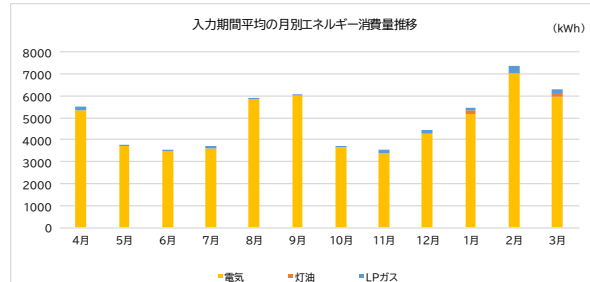
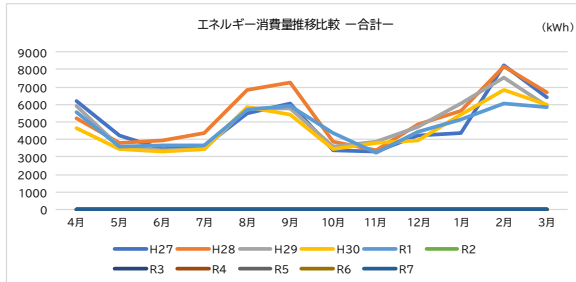
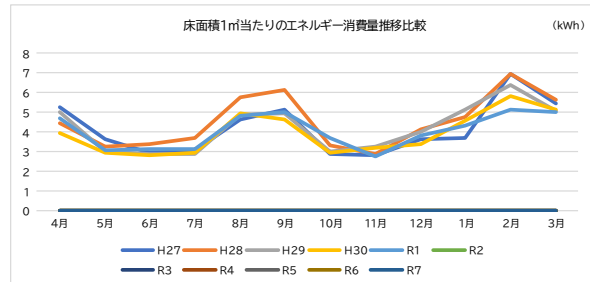
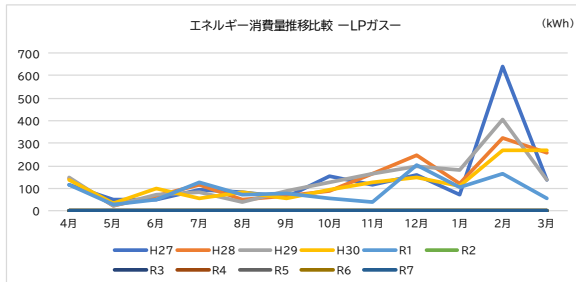
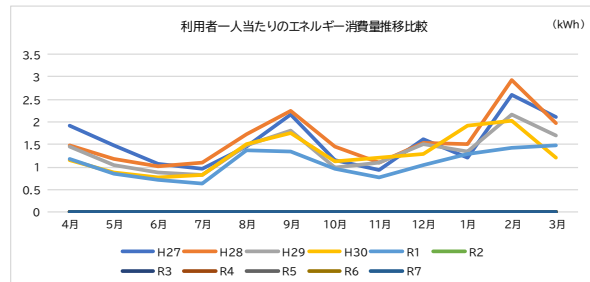
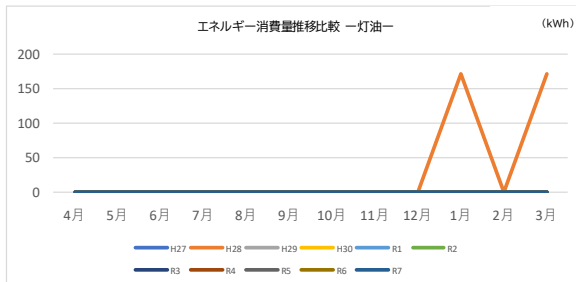
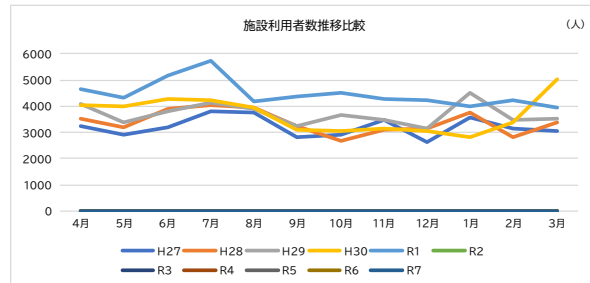
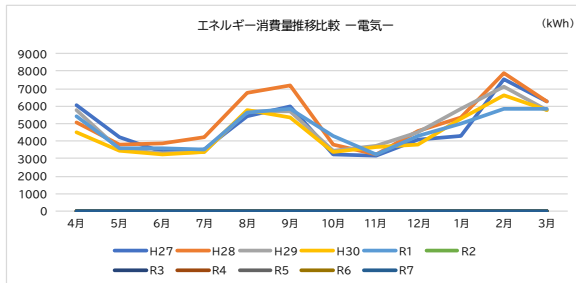
用途 (大分類)	町民文化系施設
用途 (中分類)	集会施設
所管課	中央公民館

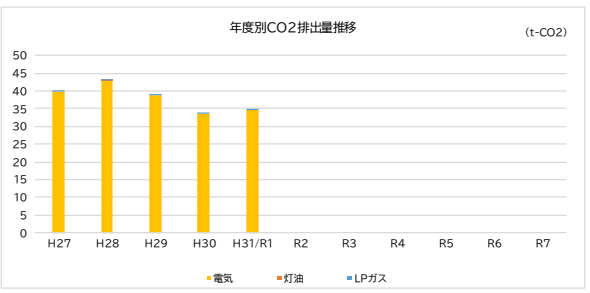
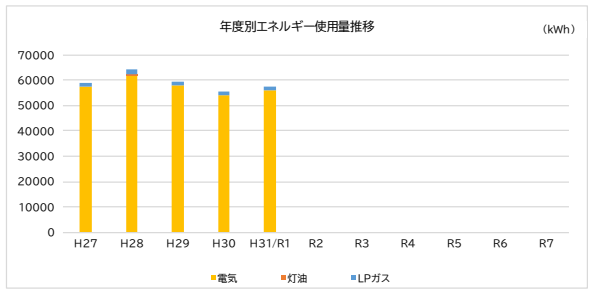
#### 2) 建物概要

所在地	由良宿 818	地区	大栄	構造種別	RC	階数	地上2	延床面積	1178㎡
竣工年	1970年	経過年数	50年	想定利用期限(50年利用想定)	2020年	残利用年数	0年	耐震補強	要検討

#### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	59,088kWh	空調熱源	電気	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m <sup>3</sup> ) / 28.52
-----------------	-----------	------	----	--------------	---





CO2排出係数：電気 (t-CO2/kWh) / H27:0.000697, H28:0.000691, H29:0.000669, H30-R1:0.000618, 灯油 (t-CO2/L) / 0.00249, LPガス (t-CO2/m3) / 0.00654

4) 利用状況

5年間平均利用者数 44,223人

**利用状況**  
 図書館と大栄体育館のメーターと一緒にしているため、図書館の電気使用量から大栄体育館の電気使用量を差し引いた上で、図書館と床面積按分して電気使用量を算出した。  
 トイレが男女兼用、授乳室が無い、エレベーターが無く高齢者が2階の研修室を利用することが大変等、施設用途や機能が町民のニーズに対応できていない。20代、30代の子育て世代の利用が少ないが、この世代が利用しやすい施設となることを望む声は多い。

**客観的な分析結果**  
 施設の改善が求められるが、建物の耐震性能が低く、劣化も非常に進んでしまっている。また、2階の床が建築基準法で定められる水平基準よりも大きく傾いており、建設時から施工に問題があった可能性も考えられる。  
 公民館の機能の充実が求められているので、建て直して町民の方々が活用しやすい施設に作り変えることが好ましい。

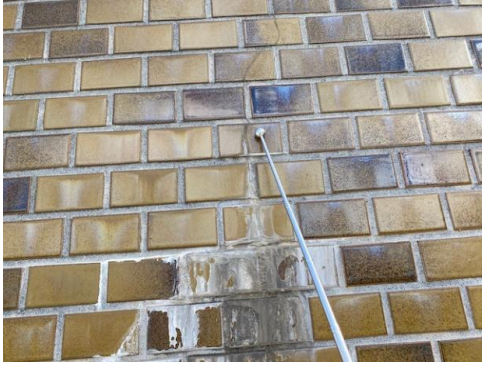
5) 建物状況

主な劣化状況

2階床/床の傾き (欠陥建築の判定)



外壁/クラック及びエフロ現象



**診断結果**  
 全体的に老朽化が進んでおり、大規模修繕、改造などを施したとしても、十分な機能性・快適性の向上は期待できない。  
 2階床において、1mで1cmの傾きが確認され、許容値6mmを超えるため欠陥建築の判定。

6) 検討方針と実行年代

検討方針	建物、設備の老朽化が進んでおり、そのまま使い続けることは困難な状況である。中央公民館大栄分館施設のあり方検討委員会の答申を踏まえ、必要機能を確保した上で財政・利便性の向上等について考慮し、公共・民間を問わず、他施設との複合も想定して建て替え等を検討する。	
実行年代	2020年代	建て替え・複合化検討
他施設との複合化検討の例	<p>①図書館と統合する形で最小限の規模で新築          ・放課後児童クラブは大栄分館からの移転を検討する。          ・大栄分館の新設部分には、現在の図書館2Fの会議室機能、大栄農村環境改善センターのホール、会議室の貸館機能を含めることも検討する。</p> <p>②図書館と統合しサードプレイスとしての分館          ・周辺の体育館も含めた駐車場の配置を再考して、コナン駅（由良駅）からの人の流れを呼び込むような形態を作り、公園部分を配置して全ての世代にとって魅力的な空間提供を検討する。</p> <p>③大栄農村環境改善センターと統合</p> <p>④大栄健康増進センターと統合</p> <p>⑤その他の施設との統合・合築</p>	

#### (4)大栄農村環境改善センター

番号	4
施設名	大栄農村環境改善センター



©青山剛昌/小学館

##### 1) 施設用途

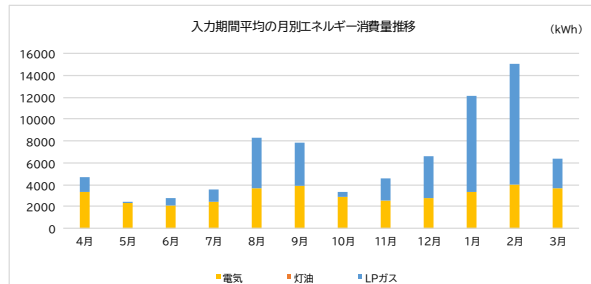
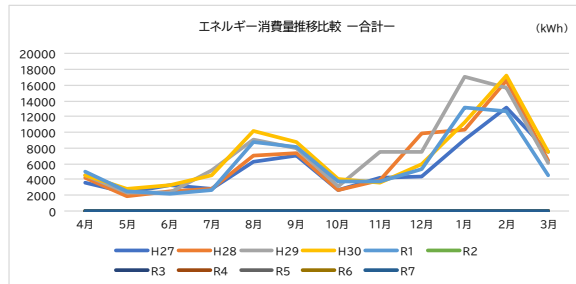
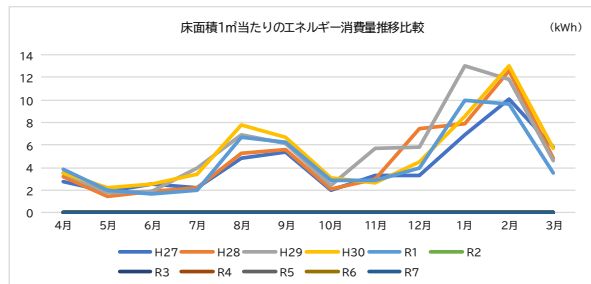
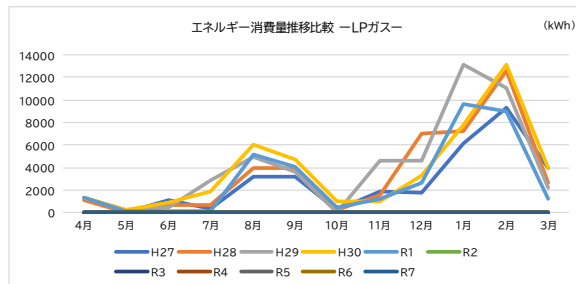
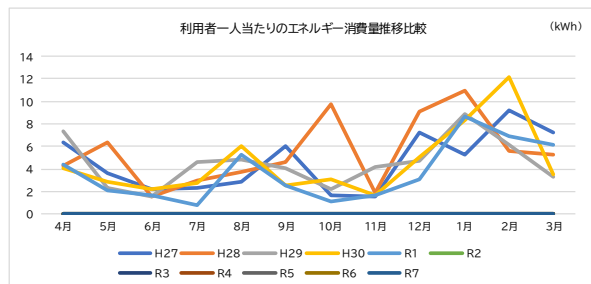
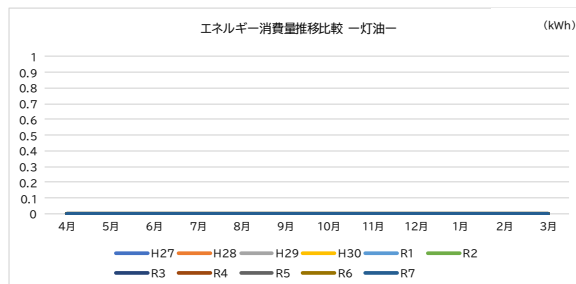
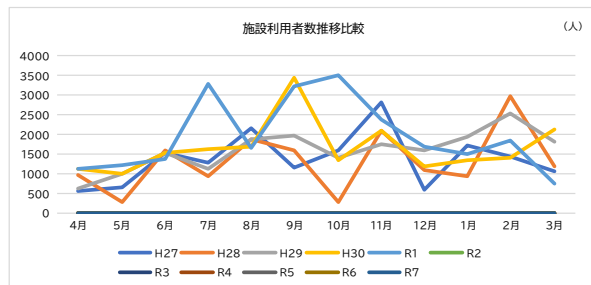
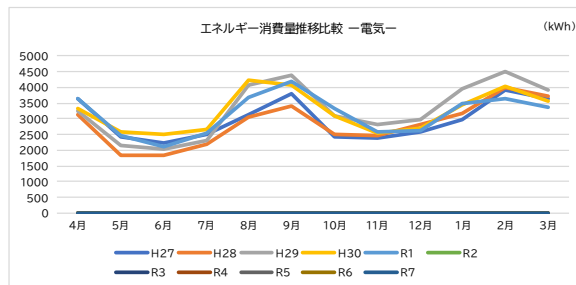
用途（大分類）	産業系施設
用途（中分類）	産業振興施設
所管課	総務課

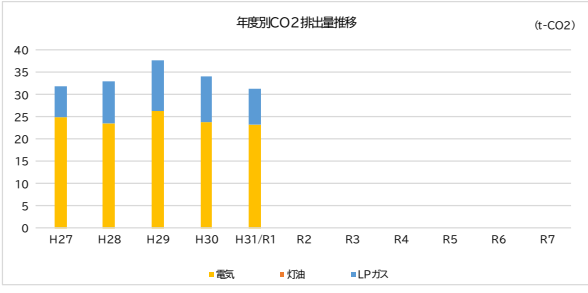
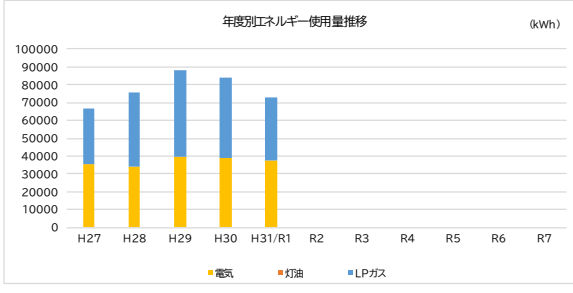
##### 2) 建物概要

所在地	由良宿 423-1	地区	大栄	構造種別	RC	階数	地上2	延床面積	1314㎡
竣工年	1981年	経過年数	39年	想定利用期限(50年利用想定)	2031年	残利用年数	11年	耐震補強	要検討

##### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	77,407kWh	空調熱源	LPガス	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m <sup>3</sup> ) / 28.52
-----------------	-----------	------	------	--------------	---





CO2排出係数：電気 (t-CO2/kWh) / H27:0.000697, H28:0.000691, H29:0.000669, H30-R1:0.000618, 灯油 (t-CO2/L) / 0.00249, LPガス (t-CO2/m3) / 0.00654

4) 利用状況

5年間平均利用者数	19,046人
利用状況	線路が脇にある施設にもかかわらず、防音対策が出来ていないためせつかくの立派なホールも演奏会や講演会などに活用しづらいという状況がある。また、客席のシートが古く幅が狭く不満の声が多く、その点もまた利用を遠ざける要因になっている。 大栄庁舎に北条庁舎から役場機能が統合し、職員が増え執務室が拡大したことにより、庁舎に会議室がほとんどなくなったため、こちらの会議室を利用することが多い。
客観的な分析結果	建物の劣化は非常に進んでおり、継続利用を前提とするのであれば早い段階で耐震補強や劣化対策、省エネルギー化を合わせた改修を行うことが良いと考えられる。 ホールの稼働率を上げて活用を進めるにしても現状の断熱仕様では更なるエネルギー使用量の増加になってしまうため、省エネルギー改修を行うが必須と言える。その際、現在ホールの空調に使われているガス吸収式空調機ではエネルギー効率も悪いので改修後のエネルギー性能にあった空調方式に更新することを推奨する。

5) 建物状況

主な劣化状況	屋上/シート防水の著しい劣化	外壁/クラック
		
診断結果	屋上の防水シートに亀裂、著しい劣化が全体的あり。すでに躯体内部に雨水が浸透していることが考えられる。主に北側外壁のタイル張り部分においてクラックが多数あり。	

6) 検討方針と実行年代

検討方針	【共通】…大栄庁舎・大栄農村環境改善センター 両施設の大規模改修に併せて、ホール・会議室の配置や町民向けの貸館機能の再編を検討した上で、省エネルギー改修を実施する。再編は、近隣施設である中央公民館大栄分館とも関連させて検討する。  【大栄農村環境改善センター】 建物屋上の防水シートや北壁外壁の劣化が進んでいるため、早期の大規模改修実施を検討する。その際、利用目的に応じて大栄庁舎も含めた会議室の配置やホールの活用方針を明確にした上で必要な防音対策や客席部の仕様変更の計画を立て、適切な省エネルギー改修を検討する。	
実行年代	2020年代	維持（用途改修（長寿命化・省エネ改修含む））

7) 省エネルギー改修の例

施設名	大栄農村環境改善センター		年間CO2排出量	32.2t-CO2
省エネ改修の内容	屋根断熱設置			
改修費	総費用	うち補助金	町費	
	6,130,000円	0円	6,130,000円	
エネルギー削減効果（年間）	エネルギー種別・量		光熱費	CO2
	LPガス、電気	-9,884kWh	-150,562円	-3.1t-CO2
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月	
	41年	2061年	年 月	
その他	劣化の激しい屋根防水の修繕時に併せて行う。			

施設名	大栄農村環境改善センター		年間CO2排出量	32.2t-CO2																									
省エネ改修の内容	内窓+外付シェード設置																												
改修費	総費用	うち補助金	町費																										
	5,130,000円	0円	5,130,000円																										
エネルギー削減効果（年間）	エネルギー種別・量		光熱費	CO2																									
	LPガス、電気	-3,904kWh	-61,212円	-1.3t-CO2																									
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月																										
	84年	2104年	年 月																										
その他	<p>個別空調を行っている会議室と事務室について、開口部への内窓と外付シェードを設置する。 長期間利用するのであれば、さらに外壁断熱について検討する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>省エネルギー改修案</th> <th>改修コスト (千円)</th> <th>CO2 削減効果 (t/年)</th> <th>光熱費の 削減効果 (円/年)</th> <th>投資回収 年数 (年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋根断熱設置</td> <td>6,130</td> <td>-3.1</td> <td>-150,562</td> <td>40.7</td> </tr> <tr> <td>内窓+外付シェード設置</td> <td>5,130</td> <td>-1.3</td> <td>-61,212</td> <td>83.8</td> </tr> <tr> <td>屋根断熱+内窓+外付シェード設置</td> <td>11,260</td> <td>-4.4</td> <td>-216,667</td> <td>52.0</td> </tr> <tr> <td>屋根断熱+内窓+外付シェード+外壁断熱設置</td> <td>34,260</td> <td>-8.2</td> <td>-407,799</td> <td>84.0</td> </tr> </tbody> </table>				省エネルギー改修案	改修コスト (千円)	CO2 削減効果 (t/年)	光熱費の 削減効果 (円/年)	投資回収 年数 (年)	屋根断熱設置	6,130	-3.1	-150,562	40.7	内窓+外付シェード設置	5,130	-1.3	-61,212	83.8	屋根断熱+内窓+外付シェード設置	11,260	-4.4	-216,667	52.0	屋根断熱+内窓+外付シェード+外壁断熱設置	34,260	-8.2	-407,799	84.0
省エネルギー改修案	改修コスト (千円)	CO2 削減効果 (t/年)	光熱費の 削減効果 (円/年)	投資回収 年数 (年)																									
屋根断熱設置	6,130	-3.1	-150,562	40.7																									
内窓+外付シェード設置	5,130	-1.3	-61,212	83.8																									
屋根断熱+内窓+外付シェード設置	11,260	-4.4	-216,667	52.0																									
屋根断熱+内窓+外付シェード+外壁断熱設置	34,260	-8.2	-407,799	84.0																									



(5)ほくほくプラザ(北栄人権文化センター)

番号	5
施設名	ほくほくプラザ(北栄人権文化センター)



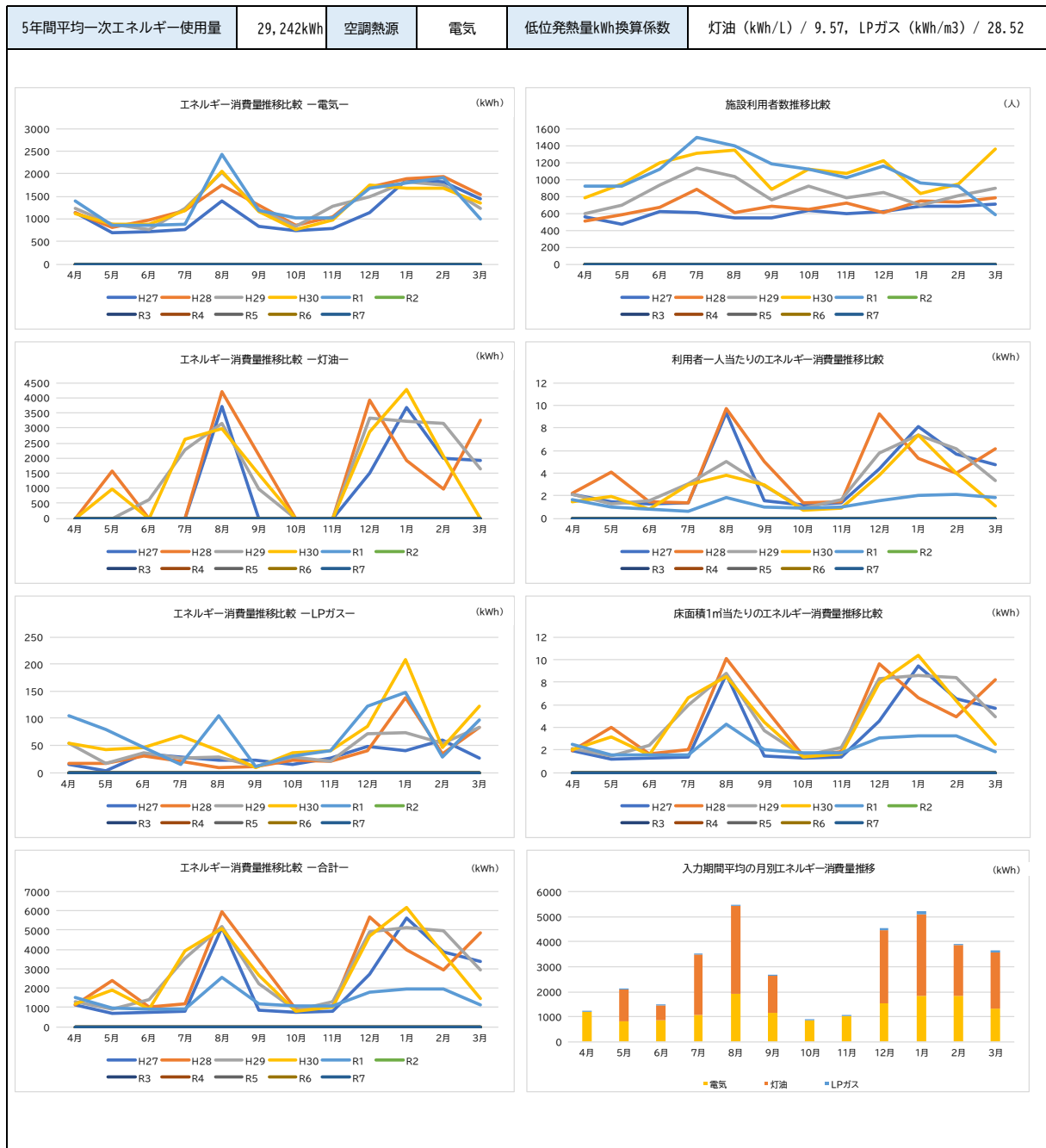
1) 施設用途

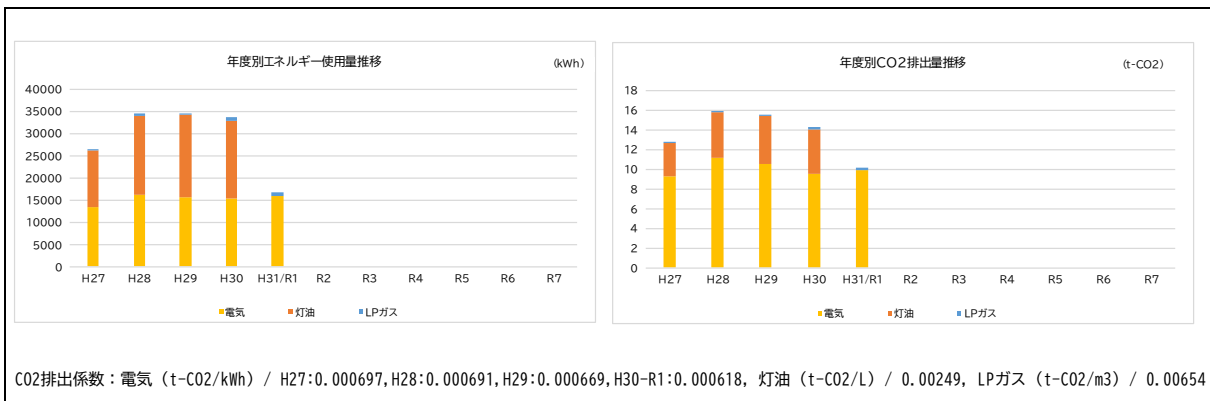
用途(大分類)	町民文化系施設
用途(中分類)	集会施設
所管課	生涯学習課

2) 建物概要

所在地	大島 1046-6	地区	大栄	構造種別	SRC	階数	地上2	延床面積	593㎡
竣工年	1984年	経過年数	36年	想定利用期限(50年利用想定)	2034年	残利用年数	14年	耐震補強	—

3) エネルギー性能





4) 利用状況

5年間平均利用者数	10,279人
利用状況	R元年より空調設備を灯油を使用したものからエアコンに変更している。小学生の利用が多く、放課後の利用がメイン。稼働率（特に午後）が高く重要な役割を持った施設となっている。また、大栄小学校、中学校からは離れているため、住まいがこの施設方面の児童が主に利用している。土日に開館しているため子育て親子等の居場所にもなっている。
客観的な分析結果	R元年より空調設備をエアコンに変更しているが、電気のエネルギー使用量はそれほど増えておらず、灯油のエネルギー使用量分をそのまま減らすことに成功している。R2年度に図書室の断熱改修（ワークショップ）を実施したことにより、さらにエネルギー使用量、CO2排出量を削減することが期待できる。建物は劣化が進んでいるようではないので継続利用には差し支えないと考えられる。ただし、周辺の地盤沈下が著しくみられるため、経過観察を注視して行っていくことが好ましい。

5) 検討方針と実行年代

検討方針	建物は定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、全面的な大規模改修が必要になる時期に、省エネルギー改修を行うことを検討する。	
実行年代	2030年代	維持（長寿命化・省エネ改修含む）



## (6) 図書館

番号	6
施設名	図書館



©青山剛昌/小学館

### 1) 施設用途

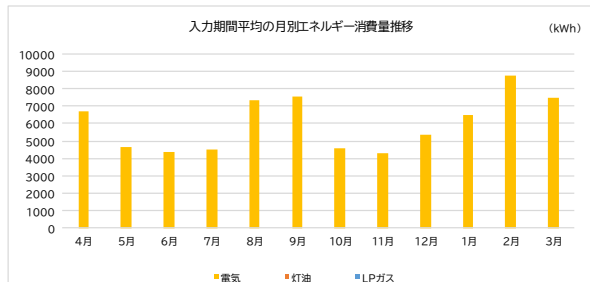
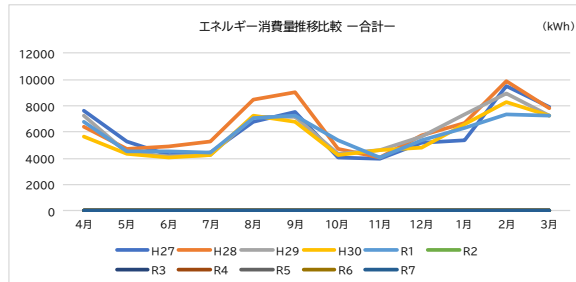
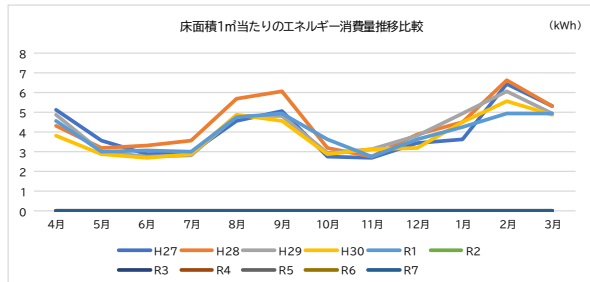
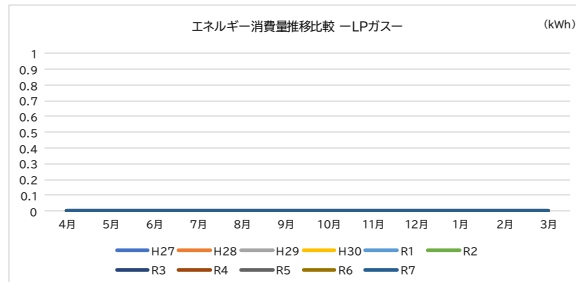
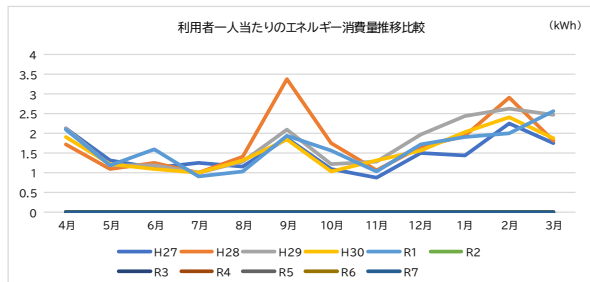
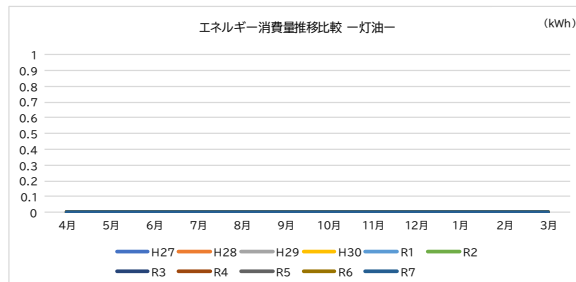
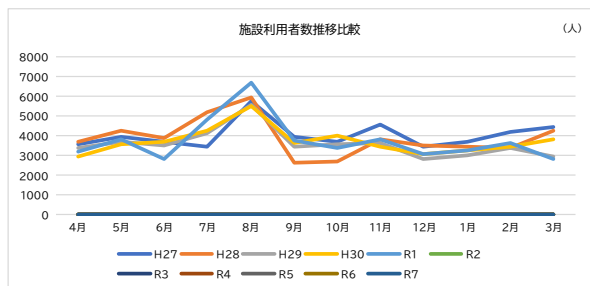
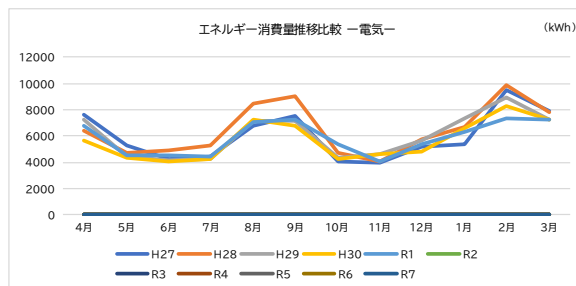
用途 (大分類)	社会教育系施設
用途 (中分類)	図書館
所管課	図書館

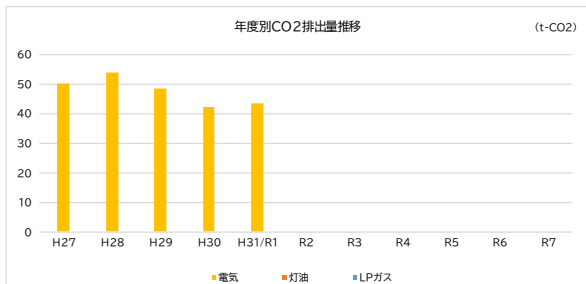
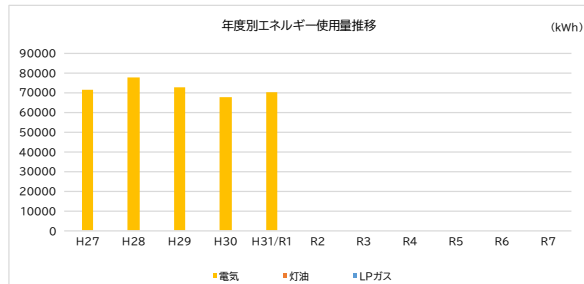
### 2) 建物概要

所在地	由良宿 803-1	地区	大栄	構造種別	RC	階数	地上2	延床面積	1476㎡
竣工年	1993年	経過年数	27年	想定利用期限(50年利用想定)	2043年	残利用年数	23年	耐震補強	—

### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	72,043kWh	空調熱源	電気	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m <sup>3</sup> ) / 28.52
-----------------	-----------	------	----	--------------	---





CO2排出係数：電気 (t-CO2/kWh) / H27:0.000697, H28:0.000691, H29:0.000669, H30-R1:0.000618, 灯油 (t-CO2/L) / 0.00249, LPガス (t-CO2/m3) / 0.00654

#### 4) 利用状況

5年間平均利用者数	45,702人
利用状況	中央公民館大栄分館と大栄体育館のメーターと一緒にしているため、体育館の照明設備の電力使用量を差し引いた上で、図書館と床面積按分して電気使用量を算出した。 町内外から幅広い世代の利用がある。絵本の活用を進めているため、親子連れの利用も多い。また、汽車の待ち時間で利用する高校生も多くいる。2階に研修室、AV室があり講座などに利用しているが、稼働率は非常に低い。エレベーターもないため、高齢者や車椅子、ベビーカーの方には使いにくいのが現状。
客観的な分析結果	建物は目立った劣化もなく、良い状態で管理されている。長期利用を想定して省エネルギー改修を行うことが好ましい。 省エネルギー改修を行う上で最も空調エネルギーを消費する図書室に大きな窓があるので窓の断熱、および東側開口部の日射遮蔽対策、天井空間に集まる熱の遮蔽又は循環対策が必要である。あらゆる利用者のためにエレベーター設置が求められる。 H28年度より照明をLED化したことにより実際には省エネ効果があるはずだが、電力メーターと一緒にしている他の施設との按分を行ったため、その効果が見られるようなエネルギー使用量の値になっていない。今後、各施設ごとに使用量の計測を行う必要がある。

#### 5) 建物状況

主な劣化状況	屋根裏面の通気口/2階廊下雨漏原因の可能性 閲覧コーナー/大開口からの熱損失
	 
診断結果	全体的に目立った劣化は見られない。2階廊下の天井で雨漏りがあるとのことだが、屋根裏面の通気口が原因と考えられる。 点検と補修を継続することで長く使い続けられる。

#### 6) 検討方針と実行年代

検討方針	建物は目立った劣化は見られず、長期利用を想定して定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、利便性向上のためのエレベーター設置や適切な時期に省エネルギー改修を行うことを検討する。その際、中央公民館大栄分館のあり方方針と合わせて計画するものとして、改修内容は主に図書室の省エネルギー化を優先に行うことを検討する。	
実行年代	2020年代	維持（長寿命化・省エネ改修含む）

7) 省エネルギー改修の例

施設名	図書館	年間CO2排出量	32.5t-CO2																
省エネ改修の内容	内窓+外付ブラインド設置																		
	総費用	うち補助金	町費																
	11,392,000円	0円	11,392,000円																
エネルギー削減効果（年間）	エネルギー種別・量		光熱費	CO2															
	電気	-10,589kWh	-312,485円	-8.6t-CO2															
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月																
	36年	2056年	年 月																
その他	<p>南隅開口部に外付ブラインドを設置して日射による熱取得を軽減し、図書室、事務室、2階                  研修室・AV室の開口部に内窓を設置して、外部に逃げる熱損失を防ぐことを検討する。                  その他、次のような改修（屋根断熱には図書室天井工事含む）が考えられ、改修に補助金が                  得られるのであれば、投資回収年を検討して、より省エネルギーとなる改修を進める。</p>																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>省エネルギー改修案</th> <th>改修コスト (千円)</th> <th>CO2 削減効果 (t/年)</th> <th>光熱費の 削減効果 (円/年)</th> <th>投資回収 年数 (年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内窓+外付ブラインド設置</td> <td>11,392</td> <td>-8.6</td> <td>-312,485</td> <td>36.5</td> </tr> <tr> <td>屋根断熱+内窓+外付ブラインド設置</td> <td>31,502</td> <td>-11.7</td> <td>-461,816</td> <td>68.2</td> </tr> </tbody> </table>					省エネルギー改修案	改修コスト (千円)	CO2 削減効果 (t/年)	光熱費の 削減効果 (円/年)	投資回収 年数 (年)	内窓+外付ブラインド設置	11,392	-8.6	-312,485	36.5	屋根断熱+内窓+外付ブラインド設置	31,502	-11.7	-461,816
省エネルギー改修案	改修コスト (千円)	CO2 削減効果 (t/年)	光熱費の 削減効果 (円/年)	投資回収 年数 (年)															
内窓+外付ブラインド設置	11,392	-8.6	-312,485	36.5															
屋根断熱+内窓+外付ブラインド設置	31,502	-11.7	-461,816	68.2															

(7)北栄みらい伝承館(北条歴史民俗資料館)

番号	7
施設名	北栄みらい伝承館(北条歴史民俗資料館)



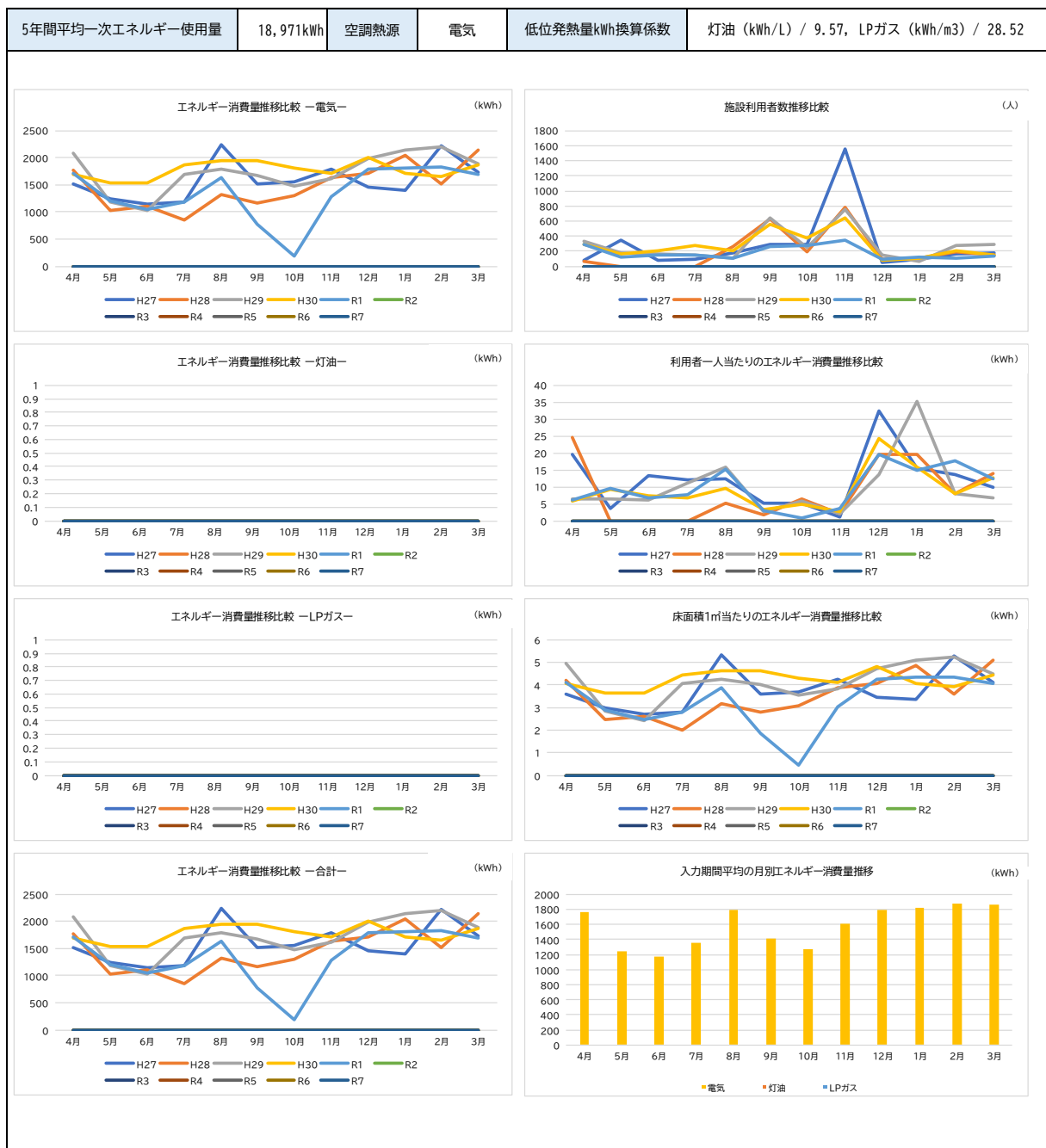
1) 施設用途

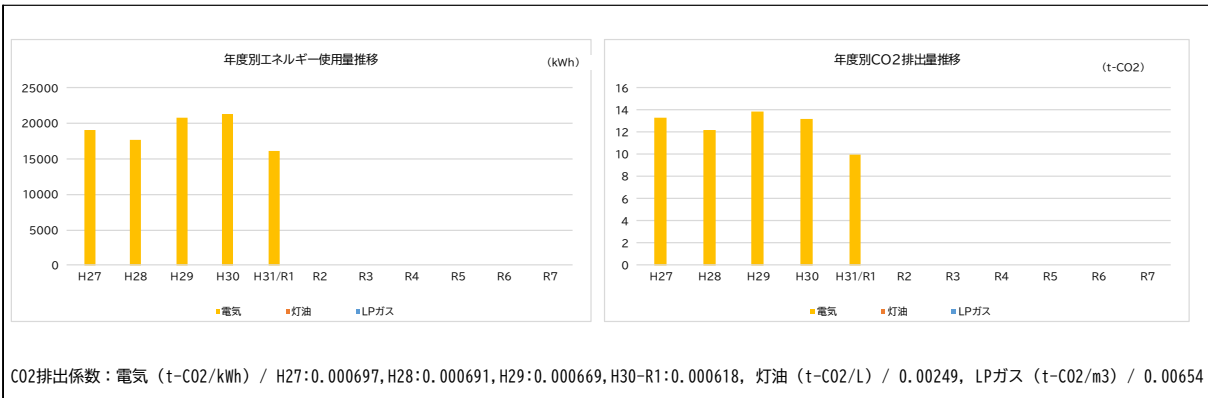
用途(大分類)	社会教育系施設
用途(中分類)	博物館等
所管課	生涯学習課

2) 建物概要

所在地	田井 46-1	地区	北条	構造種別	RC	階数	地上1	延床面積	420㎡
竣工年	1989年	経過年数	31年	想定利用期限(50年利用想定)	2039年	残利用年数	19年	耐震補強	—

3) エネルギー性能





#### 4) 利用状況

5年間平均利用者数	2,931人
利用状況	館内照明をLED化している。 冬に若干電気使用量が増える傾向はあるが、大きく使用量が増えるわけではなく、夏に春と比べて増える傾向ではあるが、夏冬に空調を多く使用する傾向ではない。 利用者数（来館者）は9月と11月に増える傾向にあり、12月1月は100人以下となることが多い。
客観的な分析結果	利用者一人当たりのエネルギー使用量を見ると、利用者が少なく寒い12月1月は使用量が増えているが、そもそもエネルギー使用量が少ないのでこの結果からは省エネルギー改修までは行う必要はないと考える。 利用時間が基本的に日中に限られているのであれば、当該施設の屋根面に太陽光発電を設置して自家消費ですべてをまかなうことも十分可能だと考えられる。

#### 5) 検討方針と実行年代

検討方針	建物は定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、全面的な大規模改修が必要になる時期に省エネルギー改修を行うことを検討する。 大規模改修までの適切な時期に費用対効果を考慮して、屋根を利用した太陽光発電設置を検討する。 また、施設について検討する場合は、収蔵資料の保管について検討する必要がある。	
実行年代	2040年代	維持（長寿命化・省エネ改修含む）

## (8)民芸実習館

番号	8
施設名	民芸実習館



### 1) 施設用途

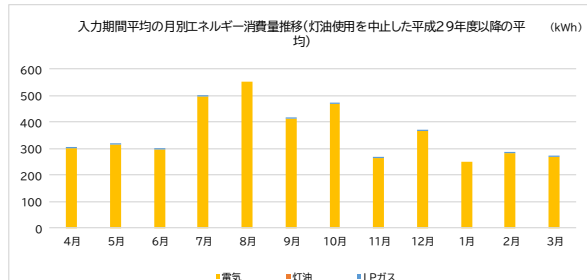
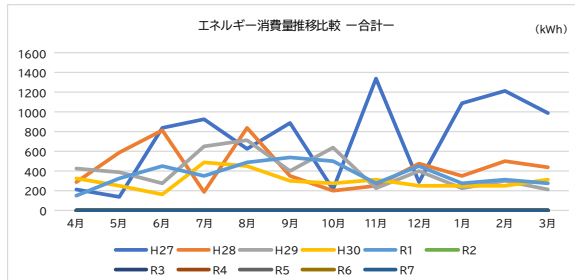
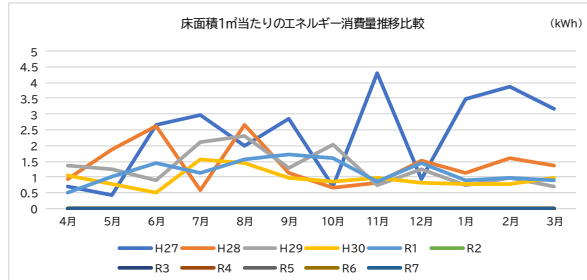
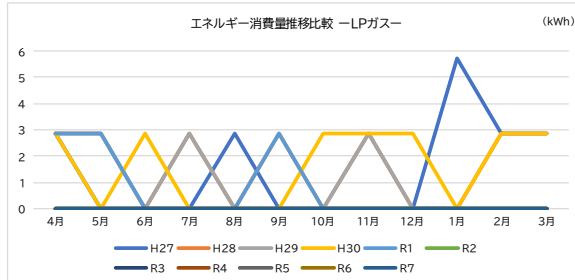
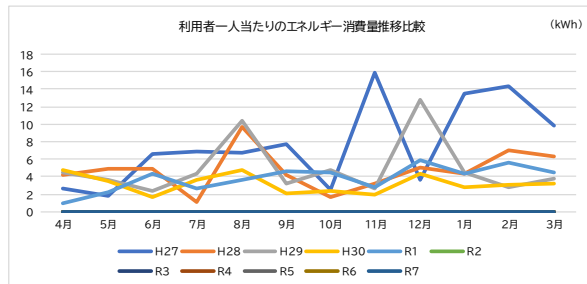
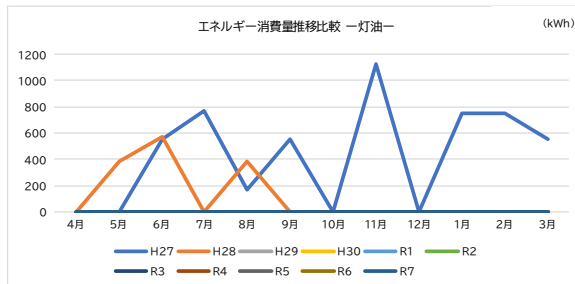
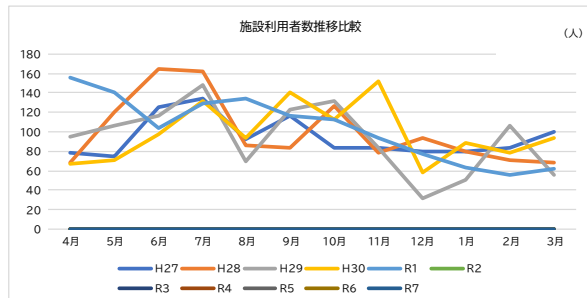
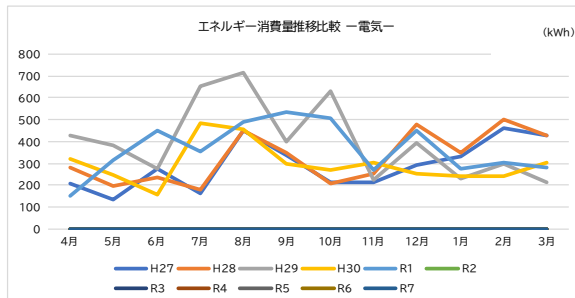
用途 (大分類)	社会教育系施設
用途 (中分類)	博物館等
所管課	中央公民館

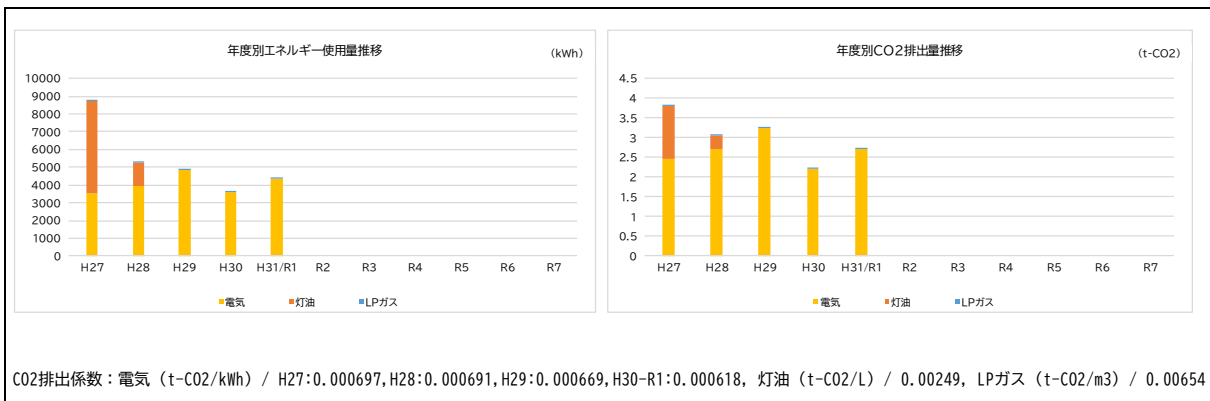
### 2) 建物概要

所在地	田井 46-1	地区	北条	構造種別	S	階数	地上2	延床面積	312㎡
竣工年	1989年	経過年数	31年	想定利用期限(50年利用想定)	2039年	残利用年数	19年	耐震補強	—

### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	5,373kWh	空調熱源	電気	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m <sup>3</sup> ) / 28.52
-----------------	----------	------	----	--------------	---





4) 利用状況

5年間平均利用者数	1,175人
利用状況	H29年度から陶芸窯を灯油式から電気式に変更している。 陶芸用電気釜に使用する電気が多くを占めているので、一人当たりのエネルギー使用量は利用者数によって変動するため、季節によって大きく増えているということもない。 施設稼働率は午前午後の日中で30%以下、夜間で10%以下と低い。
客観的な分析結果	エネルギー使用量を分析するにあたっては、陶芸窯を灯油式から電気式に変更したH29年度以降のデータと比較した方が今後の推移をみる上では良い。 施設稼働率が各時間帯において30%を切っていることから、独立した施設としてではなく、公民館施設内の1機能として存続させていく可能性もあるのではないかと。

5) 検討方針と実行年代

検討方針	建物は定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、全面的な大規模改修が必要になる時期に、人口・利用者数等の変化に応じ、他施設と関連した施設のあり方を検討する。	
実行年代	2040年代	施設のあり方検討

## 第2章 スポーツ・レクリエーション系施設

### 1 施設の現状と課題



施設分類	建物名	地区	延床面積 (㎡)	竣工年	経過年	耐震補強	廃止 検討	統合 検討
スポーツ・レ クリエーシ ョン系施設	北条体育館	北条	1,166	1975	45	H28 実施		
	大栄体育館	大栄	1,496	1976	44	H27 実施		
	大誠体育館	大栄	598	1964	56	—	○	
	大栄ふれあい会館	大栄	930	1990	30	—		
	北条ふれあい会館	北条	1,621	1994	26	—		
	勤労者体育センター	大栄	852	1986	34	—	○	
	B & G海洋センター	北条	1,762	1989	31	—		

スポーツ・レクリエーション系施設は、スポーツ・教育活動の拠点として位置づけられる施設です。

昭和50年代以降に建てられたものが多く、築30年を迎えた施設では大規模修繕が必要な時期となっています。管理面では、全ての施設で指定管理者制度が導入されており、民間のノウハウを活用しながら、サービスの向上と経費の節減を図っています。

体育館は7箇所（北条・大栄・大誠・北条ふれあい会館・大栄ふれあい会館・勤労者体育センター・B & G海洋センター）あり、築30年以上経過しているものも多いことから、統廃合を検討していく時期といえます。

### 2 施設のあり方についての基本方針

体育館等の屋内施設のうち、大誠体育館と勤労者体育センターは廃止が決定しています。残る体育館についても、大規模修繕が必要となった時点でその必要性を検討します。また小中学校の体育館を活用することも検討します。



### 3 施設概要とエネルギー使用量分析、検討方針

#### (1)北条体育館

番号	9
施設名	北条体育館



##### 1) 施設用途

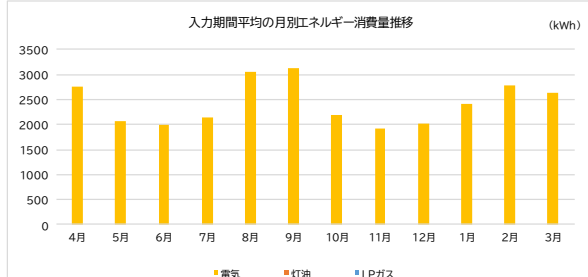
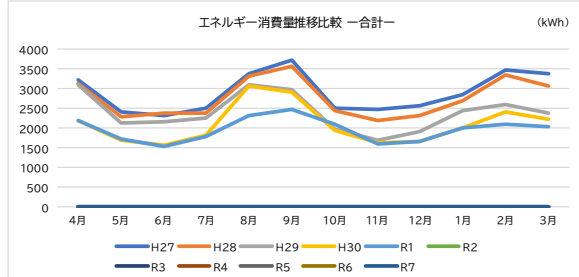
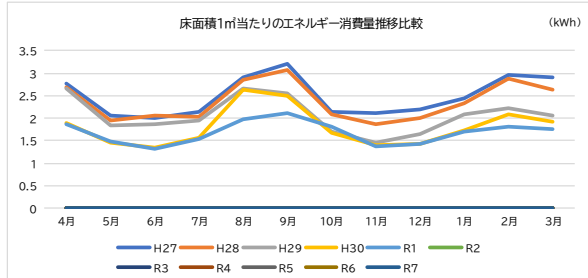
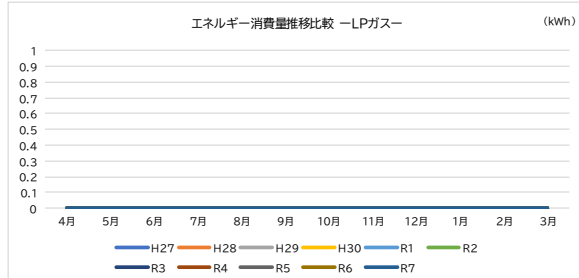
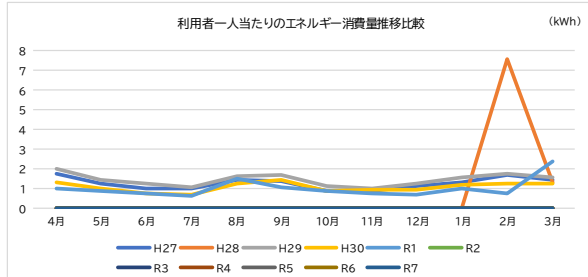
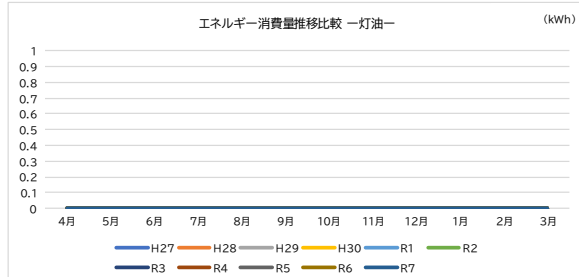
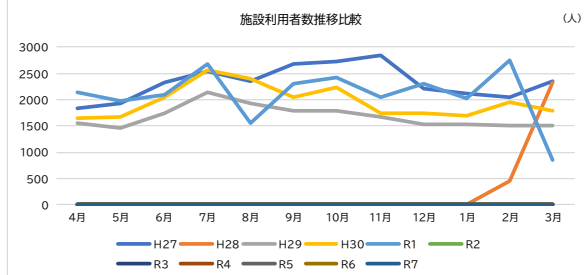
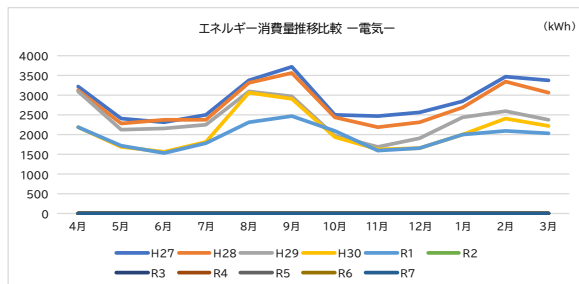
用途 (大分類)	スポーツ・レクリエーション系施設
用途 (中分類)	屋内施設
所管課	生涯学習課

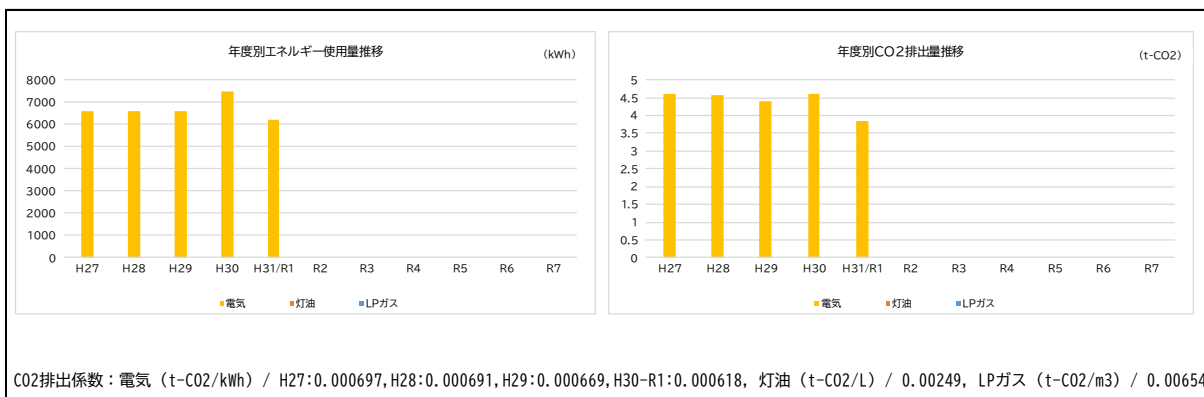
##### 2) 建物概要

所在地	土下 112	地区	北条	構造種別	S	階数	地上1	延床面積	1166㎡
竣工年	1975年	経過年数	45年	想定利用期限(50年利用想定)	2025年	残利用年数	5年	耐震補強	2016/H28

##### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	29,121kWh	空調熱源	—	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m <sup>3</sup> ) / 28.52
-----------------	-----------	------	---	--------------	---





4) 利用状況

5年間平均利用者数	13,554人
利用状況	<p>図書館と中央公民館大栄分館のメーターと一緒にしているため、体育館の照明設備の設置数と各時間帯ごとの利用日数から案分して大栄体育館の電力使用量を算出した。H27～29年度は利用日数のデータがないため、H30年度と同じ値とした。</p> <p>H27年度6月からH28年3月までは、耐震改修工事のため利用者なし。夜間稼働率が90%以上あり、よく活用されており、年間を通じて1,000～1,500人/月の利用者がある。大栄エリアにおける体育館利用者数が最も多い。空調のエネルギー使用がないため、年間を通じてエネルギー使用量に大きな変動はない。</p>
客観的な分析結果	<p>古い施設ではあるが、H27年に耐震改修を行われており、エネルギー使用量も低く、大きな不具合が生じるまでは継続利用は問題ないとする。</p> <p>ただし、大栄小学校、大栄中学校、勤労者体育センターの体育館も近くにあるため、施設老朽化とは別に人口減少による利用者数の変化に応じて運用を検討する必要がある。</p>

5) 検討方針と実行年代

検討方針	<p>【共通】…大誠体育館・勤労者体育センター・北条体育館・大栄体育館・大栄ふれあい会館・北条ふれあい会館・B&amp;G海洋センター</p> <p>利用の時間帯をずらしたり、複数グループで合同利用したりなどの使い方の工夫と小中学校の体育館活用などを検討し、効率的な利用を目指す。今後の人口、利用者数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。</p> <p>【大栄体育館】</p> <p>築年数は古い耐震改修と屋根・外壁改修による長寿命化が図られており、大きな不具合が生じるまでは継続利用する。ただし、大栄小学校、大栄中学校、勤労者体育センターの体育館も近くにあるため、施設老朽化とは別に人口減少による利用者数の変化に応じて施設のあり方を検討する。</p>	
実行年代	2040年代	再編検討

## (2)大栄体育館

番号	10
施設名	大栄体育館



### 1) 施設用途

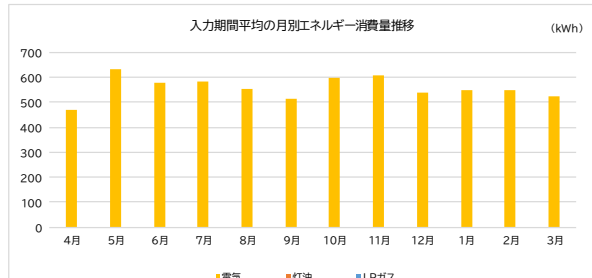
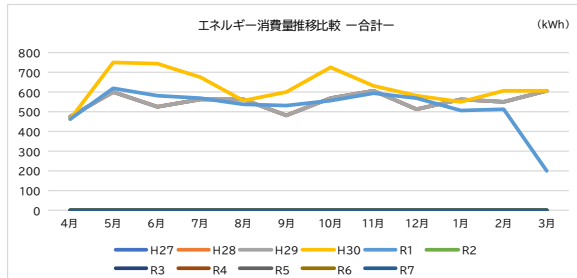
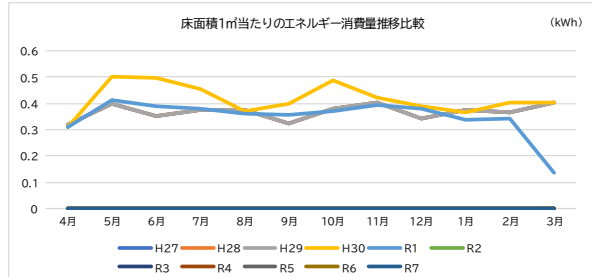
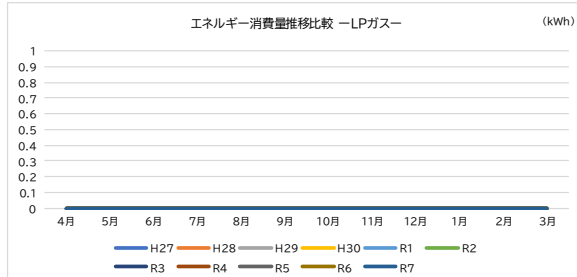
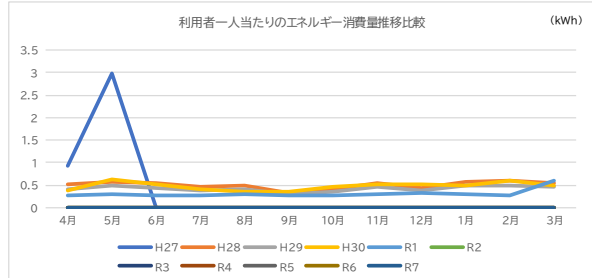
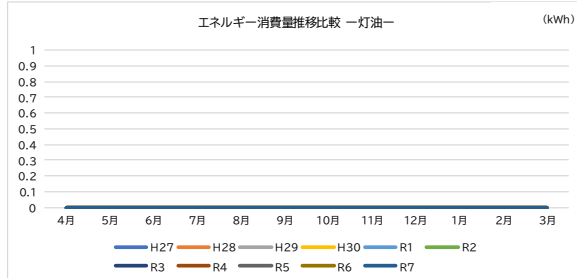
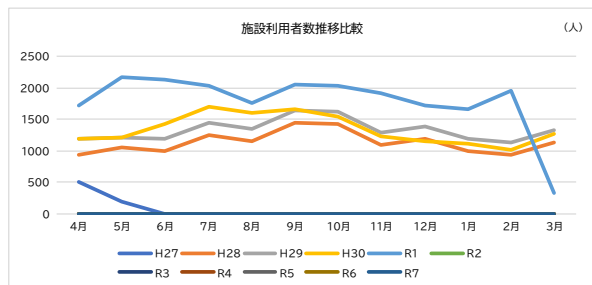
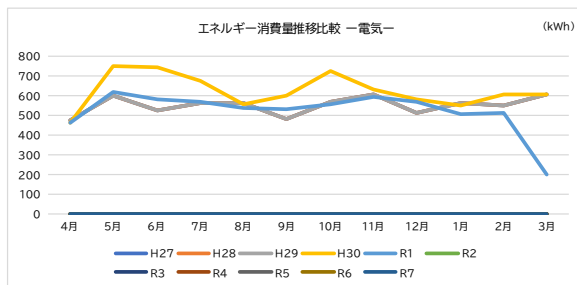
用途 (大分類)	スポーツ・レクリエーション系施設
用途 (中分類)	屋内施設
所管課	生涯学習課

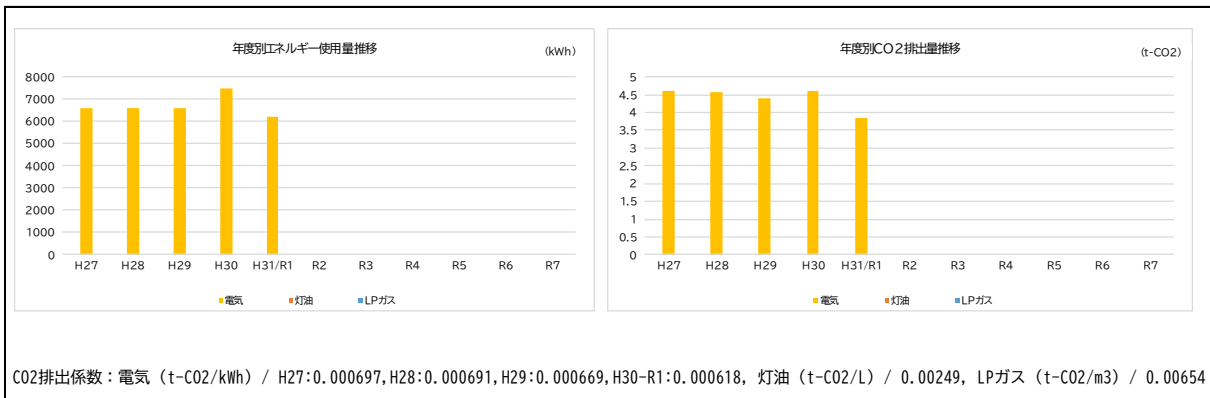
### 2) 建物概要

所在地	由良宿 797	地区	大栄	構造種別	S	階数	地上1	延床面積	1496㎡
竣工年	1976年	経過年数	44年	想定利用期限(50年利用想定)	2026年	残利用年数	6年	耐震補強	2015/H27

### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	6,705kWh	空調熱源	—	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m <sup>3</sup> ) / 28.52
-----------------	----------	------	---	--------------	---





4) 利用状況

5年間平均利用者数	13,554人
利用状況	<p>図書館と中央公民館大栄分館のメーターと一緒にしているため、体育館の照明設備の設置数と各時間帯ごとの利用日数から案分して大栄体育館の電力使用量を算出した。H27～29年度は利用日数のデータがないため、H30年度と同じ値とした。</p> <p>H27年度6月からH28年3月までは、耐震改修工事のため利用者なし。夜間稼働率が90%以上あり、よく活用されており、年間を通じて1,000～1,500人/月の利用者がいる。大栄エリアにおける体育館利用者数が最も多い。空調のエネルギー使用がないため、年間を通じてエネルギー使用量に大きな変動はない。</p>
客観的な分析結果	<p>古い施設ではあるが、H27年に耐震改修を行われており、エネルギー使用量も低く、大きな不具合が生じるまでは継続利用は問題ないと考え。</p> <p>ただし、大栄小学校、大栄中学校、勤労者体育センターの体育館も近くにあるため、施設老朽化とは別に人口減少による利用者数の変化に応じて運用を検討する必要がある。</p>

5) 検討方針と実行年代

検討方針	<p>【共通】…大誠体育館・勤労者体育センター・北条体育館・大栄体育館・大栄ふれあい会館・北条ふれあい会館・B &amp; G海洋センター</p> <p>利用の時間帯をずらしたり、複数グループで合同利用したりなどの使い方の工夫と小中学校の体育館活用などを検討し、効率的な利用を目指す。今後の人口、利用者数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。</p> <p>【大栄体育館】</p> <p>築年数は古いが耐震改修と屋根・外壁改修による長寿命化が図られており、大きな不具合が生じるまでは継続利用する。ただし、大栄小学校、大栄中学校、勤労者体育センターの体育館も近くにあるため、施設老朽化とは別に人口減少による利用者数の変化に応じて施設のあり方を検討する。</p>	
実行年代	2040年代	再編検討

### (3)大誠体育館

番号	11
施設名	大誠体育館



#### 1) 施設用途

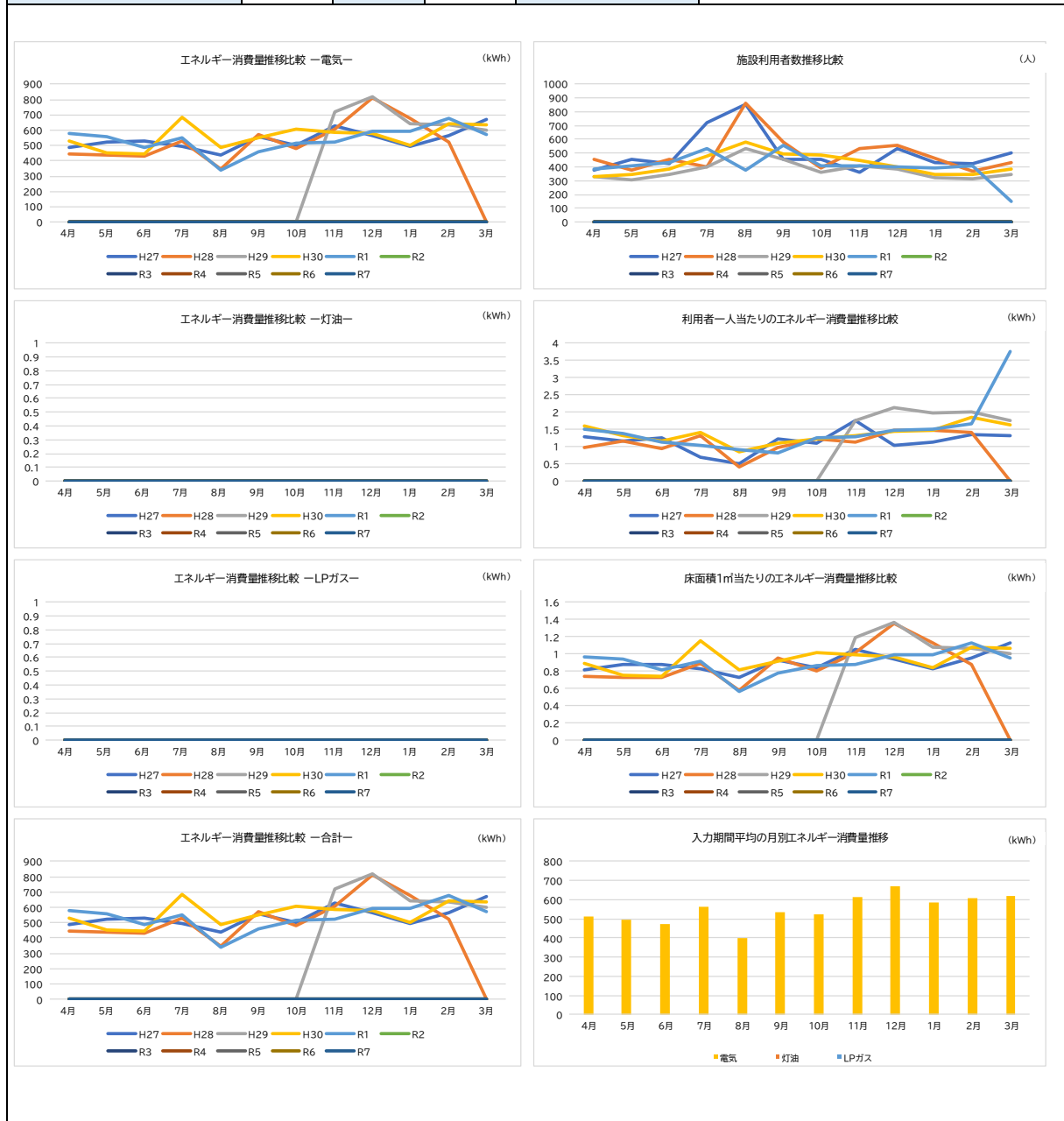
用途 (大分類)	スポーツ・レクリエーション系施設
用途 (中分類)	屋内施設
所管課	生涯学習課

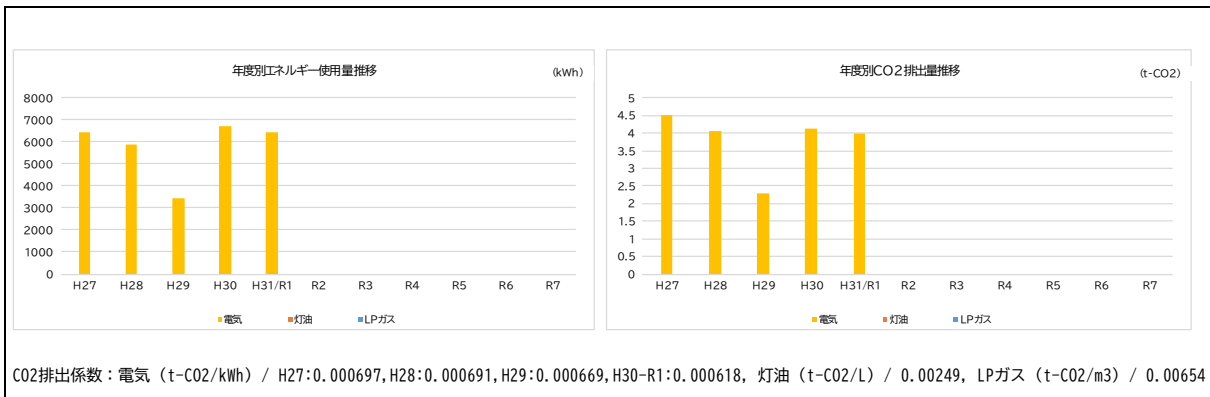
#### 2) 建物概要

所在地	瀬戸 37-1	地区	大栄	構造種別	S	階数	地上1	延床面積	598㎡
竣工年	1964年	経過年数	56年	想定利用期限(50年利用想定)	2014年	残利用年数	-6年	耐震補強	要検討

#### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	5,777kWh	空調熱源	—	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m <sup>3</sup> ) / 28.52
-----------------	----------	------	---	--------------	---





4) 利用状況

5年間平均利用者数	5,256人
利用状況	年間を通じて300～500人/月の利用者数で、夜間利用は90%近くの稼働率だが、日中は月に5日前後の利用に留まっている。夜間の稼働率は高いが、各時間帯（午前、午後、夜間）においての平均利用人数は10人程と大栄エリア内で最も少ない。 電気使用量はH28年度3月～H29年度10月のデータが欠けている。
客観的な分析結果	また、建物の経過年数が55年と調査対象施設の中で最も古く、木造であることもあり劣化も進んでいるため、このままの状態でも長く使い続けることは安全面において推奨できない。 この施設を廃止した場合、アクセスのし易さから利用されている方が将来他の体育館を利用しやすくする等の支援が求められる。

5) 検討方針と実行年代

検討方針	<p>【共通】…大誠体育館・勤労者体育センター・北条体育館・大栄体育館・大栄ふれあい会館・北条ふれあい会館・B &amp; G 海洋センター 利用の時間帯をずらしたり、複数グループで合同利用したりなどの使い方の工夫と小中学校の体育館活用などを検討し、効率的な利用を目指す。今後の人口、利用者数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。</p> <p>【大誠体育館】 築年数が古く劣化も進んでいるため、このままの状態での長期利用は行わず、大きな不具合が生じた時点で廃止し、その後の解体、跡地の活用についても検討する。</p>	
実行年代	2020年代可能な限り早期	廃止検討

#### (4)大栄ふれあい会館

番号	12
施設名	大栄ふれあい会館



##### 1) 施設用途

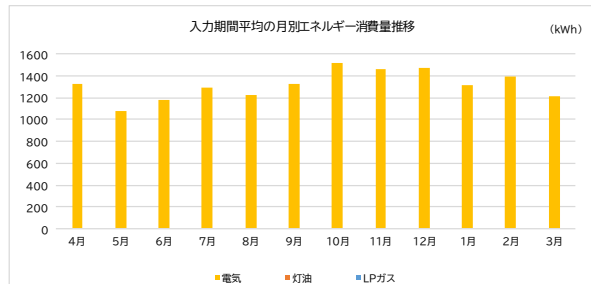
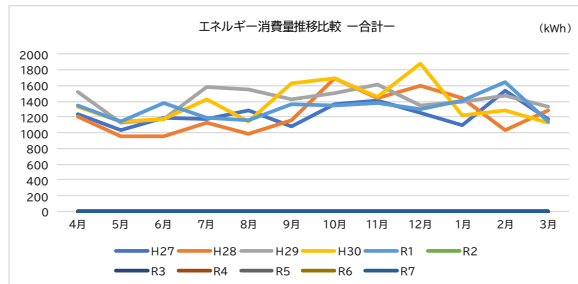
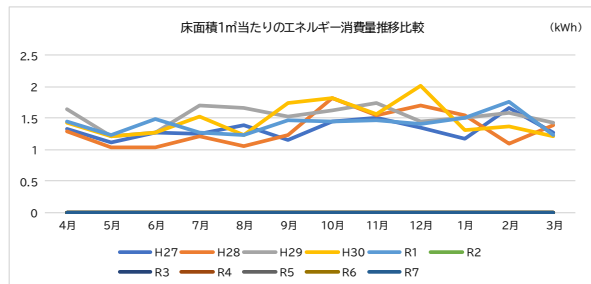
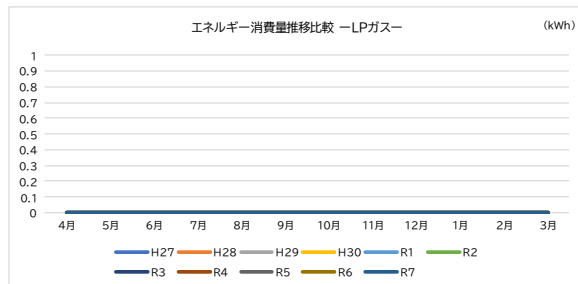
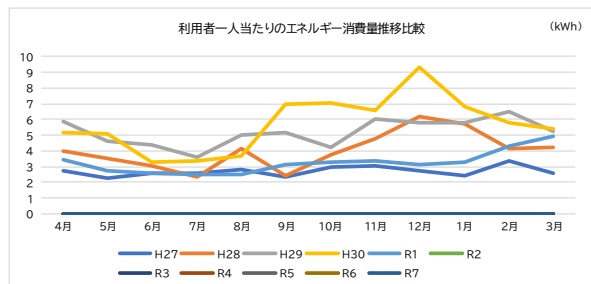
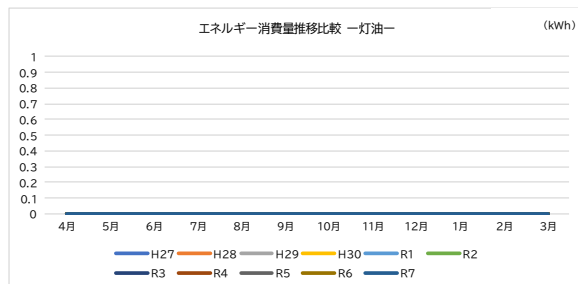
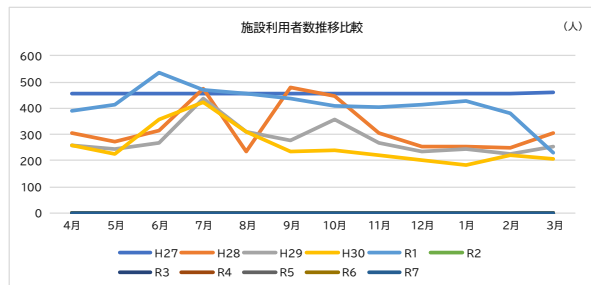
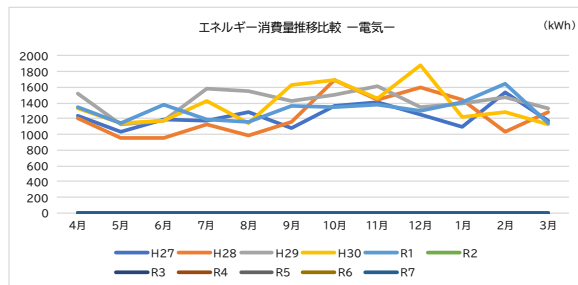
用途 (大分類)	スポーツ・レクリエーション系施設
用途 (中分類)	屋内施設
所管課	生涯学習課

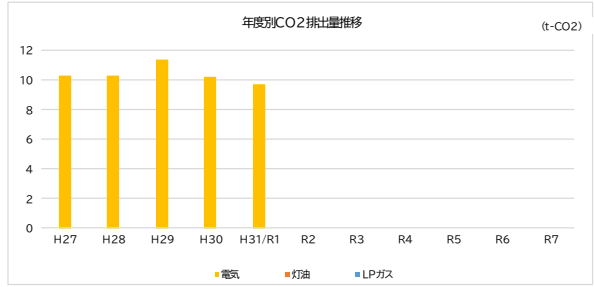
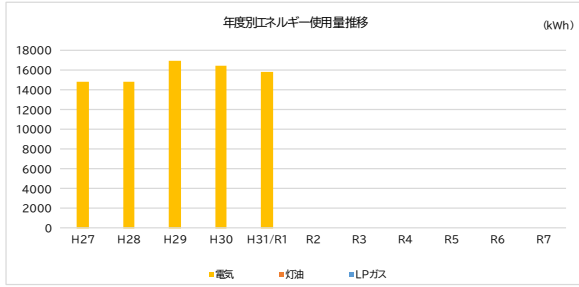
##### 2) 建物概要

所在地	下種 868	地区	大栄	構造種別	RC	階数	地上1	延床面積	930㎡
竣工年	1990年	経過年数	30年	想定利用期限(50年利用想定)	2040年	残利用年数	20年	耐震補強	—

##### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	15,798kWh	空調熱源	—	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m3) / 28.52
-----------------	-----------	------	---	--------------	--





CO2排出係数：電気 (t-CO2/kWh) / H27:0.000697, H28:0.000691, H29:0.000669, H30-R1:0.000618, 灯油 (t-CO2/L) / 0.00249, LPガス (t-CO2/m3) / 0.00654

#### 4) 利用状況

5年間平均利用者数	4,154人
利用状況	R元年度においては毎月400名ほどの利用者がいたが、それ以前においては年間を通じて200~300人/月の利用者数で、夜間利用は80%近くの稼働率だが、日中は月に5日未満の利用に留まっている。
客観的な分析結果	町の中心部から最も離れた場所にある体育館なので、町民アンケートの結果からも近くに体育館がないという理由で「無くなったらと困る」という声はあるが、エネルギー使用量は大栄体育館の2倍程使われており、利用者1人当たりのエネルギー使用量は大栄体育館の5~10倍程にもなる。防災施設としての有用性もあるので、運用のあり方については見直しが必要と考えられる。

#### 5) 検討方針と実行年代

検討方針	<p>【共通】…大誠体育館・勤労者体育センター・北条体育館・大栄体育館・大栄ふれあい会館・北条ふれあい会館・B &amp; G海洋センター 利用の時間帯をずらしたり、複数グループで合同利用したりなどの使い方の工夫と小中学校の体育館活用などを検討し、効率的な利用を目指す。今後の人口、利用者数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。</p> <p>【大栄ふれあい会館】 他の施設に比較して築年数が新しいため、定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、人口の変化及び防災計画を勘案して施設のあり方を検討する。</p>	
実行年代	2030年代	維持（用途改修検討）



### (5)北条ふれあい会館

番号	13
施設名	北条ふれあい会館（北条中学校体育館1階）



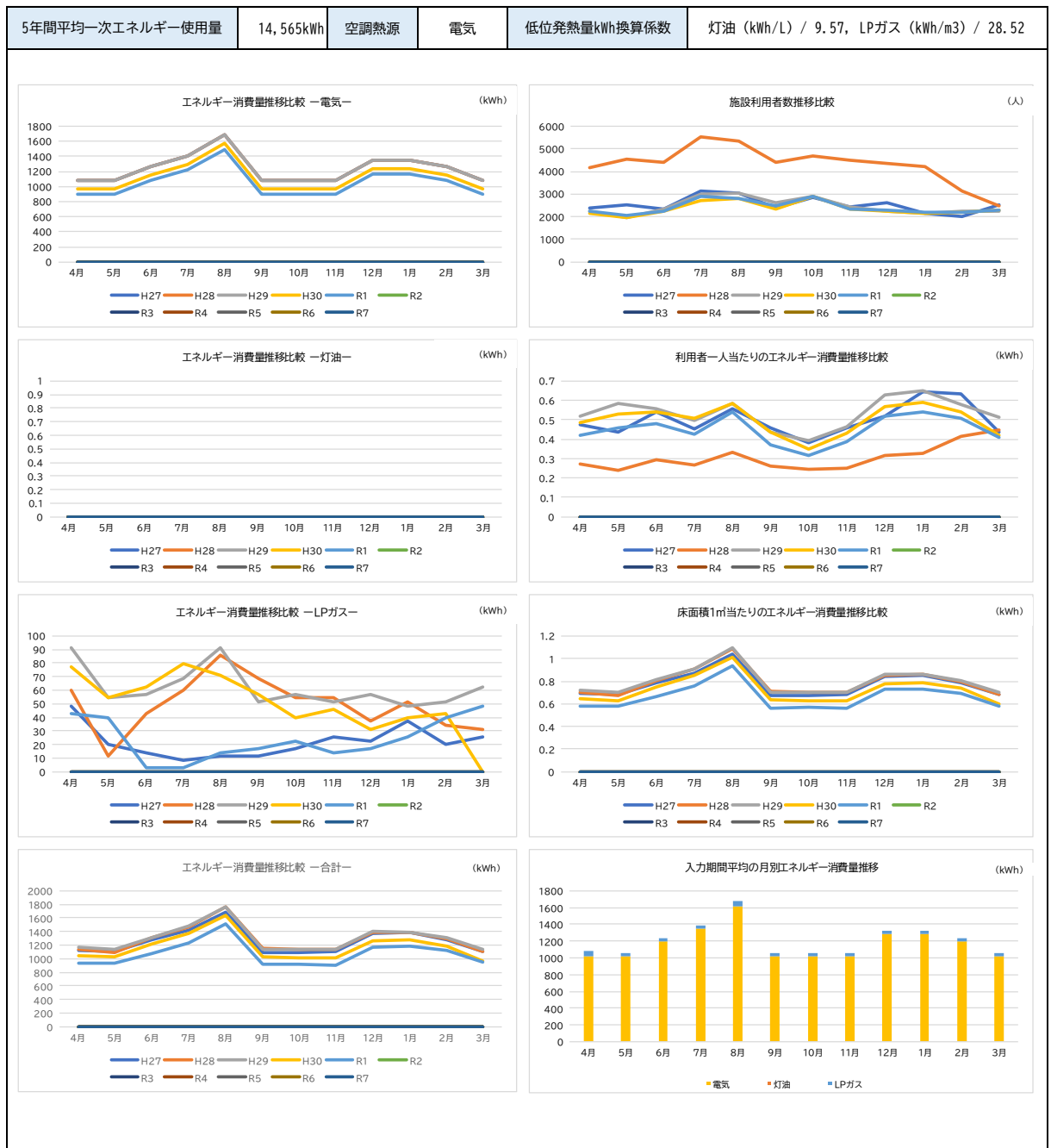
#### 1) 施設用途

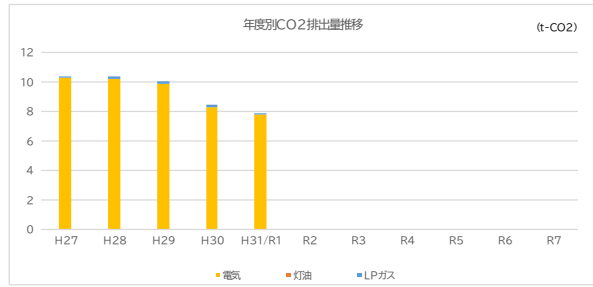
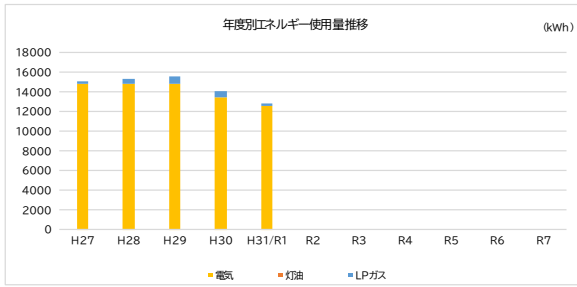
用途（大分類）	スポーツ・レクリエーション系施設
用途（中分類）	屋内施設
所管課	生涯学習課

#### 2) 建物概要

所在地	土下 100-3	地区	北条	構造種別	SRC	階数	地上2	延床面積	1621㎡
竣工年	1994年	経過年数	26年	想定利用期限(50年利用想定)	2044年	残利用年数	24年	耐震補強	—

#### 3) エネルギー性能





CO2排出係数：電気 (t-CO2/kWh) / H27:0.000697, H28:0.000691, H29:0.000669, H30-R1:0.000618, 灯油 (t-CO2/L) / 0.00249, LPガス (t-CO2/m3) / 0.00654

#### 4) 利用状況

5年間平均利用者数	33,749人
利用状況	北条中学校の体育館を利用していることもあり、電気使用量は北条中学校と一緒にしているため、照明とエアコンの設置数から電気使用量を推計し北条中学校と按分した。 施設利用者数は、H28年度だけ年間を通じて例年の倍近くいるが、それ以外の年は1年を通じて2,000～3,000人程の利用となっている。 他の体育館施設と異なり、会議室を放課後の学童として利用しており、エアコンを使用しているため、夏季冬季に電気使用量が増える傾向にある。
客観的な分析結果	学童による教室利用があることからエアコンを使用しているため、他の体育館施設よりも電気使用量は多い。ただし、施設利用者数も多いので一人当たりのエネルギー使用量は他の体育館施設と比較して少ない分類に入っている。 エネルギー使用量の集計については、北条中学校と北条ふれあい会館でそれぞれで区別する必要性は低いと考えられるため、将来的にはエネルギー集計の場面では、北条中学校が一括して管理してもよいと考えられる。

#### 5) 検討方針と実行年代

検討方針	<p>【共通】…大誠体育館・勤労者体育センター・北条体育館・大栄体育館・大栄ふれあい会館・北条ふれあい会館・B &amp; G海洋センター 利用の時間帯をずらしたり、複数グループで合同利用したりなどの使い方の工夫と小中学校の体育館活用などを検討し、効率的な利用を目指す。今後の人口、利用者数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。</p> <p>【北条ふれあい会館（北条中学校体育館1階）】 他の施設に比較して築年数が新しいため、定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、人口の変化に応じた施設のあり方を検討する。</p>	
実行年代	2040年代	維持

## (6) 勤労者体育センター

番号	14
施設名	勤労者体育センター



### 1) 施設用途

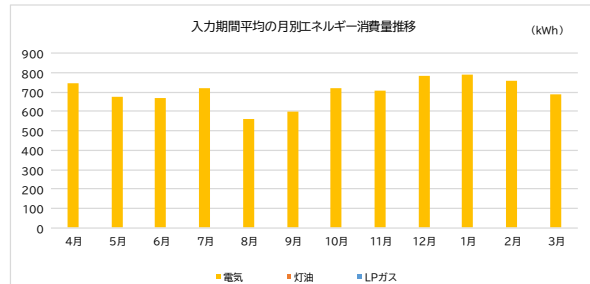
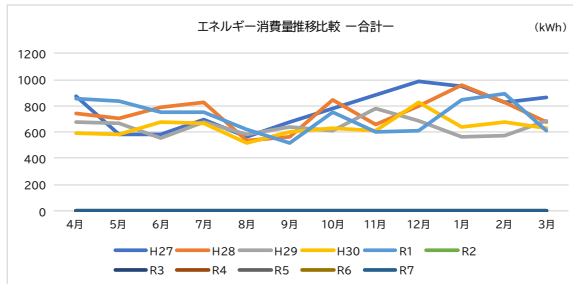
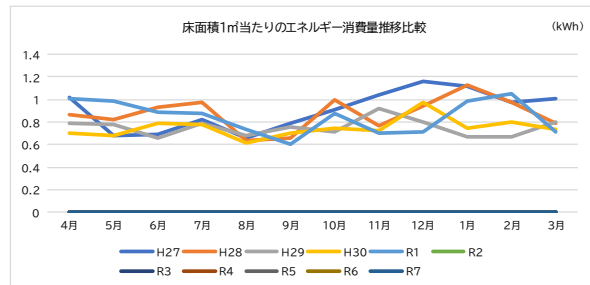
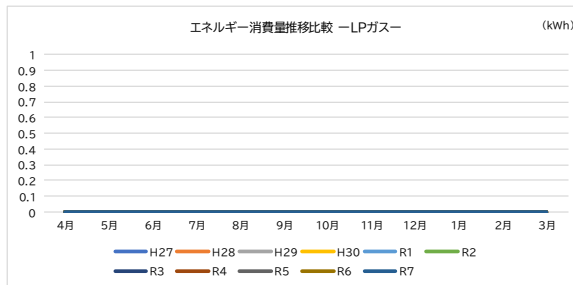
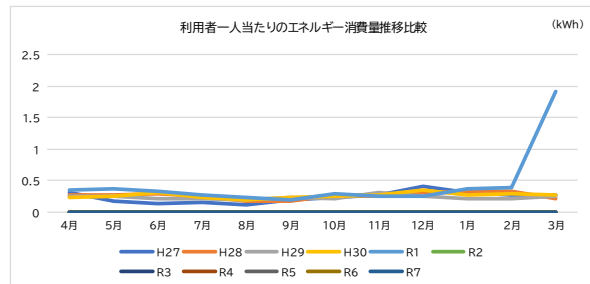
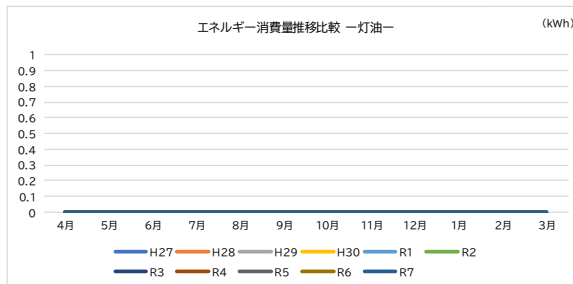
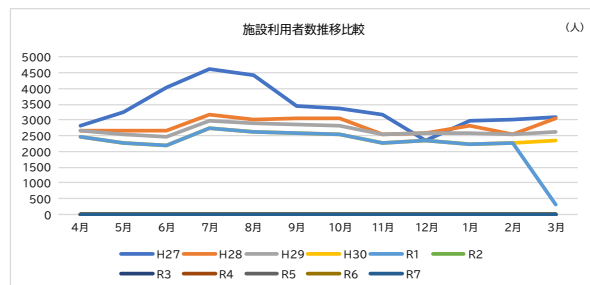
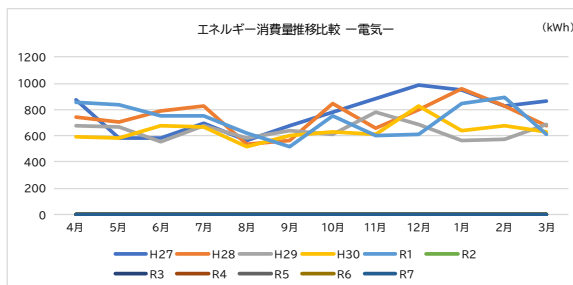
用途 (大分類)	スポーツ・レクリエーション系施設
用途 (中分類)	屋内施設
所管課	生涯学習課

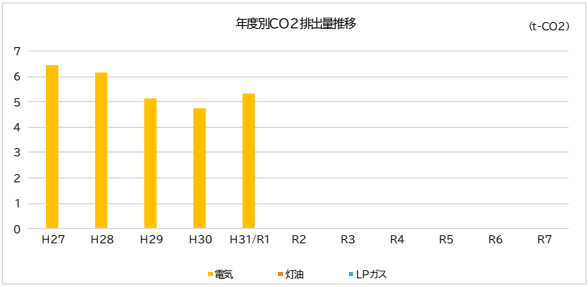
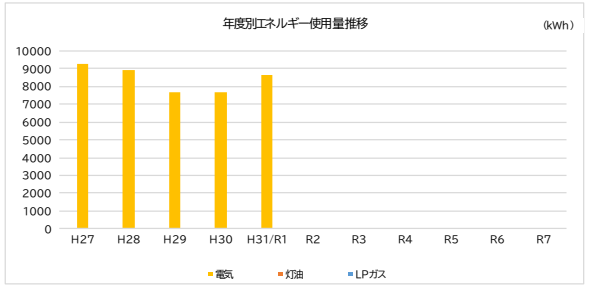
### 2) 建物概要

所在地	由良宿 223-2	地区	大栄	構造種別	RC	階数	地上1	延床面積	852㎡
竣工年	1986年	経過年数	34年	想定利用期限(50年利用想定)	2036年	残利用年数	16年	耐震補強	—

### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	8,431kWh	空調熱源	—	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m <sup>3</sup> ) / 28.52
-----------------	----------	------	---	--------------	---





CO2排出係数：電気 (t-CO2/kWh) / H27:0.000697, H28:0.000691, H29:0.000669, H30-R1:0.000618, 灯油 (t-CO2/L) / 0.00249, LPガス (t-CO2/m3) / 0.00654

4) 利用状況

5年間平均利用者数	32,414人
利用状況	日中の利用はほとんどなく、大栄小学校の体育館に近接しているため、一般利用の夜間稼働率も低い。大栄中学校の生徒の利用もあり合計利用者数は多い。
客観的な分析結果	近くに大栄小学校と大栄中学校の体育館、徒歩10分のところに大栄体育館もあるため、一般利用者は分散している。利用者の減少を想定して、他の体育館の利用を促し閉鎖することを推奨するが、維持管理コストは50万円以下のレベルなので、もし大栄小学校を閉鎖・移転を想定する中で一時的に活用していく可能性もある。

5) 検討方針と実行年代

検討方針	<p>【共通】…大誠体育館・勤労者体育センター・北条体育館・大栄体育館・大栄ふれあい会館・北条ふれあい会館・B&amp;G海洋センター 利用の時間帯をずらしたり、複数グループで合同利用したりなどの使い方の工夫と小中学校の体育館活用などを検討し、効率的な利用を目指す。今後の人口、利用者数に見合った形で再編を検討し、比較的状態の良い施設を受け皿とする。</p> <p>【勤労者体育センター】 築年数の割に劣化が進んでいるため、このままの状態での長期利用は行わず、大きな不具合が生じた時点で廃止し、その後の解体、跡地の活用についても検討する。</p>	
実行年代	2020年代可能な限り早期	廃止検討

(7)B&G海洋センター

番号	15
施設名	B & G海洋センター



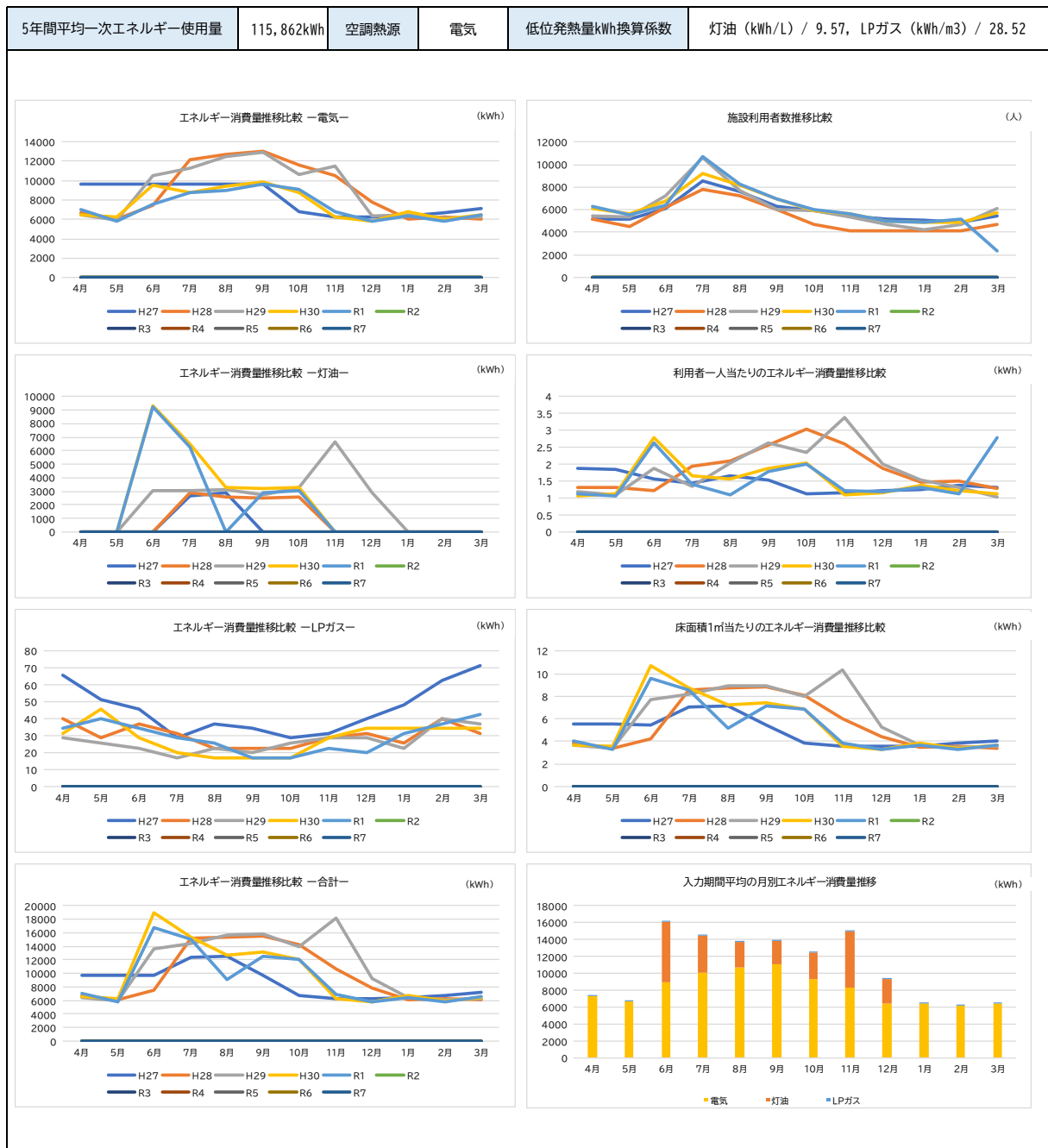
1) 施設用途

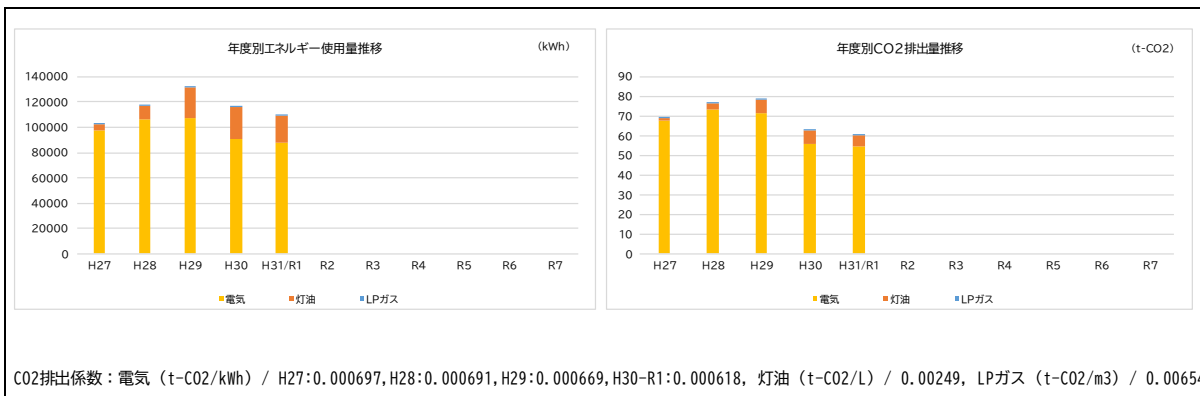
用途 (大分類)	スポーツ・レクリエーション系施設
用途 (中分類)	屋内施設
所管課	生涯学習課

2) 建物概要

所在地	田井 428-1	地区	北条	構造種別	RC	階数	地上2	延床面積	1762㎡
竣工年	1989年	経過年数	31年	想定利用期限(50年利用想定)	2039年	残利用年数	19年	耐震補強	—

3) エネルギー性能





#### 4) 利用状況

5年間平均利用者数	71,049人
利用状況	アリーナ以外にトレーニングルームやプール、ミーティングルームもあるため日中の利用者が多い。隣接する自治体からの利用者も多い。夜間稼働率は97%と高い。 現状、アリーナとプールの照明に電気を多く使用しているが、R3年度にバイオマスボイラー300kWを導入予定で、プールの温水と施設全体の暖房に利用予定。また、太陽光発電設備54.4kWと蓄電池32.2kWで照明等の電力消費に利用予定。
客観的な分析結果	バイオマスボイラーの導入もあることから、小中合わせて4つあるプールをそれぞれ維持管理することを止め、B & G海洋センターに集中的に投資して設備の稼働率を向上し、町民にとってより快適な活用ができるプール事業形態とする可能性が考えられる。 建物・設備はさまざまな改修をしてH26年度には屋根と外壁の改修が行われており、状態は良いので長期利用を想定して、トレーニングルームやミーティングルーム、事務室等の断熱改修を行うことも将来的に検討することを推奨する。

#### 5) 検討方針と実行年代

検討方針	<p>【共通】…大誠体育館・勤労者体育センター・北条体育館・大栄体育館・大栄ふれあい会館・北条ふれあい会館・B &amp; G海洋センター 利用の時間帯をずらしたり、複数グループで合同利用したりなどの使い方の工夫と小中学校の体育館活用などを検討し、効率的な利用を目指す。今後の人口、利用者数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。</p> <p>【B &amp; G海洋センター】 建物の状態は良く、プールとジム機能を備えており、長期利用を想定して定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用する。適切な時期に防災計画を勘案してトレーニングルームやミーティングルーム、事務室等の省エネルギー改修を検討する。</p>	
実行年代	2020年代	維持（長寿命化・省エネ改修含む）

### 第3章 産業系施設

#### 1 施設の現状と課題



施設分類	建物名	地区	延床面積 (㎡)	竣工年	経過年	耐震補強	廃止・移譲検討
産業系施設	大栄歴史文化学習館 (青山剛昌ふるさと館)	大栄	891	1994	26	—	

産業系施設である大栄歴史文化学習館（青山剛昌ふるさと館）は、平成6年度に大栄歴史文化学習館として開設され、平成19年3月に青山剛昌ふるさと館としてリニューアルしました。現在も本町の観光拠点として国内外から多くの観光客が訪れています。

#### 2 施設のあり方についての基本方針

大栄歴史文化学習館は本町のまちづくりのテーマの1つである「コナンの里づくり」の中心とした展示を行なっている施設であり、令和2年2月に示された「青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会」の提言を参考として、今後は青山剛昌ふるさと館としての施設機能移転を含めたりニューアルの検討を実施します。



### 3 施設概要とエネルギー使用量分析、検討方針

#### (1)大栄歴史文化学習館

番号	16
施設名	大栄歴史文化学習館（青山剛昌ふるさと館）



©青山剛昌/小学館

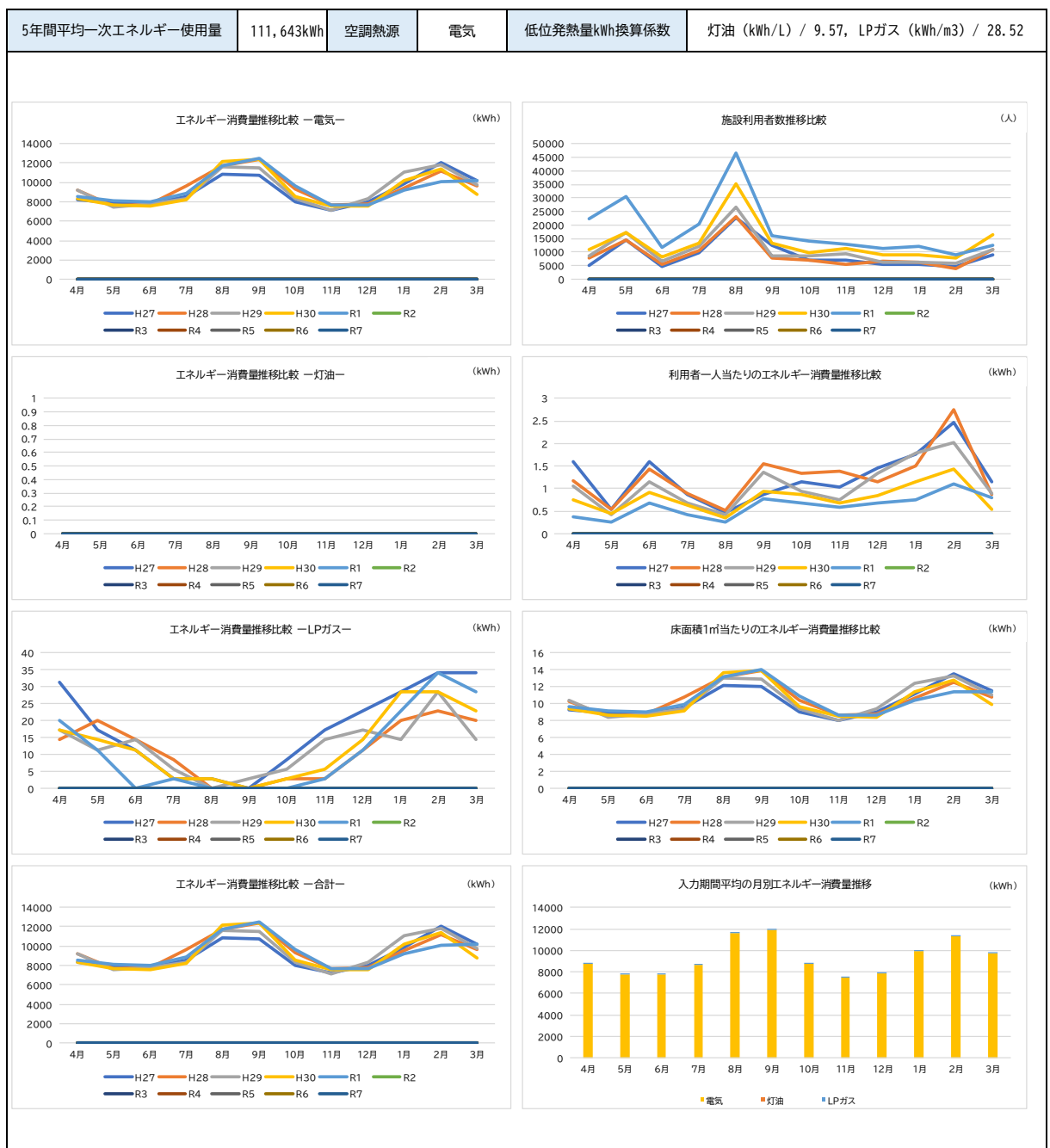
#### 1) 施設用途

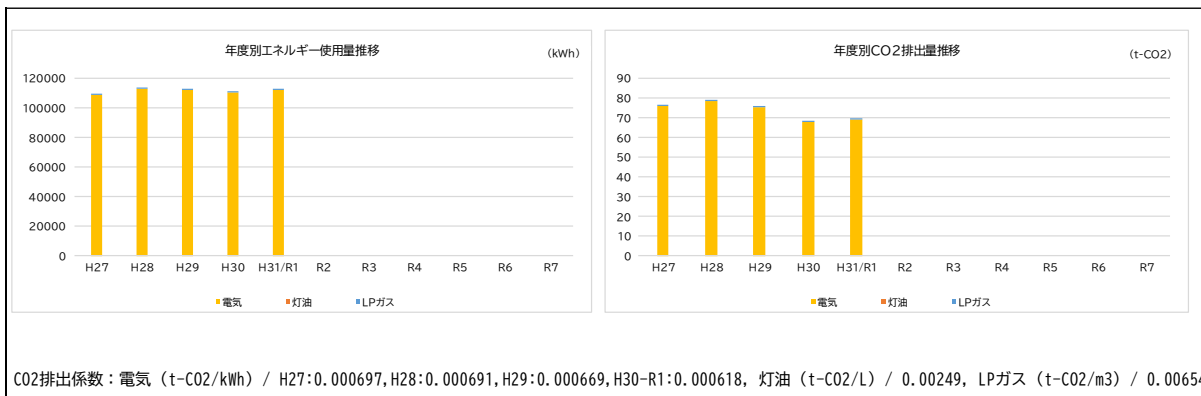
用途（大分類）	産業系施設
用途（中分類）	観光施設
所管課	観光交流課

#### 2) 建物概要

所在地	由良宿 1414	地区	大栄	構造種別	RC	階数	地上2	延床面積	891㎡
竣工年	1994年	経過年数	26年	想定利用期限(50年利用想定)	2044年	残利用年数	24年	耐震補強	—

#### 3) エネルギー性能





4) 利用状況

5年間平均利用者数	145,393人
利用状況	エネルギー使用量は例年通じて大きな変動はなく利用されており、利用者数は年々増加傾向にある。利用者の多くは観光客。博物館としての機能面で不足している点が多いことから、青山剛昌ふるさと館としての施設機能移転の検討がある。
客観的な分析結果	町の中心エリアから離れており、町民と観光客の接点はあまり起きない。施設機能の新設移転を含めた検討が為されていることから別の利用方法を考えた場合、町の中心エリアと分離しているため、町民利用のための公共施設とするには適していない。コナン通り沿いや由良川沿いの環境を含めたエリア全体の利活用を考え、その延長線上に本施設のあり方を導くことがよいと思われる。

5) 検討方針と実行年代

検討方針	定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、「青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会」の提言を参考として、周辺環境等の状況も踏まえながら、今後は青山剛昌ふるさと館としての施設機能移転を含めたりリニューアルを検討する。	
実行年代	2020年代	維持（リニューアル・長寿命化・省エネ改修含む）

## 第4章 学校教育系施設

### 1 施設の現状と課題



施設分類	建物名	地区	延床面積 (㎡)	竣工年	経過年	耐震補強
学校教育系施設	北条小学校	北条	6,672	2009	11	—
	北条中学校	北条	7,131	1994	26	—
	大栄小学校	大栄	6,978	1973	47	H14 実施
	大栄中学校	大栄	7,474	1964	56	H17 実施
	北栄町学校給食センター	北条	958	1996	24	—

児童・生徒数の推移(学校施設長寿命化計画から抜粋し一部追加) (人)

	これまでの推移			将来推計	
	2000	2010	2020	2030	2040
	H12	H22	R2	R12	R22
小学校児童数	1,123	854	802	719	656
中学校生徒数	703	410	358	345	315
合計	1,826	1,264	1,160	1,064	971

学校教育系施設は、義務教育を行う施設や給食センター等であり、小中学校は北条・大栄の両地区に1つずつ設置されています。学校の耐震化対策は完了しているものの、大栄小学校及び大栄中学校は築40年を超えており、老朽化が進んでいます。

また、児童生徒数の減少に応じた学校の規模を検討していく必要があります。

### 2 施設のあり方についての基本方針

学校教育系施設は、義務教育の拠点としての機能を果たすことを目的とします。

令和元年12月に策定した北栄町学校施設長寿命化計画に基づきライフサイクルコストの低減をめざし、計画的な修繕等により長寿命化を推進します。建替え時期を迎える前に、児童生徒数の規模に応じた建替えや、小中一貫校など様々な選択肢の中から、今後の小中学校のあり方を検討します。

学校給食センターは小中学校への給食供給に不可欠な施設であり、計画的な修繕により施設機能を維持していきます。

### 3 施設概要とエネルギー使用量分析、検討方針

#### (1)北条小学校

番号	17
施設名	北条小学校



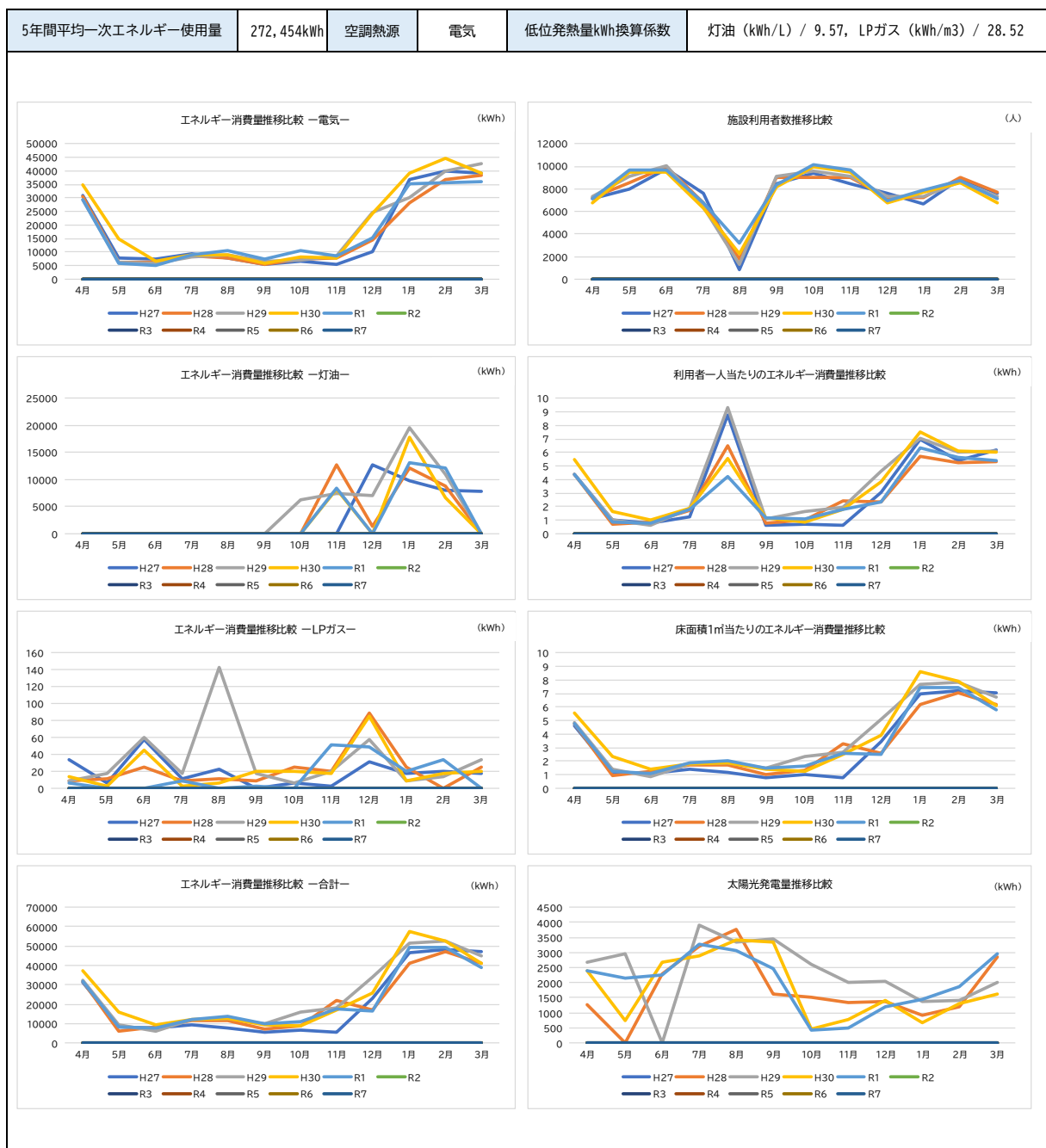
##### 1) 施設用途

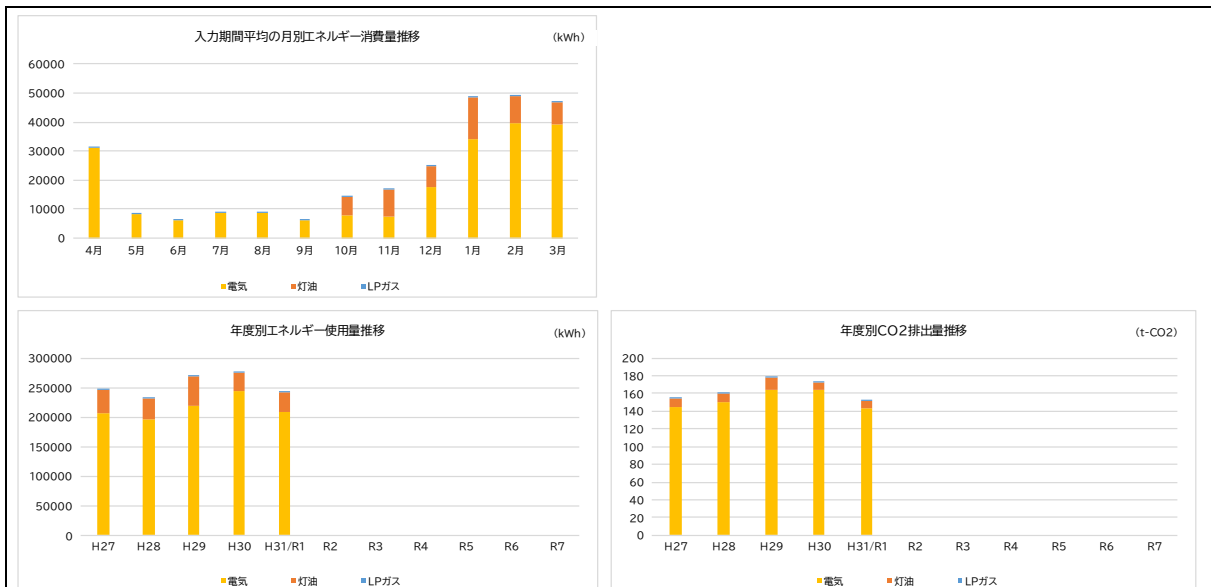
用途 (大分類)	学校教育系施設
用途 (中分類)	学校
所管課	教育総務課

##### 2) 建物概要

所在地	国坂 680	地区	北条	構造種別	RC	階数	地上3	延床面積	6672㎡
竣工年	2009年	経過年数	11年	想定利用期限(50年利用想定)	2059年	残利用年数	39年	耐震補強	—

##### 3) エネルギー性能





CO2排出係数：電気 (t-CO2/kWh) / H27:0.000697, H28:0.000691, H29:0.000669, H30-R1:0.000618, 灯油 (t-CO2/L) / 0.00249, LPガス (t-CO2/m3) / 0.00654

#### 4) 利用状況

5年間平均利用者数	92,526人
利用状況	太陽光発電を設置しており、平均約24,000kWh/年発電している。暖房は電気蓄熱式暖房機を用いられており、これによる冬季の電気使用量が非常に多い。電気蓄熱式暖房機はエネルギー効率が低い。
客観的な分析結果	冬季の電気使用量が非常に大きい、その原因は電気蓄熱式暖房機である。各教室に設置しているエアコンはほとんど冷房にしか使用されていない。省エネルギー化のためにはまず電気蓄熱式暖房機からエアコンに切り替える必要がある。エアコンでは机や椅子の高さが暖かくなならないという考えもあるが、それは建物の断熱性能が低いことが原因なので、早い時期に省エネルギー改修を行うことを推奨する。

#### 5) 建物状況

主な劣化状況	
屋上パラペット/クラック	外壁/過去暖房器具配管用貫通部
	
診断結果	全体的に目立った劣化は見られないので、点検と補修を継続することで長く使い続けられる。理科室の外壁側天井に雨漏りがあり、以前利用していた暖房器具配管用の外壁貫通部がその原因と考えられるので調査が必要。

#### 6) 検討方針と実行年代

検討方針	<p>【共通】…北条小学校・北条中学校・大栄小学校・大栄中学校 北条エリア、大栄エリアの児童・生徒数に見合った形で再編を検討し、比較的状態の良い施設を受け皿とする。特別教室や体育館など地域に開いて活用できる部分を検討して、積極的に活用する。</p> <p>【北条小学校】 建物に目立った劣化は見られないので、長期の継続利用を想定し、早い時期に断熱性能を高めるための省エネルギー改修を行うことを検討する。 今後児童数が減少しクラス数に空きが出るなら、築年数の古い棟の機能は教室棟に移す等の検討により、児童の動線を考慮した効率の良い運営形態を目指す。</p>
実行年代	2020年代/2040年代
	維持（長寿命化・省エネ改修含む）

7) 省エネルギー改修の例

施設名	北条小学校		年間CO2排出量	142.9t-CO2
省エネ改修の内容	暖房を電気蓄熱式からエアコンに変更			
改修費	総費用	うち補助金	町費	
	-	-	-	
エネルギー削減効果(年間)	エネルギー種別・量		光熱費	CO2
	灯油、電気	-123,691kWh	-2,110,308円	-62.8t-CO2
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月	
	-	-	年 月	
その他	<p>電気蓄熱式暖房機はエネルギー効率が悪く、エアコンに変更した場合、同じ電力量で4倍程度暖房効率が向上する。1教室において検討した場合、エネルギー消費量を5,224(kWh)から1,309(kWh)に削減することが期待できる。</p> <p>また、一部のFF暖房機もエネルギー消費量の削減を目的にエアコンに変更する。</p> <p>なお、現状の低い断熱性能では児童の学習環境を低下させることが予想されるため、断熱改修を行うまでは、エアコンをメインに、電気蓄熱式暖房機とFF暖房機を併用することとする。</p>			

施設名	北条小学校		年間CO2排出量	142.9t-CO2				
省エネ改修の内容	屋根断熱+内窓+外付シェード設置							
改修費	総費用	うち補助金	町費					
	38,222,500円	-	-					
エネルギー削減効果(年間)	エネルギー種別・量		光熱費	CO2				
	灯油、電気	-32,139kWh	-622,143円	-19.9t-CO2				
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月					
	61年	2081年	年 月					
その他	建物の状態が良く、長寿命化などの大規模改修時にきめの細かい補修や維持管理を行うことで継続利用することが可能な施設である。そのため、投資回収が長期だとしても、積極的に省エネ改修を行う。							
	省エネルギー改修案	改修コスト (千円)	暖房をエアコンに変更した場合		暖房をエアコンに変更しなかった場合			
			CO2削減効果 (t/年)	光熱費の削減効果 (円/年)	投資回収年数 (年)	CO2削減効果 (t/年)	光熱費の削減効果 (円/年)	投資回収年数 (年)
	外付シェード設置	620	-63.1	-2,119,351	0.3	-0.3	-9,043	68.6
	内窓設置	21,825	-66.8	-2,235,971	9.8	-4.0	-125,663	173.7
	内窓+外付シェード設置	22,445	-66.4	-2,224,495	10.1	-3.6	-114,187	196.6
	屋根断熱設置	15,338	-78.2	-2,594,509	5.9	-15.4	-484,201	31.7
	屋根断熱+外付シェード設置	15,958	-78.0	-2,586,752	6.2	-15.2	-476,444	33.5
	屋根断熱+内窓設置	37,163	-82.4	-2,725,944	13.6	-19.6	-615,636	60.4
屋根断熱+内窓+外付シェード設置	38,223	-82.7	-2,732,451	14.0	-19.9	-622,143	61.4	

## (2)北条中学校

番号	18
施設名	北条中学校



### 1) 施設用途

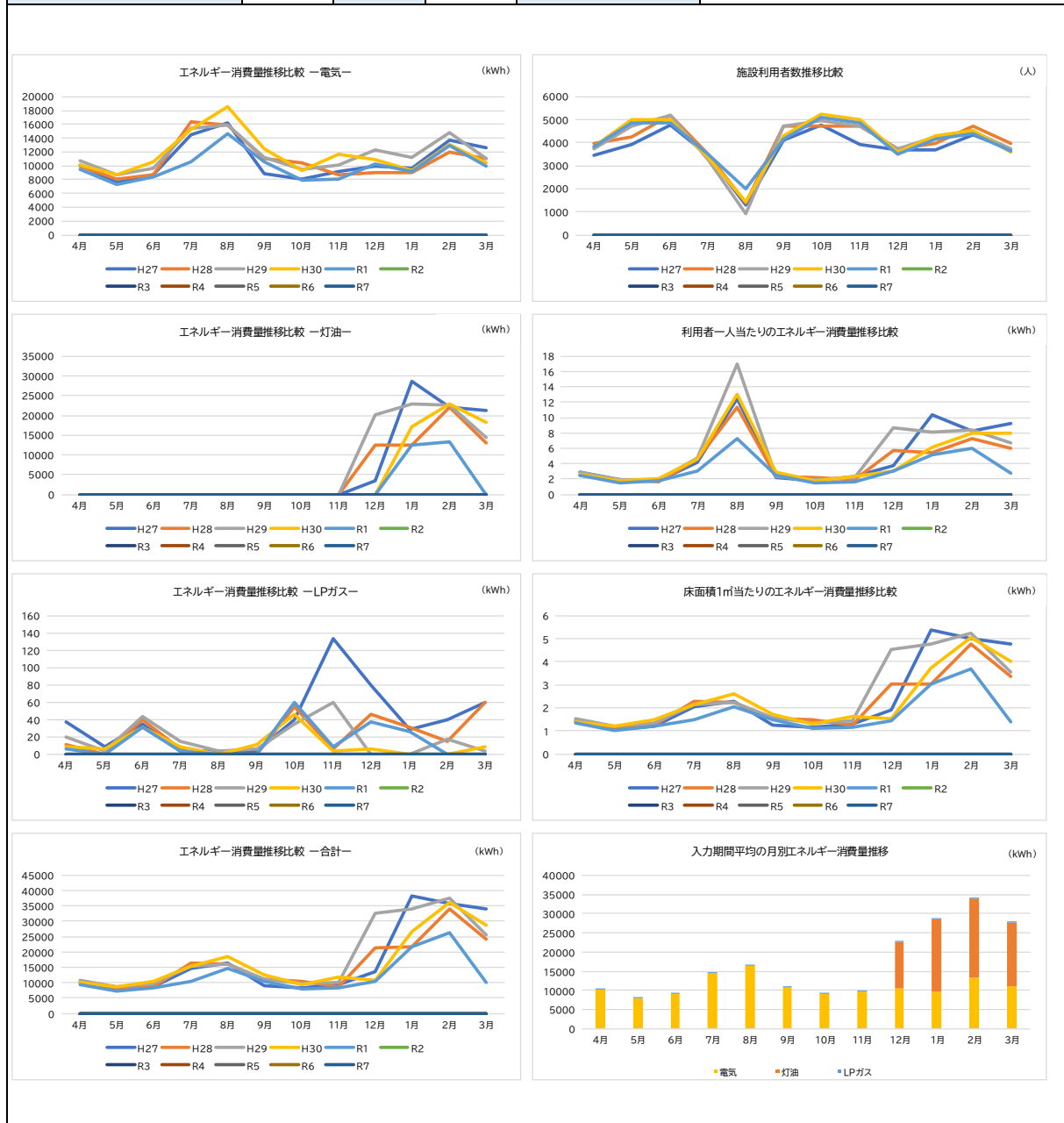
用途 (大分類)	学校教育系施設
用途 (中分類)	学校
所管課	教育総務課

### 2) 建物概要

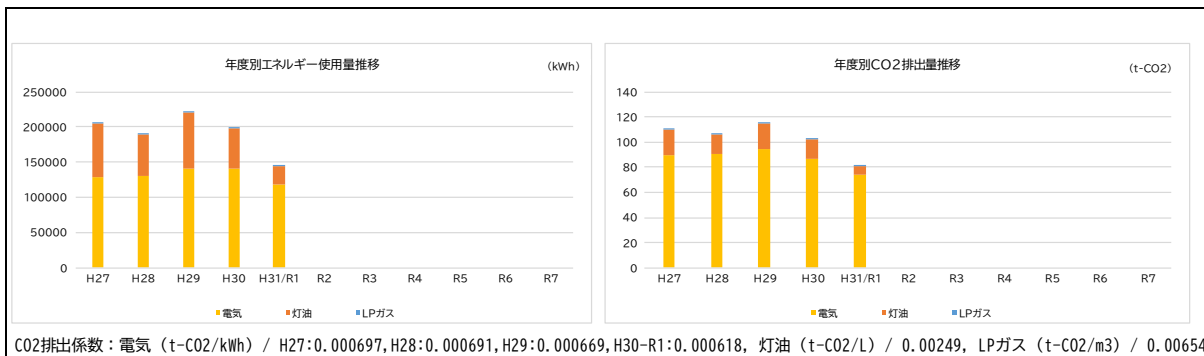
所在地	土下 110-1	地区	北条	構造種別	RC	階数	地上3	延床面積	7131㎡
竣工年	1994年	経過年数	26年	想定利用期限(50年利用想定)	2044年	残利用年数	24年	耐震補強	—

### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	192,187kWh	空調熱源	暖房：灯油 冷房：電気	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m <sup>3</sup> ) / 28.52
-----------------	------------	------	----------------	--------------	---







4) 利用状況

5年間平均利用者数	48,128人
利用状況	電気使用量は体育館1階の北条ふれあい会館と一緒にしているため、北条ふれあい会館の照明とエアコンの設置数から電気使用量を推計し按分した。 暖房に灯油式FF暖房機を使用しており、冬季にエネルギー使用量は大きく増加する。エアコンを全教室に設置しているが、暖房には使用せずFF暖房機を使用している。電気使用量は夏季に冷房使用で大きく増加するが、例年の使用量の推移に大きな変動はない。 R2年度に大規模改修の設計、R3年度に大規模改修の施工を予定。
客観的な分析結果	R2年～R3年度に予定している大規模改修において、長期利用を想定して一般的に修繕改修だけでなく、省エネルギー改修をおこなうことを推奨する。 目立った劣化も比較的少ない建物なので、将来の小中統合もしくは中中統合といったあり方を明確にしたうえで、より効率的な省エネルギー化を行うことが好ましい。 灯油式FF暖房機の使用を中止し、エアコンの使用に切り替えることを推奨する。

5) 建物状況

主な劣化状況	外壁/チョーキング現象、コーキングの劣化	外壁/クラック
		
診断結果	全体的に目立った劣化は見られないので、点検と補修を継続することで長く使い続けられる。 一部外壁に地震が原因と思われるクラックがあるが、大きく耐震性の低下につながる恐れがあるものではない。 外壁塗装の劣化が進んでいるので改修の必要あり。	

6) 検討方針と実行年代

検討方針	【共通】…北条小学校・北条中学校・大栄小学校・大栄中学校 北条エリア、大栄エリアの児童・生徒数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。 特別教室や体育館など地域に開いて活用できる部分を検討して、積極的に活用する。  【北条中学校】 建物に目立った劣化は見られないので、長期の継続利用を想定し、R3年度に実施する修繕改修工事に合わせて屋根断熱の施工と、熱損失の大きい開口部の日射遮蔽対策などの省エネルギー改修を行う。	
実行年代	2020年代/2040年代	維持（長寿命化・省エネ改修含む）

7) 省エネルギー改修の例

施設名	北条中学校		年間CO2排出量	97.2t-CO2
省エネ改修の内容	暖房をFF暖房機からエアコンに変更			
改修費	総費用	うち補助金	町費	
	-	-	-	
エネルギー削減効果（年間）	エネルギー種別・量		光熱費	CO2
	灯油（減）、電気（増）	-37,116kWh	162,538円	-1.5t-CO2
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月	
	-	-	年 月	
その他	<p>1教室において検討した場合、エネルギー消費量を4,750(kWh)から1,811(kWh)に削減することが期待できる。</p> <p>一方で、暖房をエアコンに替えただけでは灯油より電気の方が、エネルギー単価（光熱費）が高くなるため、まずは省エネ改修を行った後に変更する。</p>			

施設名	北条中学校		年間CO2排出量	97.2t-CO2
省エネ改修の内容	屋根断熱+外付シェード設置			
改修費	総費用	うち補助金	町費	
	11,814,000円	0円	11,814,000円	
エネルギー削減効果（年間）	エネルギー種別・量		光熱費	CO2
	電気	-24,667kWh	-665,990円	-15.2t-CO2
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月	
	18年	2038年	年 月	
その他	<p>総合管理計画では、小中統合の可能性が言及されており、その方向で進むのであれば、建物の状態、位置から北条小学校を統合先とするのが適当である。今後行われる改修は将来の北条中学校のあり方としてどのような目的であるかを考慮する必要がある。</p> <p>その他、次のような改修が考えられ、小中学校の統廃合の方針により、長期間維持することになったり、改修に補助金が得られたりするのであれば、投資回収年を検討して、より省エネルギーとなる改修を進める。</p>			
	省エネルギー改修案	改修コスト (千円)	暖房をエアコンに変更した場合 CO2削減効果 (t/年) 光熱費の削減効果 (円/年) 投資回収年数 (年)	暖房をエアコンに変更しなかった場合 CO2削減効果 (t/年) 光熱費の削減効果 (円/年) 投資回収年数 (年)
	外付シェード設置	924	-5.6 -19,321 47.8	-4.1 -181,859 5.1
	内窓設置	19,350	-7.2 -87,667 220.7	-5.7 -250,205 77.3
	内窓+外付シェード設置	20,274	-9.0 -166,022 122.1	-7.5 -328,560 61.7
	屋根断熱設置	10,890	-11.3 -267,040 40.8	-9.8 -429,578 25.4
	屋根断熱+外付シェード設置	11,814	-16.7 -503,452 23.5	-15.2 -665,990 17.7
	屋根断熱+内窓設置	30,240	-17.9 -556,409 54.3	-16.4 -718,947 42.1
	屋根断熱+内窓+外付シェード設置	31,164	-20.8 -681,518 45.7	-19.3 -844,056 36.9

### (3)大栄小学校

番号	19
施設名	大栄小学校



#### 1) 施設用途

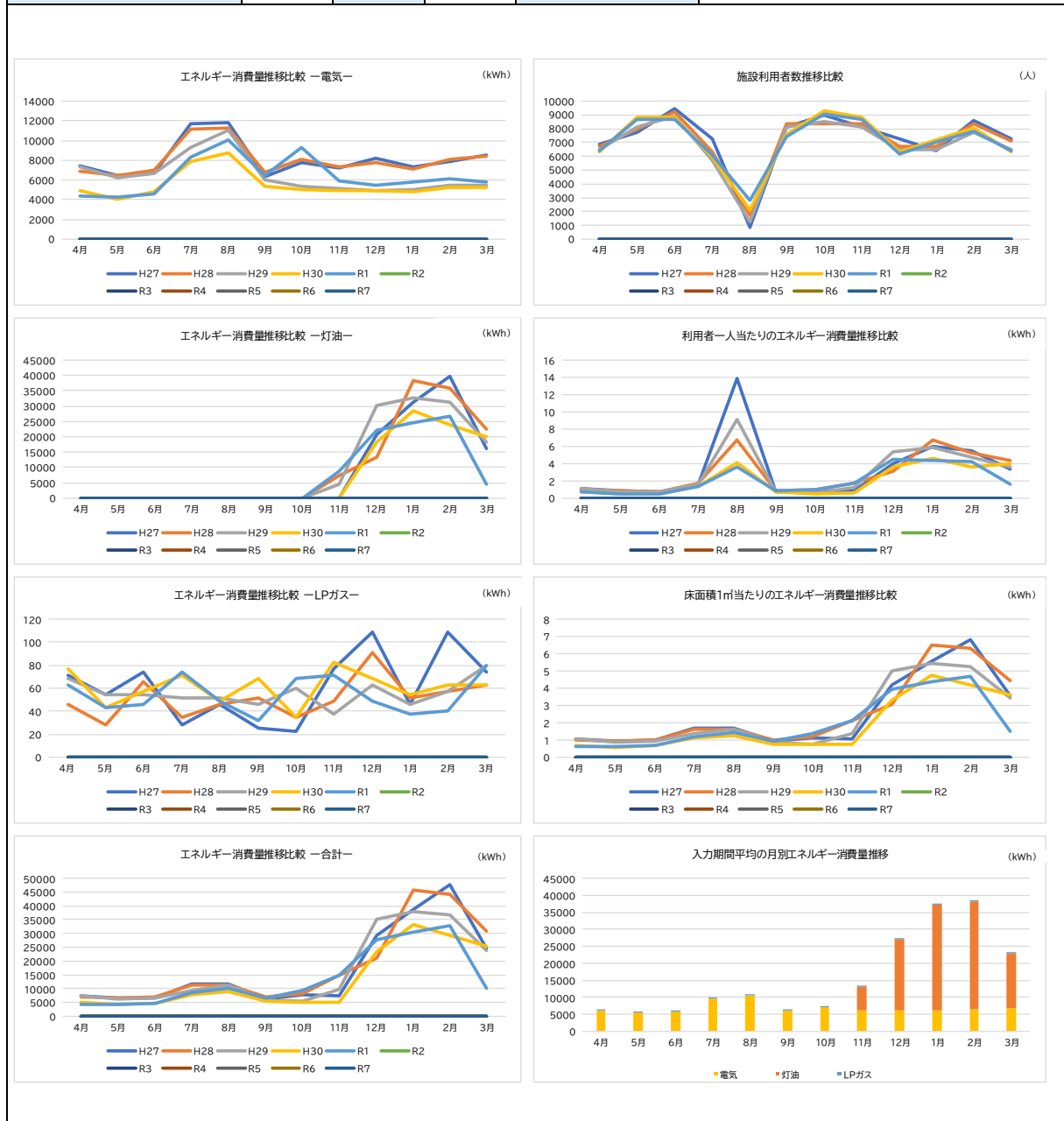
用途 (大分類)	学校教育系施設
用途 (中分類)	学校
所管課	教育総務課

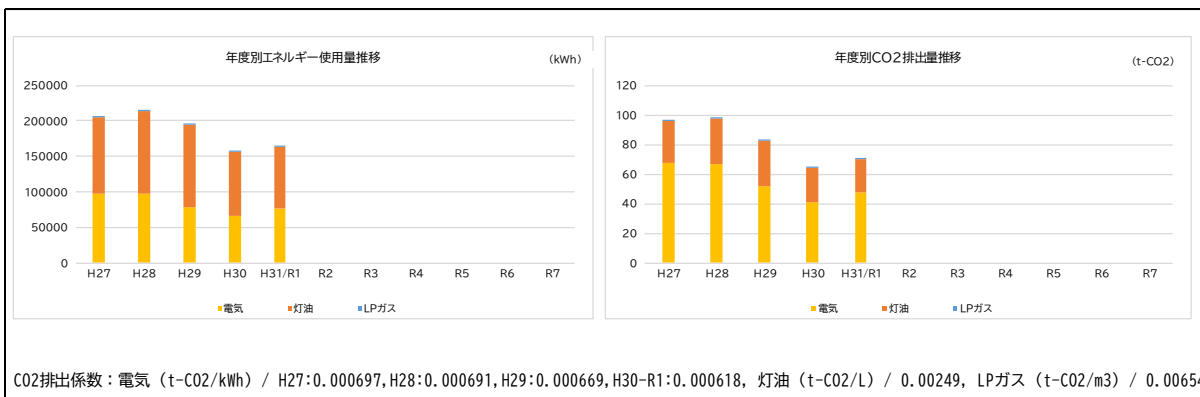
#### 2) 建物概要

所在地	由良宿 209	地区	大栄	構造種別	RC	階数	地上3	延床面積	6978㎡
竣工年	1973年	経過年数	47年	想定利用期限(50年利用想定)	2023年	残利用年数	3年	耐震補強	2002/H14

#### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	187,418kWh	空調熱源	暖房：灯油 冷房：電気	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m <sup>3</sup> ) / 28.52
-----------------	------------	------	----------------	--------------	---







4) 利用状況

5年間平均利用者数	85,310人
利用状況	2060年の将来まで継続維持することが求められるが、建物の劣化状況は最も悪い。暖房に灯油式FF暖房機を使用しており、冬季にエネルギー使用量は大きく増加する。エアコンを全教室に設置しているが、暖房には使用せずFF暖房機を使用している。電気使用量は夏季に増加するが、教室のエアコン設置はR1年度なので、それ以前の電気使用量の増加は職員室等にある既設のエアコンによるもの。
客観的な分析結果	暖房にかかる灯油のエネルギー使用量が非常に大きいので、灯油式FF暖房機の使用を中止し、エアコンの使用に切り替えることを推奨する。さらなる省エネルギー化、教室の温熱環境の改善が望まれるが、建物の劣化が非常に進行していることから、将来の小中統合や校舎の建替え、移設などのあり方を決めてから、それを元に検討することが好ましい。

5) 建物状況

主な劣化状況	開口部/塩害によるアルミサッシの腐食	渡り廊下接続部柱/主筋位置のクラック
		
診断結果	施設全体において著しい劣化がみられ、柱、壁、床においては耐震性能に影響する可能性のあるクラックが多数みられる。南側開口部のほぼ全てに塩害によるアルミサッシの腐食が見られ、それが原因と考えられる雨漏りも起きている。長期利用を前提に修繕していくと数年以内ごとに同様の修繕を繰り返す可能性が高く、修繕コストも多大にかかることが想定される。	

6) 検討方針と実行年代

検討方針	【共通】…北条小学校・北条中学校・大栄小学校・大栄中学校 北条エリア、大栄エリアの児童・生徒数に見合った形で再編を検討し、比較的状態の良い施設を受け皿とする。特別教室や体育館など地域に開いて活用できる部分を検討して、積極的に活用する。  【大栄小学校】 建物の劣化が進行しており、長期利用を想定した継続的な改修は費用積算のうえ検討する。また、エネルギーコストを大きく削減し快適な学習環境を提供するだけの省エネルギー改修を行うにも建物が長期利用に耐えられることが前提となるため、長期利用を想定した改修を実施しない場合には大栄中学校敷地内への移転などの可能性も含めて再編を検討する。その上で、大規模改修や省エネルギー改修について検討する。 学校施設長寿命化計画でR6年度に予定されている大規模改修の内容は再編の可能性のあることを考慮して検討する。	
実行年代	2030年代	再編検討

7) 省エネルギー改修の例

施設名	大栄小学校		年間CO2排出量	78.4t-CO2				
省エネ改修の内容	-							
改修費	総費用	うち補助金	町費					
	-	-	-					
エネルギー削減効果（年間）	エネルギー種別・量		光熱費	CO2				
	-	-	-	-				
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月					
	-	-	年 月					
その他	<p>4つの学校施設の中で最も劣化が進んでおり、今後10年程度の利用が限度であると考えます。                  省エネ改修による投資費用の回収は困難ですが、児童の学習環境の改善を図る観点から、普通教室にDIYによる簡易内窓の設置や天井からの熱を直接受けない1、2階に普通教室を移動させるなどの検討を行う。                  費用をかける場合は、次のような改修が考えらる。</p>							
	省エネルギー改修案	改修コスト (千円)	暖房をエアコンに変更した場合		暖房をエアコンに変更しなかった場合			
			CO2 削減効果 (t/年)	光熱費の 削減効果 (円/年)	投資回収 年数 (年)	CO2 削減効果 (t/年)	光熱費の 削減効果 (円/年)	投資回収 年数 (年)
	外付シェード設置	1,267	-4.9	29,851	-42.4	-2.3	-110,270	11.5
	内窓設置	15,000	-7.3	-80,535	186.3	-4.7	-220,656	68.0
	内窓+外付シェード設置	16,267	-8.1	-118,087	137.8	-5.5	-258,208	63.0
	屋根断熱設置	11,760	-15.7	-470,454	25.0	-13.1	-610,575	19.3
	屋根断熱+外付シェード設置	13,027	-18.8	-615,308	21.2	-16.2	-755,429	17.2
	屋根断熱+内窓設置	26,760	-21.0	-717,885	37.3	-18.4	-858,006	31.2
	屋根断熱+内窓+外付シェード設置	28,027	-22.7	-797,704	35.1	-20.1	-937,825	29.9

#### (4)大栄中学校

番号	20
施設名	大栄中学校



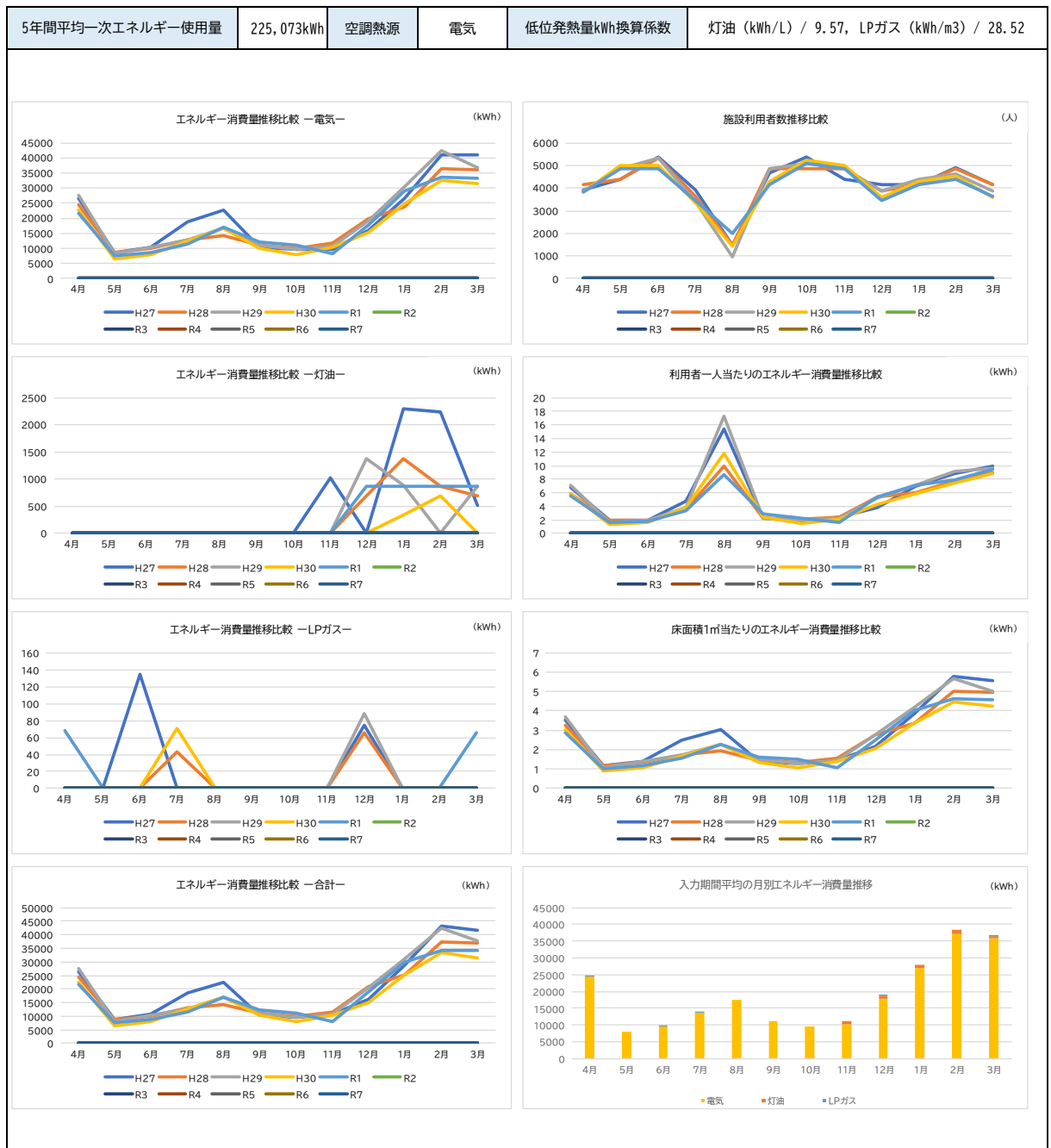
##### 1) 施設用途

用途 (大分類)	学校教育系施設
用途 (中分類)	学校
所管課	教育総務課

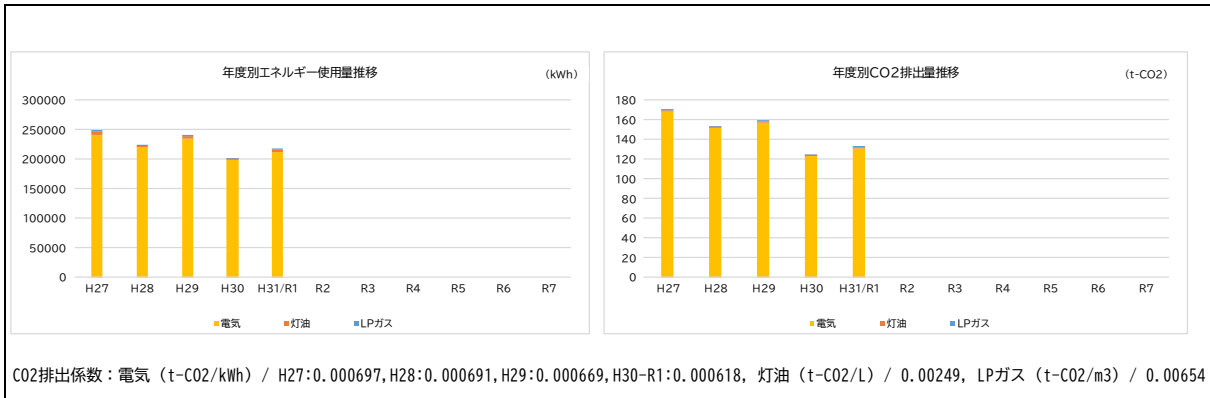
##### 2) 建物概要

所在地	由良宿 340	地区	大栄	構造種別	RC	階数	地上3	延床面積	7474㎡
竣工年	1964年	経過年数	56年	想定利用期限(50年利用想定)	2014年	残利用年数	-6年	耐震補強	2005/H17

##### 3) エネルギー性能









4) 利用状況

5年間平均利用者数	49,860人
利用状況	H30年度に普通教室にエアコンを設置しているが、エアコンは冷房に主に利用されており、暖房は電気蓄熱式暖房機を用いられており、これによる冬季の電気使用量が非常に多い。多目的教室が5室あり、大人数の授業が難しい生徒のための特別教室として利用している。
客観的な分析結果	H30年度に普通教室にエアコンを設置しているが、夏季冬季にその利用状況を読み取れるような電気使用量の増加は見られない。電気蓄熱式暖房機はエネルギー効率が低く電気使用量は大きいので、エアコンの使用に切り替えることを推奨する。大栄小学校と比較して建物は古いが悪化状況はこちらの方が良いので、小中統合を行うのであれば、こちらを省エネルギー改修の方が好ましいと考える。ただし、こちらも劣化は非常に進んでいるので、あと20年程度を利用限度と考えてあり方を検討することを推奨する。

5) 建物状況

主な劣化状況	屋上/脱気口周りの防水シートの剥がれ	屋上/防水シート剥がれ
		
診断結果	築年数は大栄小学校よりも古いですが、建物の劣化状況としてはこちらの方が良い状態。元々の施工が良かったことや北側に体育館があることで海からの塩の影響が抑えられていることが考えられる。	

6) 検討方針と実行年代

検討方針	【共通】…北条小学校・北条中学校・大栄小学校・大栄中学校 北条エリア、大栄エリアの児童・生徒数に見合った形で再編を検討し、比較的状態の良い施設を受け皿とする。特別教室や体育館など地域に開いて活用できる部分を検討して、積極的に活用する。  【大栄中学校】 耐震補強が行われていることもあり築年数の割に建物状態は悪くないが、軽微な補修のみで使い続けられるのは2040年が限度と思われる。ただし、大栄小学校よりも長く利用することが期待できるため、大栄小学校の大規模改修に係る検討と併せて大栄中学校の大規模改修や再編を検討する。その上で、省エネルギー改修について検討する。	
実行年代	2030年代	再編検討



7) 省エネルギー改修の例

施設名	大栄中学校		年間CO2排出量	137.8t-CO2
省エネ改修の内容	暖房を電気蓄熱式からエアコンに変更			
改修費	総費用	うち補助金	町費	
	-	-	-	
エネルギー削減効果(年間)	エネルギー種別・量		光熱費	CO2
	灯油、電気	-85,062kWh	-2,238,891円	-51.3t-CO2
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月	
	-	-	年 月	
その他	<p>電気蓄熱式暖房機はエネルギー効率が悪く、エアコンに変更した場合、同じ電力量で4倍程度暖房効率が向上する。1教室において検討した場合、エネルギー消費量を5,224(kWh)から1,309(kWh)に削減することが期待できる。</p> <p>また、一部のFF暖房機もエネルギー消費量の削減を目的にエアコンに変更する。</p> <p>なお、現状の低い断熱性能では児童の学習環境を低下させることが予想されるため、断熱改修を行うまでは、エアコンをメインに、電気蓄熱式暖房機とFF暖房機を併用することとする。</p>			

施設名	大栄中学校		年間CO2排出量	137.8t-CO2				
省エネ改修の内容	屋根断熱+外付シェード設置							
改修費	総費用	うち補助金	町費					
	9,774,000円	0円	9,774,000円					
エネルギー削減効果(年間)	エネルギー種別・量		光熱費	CO2				
	電気	-18,966kWh	-512,933円	-11.7t-CO2				
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月					
	19年	2039年	年 月					
その他	<p>総合管理計画では、小中統合の可能性が言及されているが、大栄小学校に次いで劣化が進行している施設で、2040年ごろまでの使用が限界と考え、省エネ改修については、投資費用の回収期間を考慮した。</p> <p>その他、次のような改修が考えられ、改修に補助金が得られるのであれば、投資回収年を検討して、より省エネルギーとなる改修を進める。</p>							
	省エネルギー改修案	改修コスト (千円)	暖房をエアコンに変更した場合		暖房をエアコンに変更しなかった場合			
			CO2削減効果 (t/年)	光熱費の削減効果 (円/年)	投資回収年数 (年)	CO2削減効果 (t/年)	光熱費の削減効果 (円/年)	投資回収年数 (年)
	外付シェード設置	961	-52.4	-2,284,507	0.4	-1.1	-45,616	21.1
	内窓設置	18,400	-54.9	-2,395,107	7.7	-3.6	-156,216	117.8
	内窓+外付シェード設置	19,362	-55.1	-2,402,388	8.1	-3.8	-163,497	118.4
	屋根断熱設置	8,813	-62.1	-2,710,609	3.3	-10.8	-471,718	18.7
	屋根断熱+外付シェード設置	9,774	-63.0	-2,751,824	3.6	-11.7	-512,933	19.1
	屋根断熱+内窓設置	27,213	-65.9	-2,878,669	9.5	-14.6	-639,778	42.5
屋根断熱+内窓+外付シェード設置	28,174	-66.7	-2,911,491	9.7	-15.4	-672,600	41.9	

### (5)北栄町学校給食センター

番号	21
施設名	北栄町学校給食センター



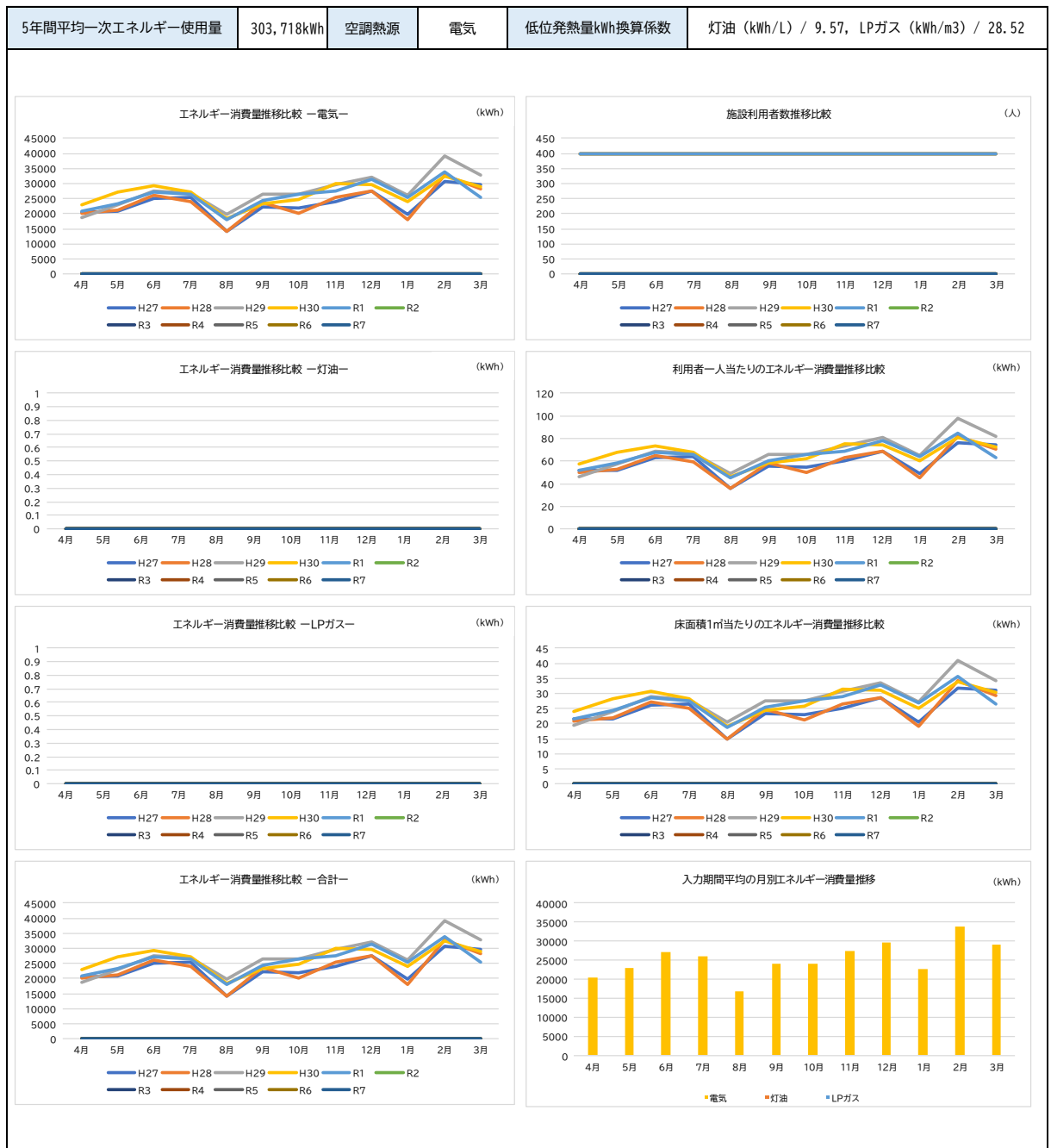
#### 1) 施設用途

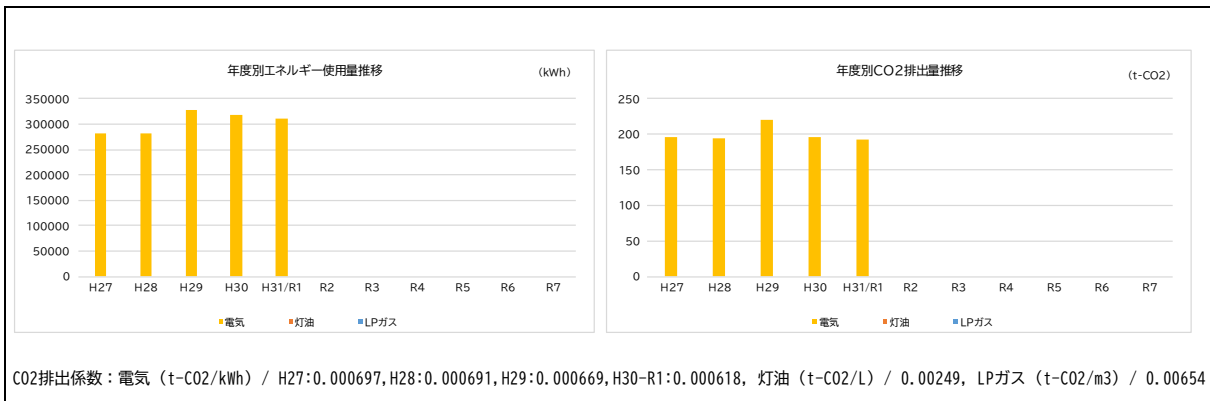
用途 (大分類)	学校教育系施設
用途 (中分類)	その他学校教育施設
所管課	教育総務課

#### 2) 建物概要

所在地	国坂 680	地区	北条	構造種別	S	階数	地上2	延床面積	958㎡
竣工年	1996年	経過年数	24年	想定利用期限(50年利用想定)	2046年	残利用年数	26年	耐震補強	—

#### 3) エネルギー性能





#### 4) 利用状況

5年間平均利用者数	4,800人
利用状況	小中学校の授業状況に合わせているので時期ごとのエネルギー使用量の変動は例年同じ傾向だが、近年にかけて使用量は増加傾向にある。 平均エネルギー使用量は全29施設で最も多い。
客観的な分析結果	建物調査の対象外なので設備機器の省エネルギー化以外の方法について言及できないが、生徒数の減少に比例してエネルギー使用量が減ることはなく、調理にかかる稼働時間に左右されるものと考えられる。 小中学校以外の施設に対応した利用が図れるのであれば、他の施設のエネルギー使用量を削減し、こちらを効率よく活用することも可能性として考えられる。

#### 5) 検討方針と実行年代

検討方針	給食供給に不可欠な施設として定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、適切な時期に省エネルギー改修（設備更新）を行うことを検討する。 また、今後の児童・生徒数の変化に対応した効率良い施設の活用を検討する。	
実行年代	2030年代	維持（長寿命化・省エネ改修含む）

## 第5章 子育て支援施設

### 1 施設の現状と課題



施設分類	建物名	地区	延床面積 (㎡)	竣工年	経過年	耐震補強	縮小・統廃合検討
子育て支援施設	北条こども園 (増築部分)	北条	1,606	2012	8	—	○
	北条こども園 (旧幼稚園部分)	北条	575	1981	39	—	
	由良こども園	大栄	973	1986	34	—	
	大誠こども園	大栄	1,330	2004	16	—	
	大谷こども園	大栄	592	1982	38	—	

児童数の推移 ※2010年、2015年は国勢調査の結果、2020年以降は2015年国勢調査結果を基にした推計値 (人)

		これまでの推移			将来推計	
		2010	2015	2020	2030	2040
		H22	H27	R2	R12	R22
総人口		15,442	14,820	14,132	12,600	11,019
	大栄	7,907	7,504	7,104	6,233	5,378
	北条	7,535	7,316	7,028	6,367	5,641
0-4歳		717	590	461	382	339
	大栄	368	285	214	177	159
	北条	349	305	247	205	180

子育て支援施設は町内4箇所の認定こども園です。耐震化対策は全て完了しているものの、由良こども園、大谷こども園、北条こども園の旧幼稚園部分については築30年を超えており、老朽化が進んでいます。各園とも定員の80%を超える児童を受け入れており、十分に利用されていますが、今後の少子化に応じた施設のあり方を検討していく必要があります。

### 2 施設のあり方についての基本方針

子育て支援施設は、次世代を担う子どもたちを育てる拠点としての機能を果たすことを目的とします。

ライフサイクルコストの低減をめざし、計画的な修繕等により長寿命化を推進します。また、建替え更新などの際には、廃止や他施設との複合化を図るなど、必要な規模を考慮し、最小のコストで必要なサービスを提供できるよう努力していきます。

施設量は児童数の減少に応じて縮減します。具体的には建替時に規模の縮小や統廃合をすることが考えられます。

### 3 施設概要とエネルギー使用量分析、検討方針

#### (1)北条こども園

番号	22
施設名	北条こども園



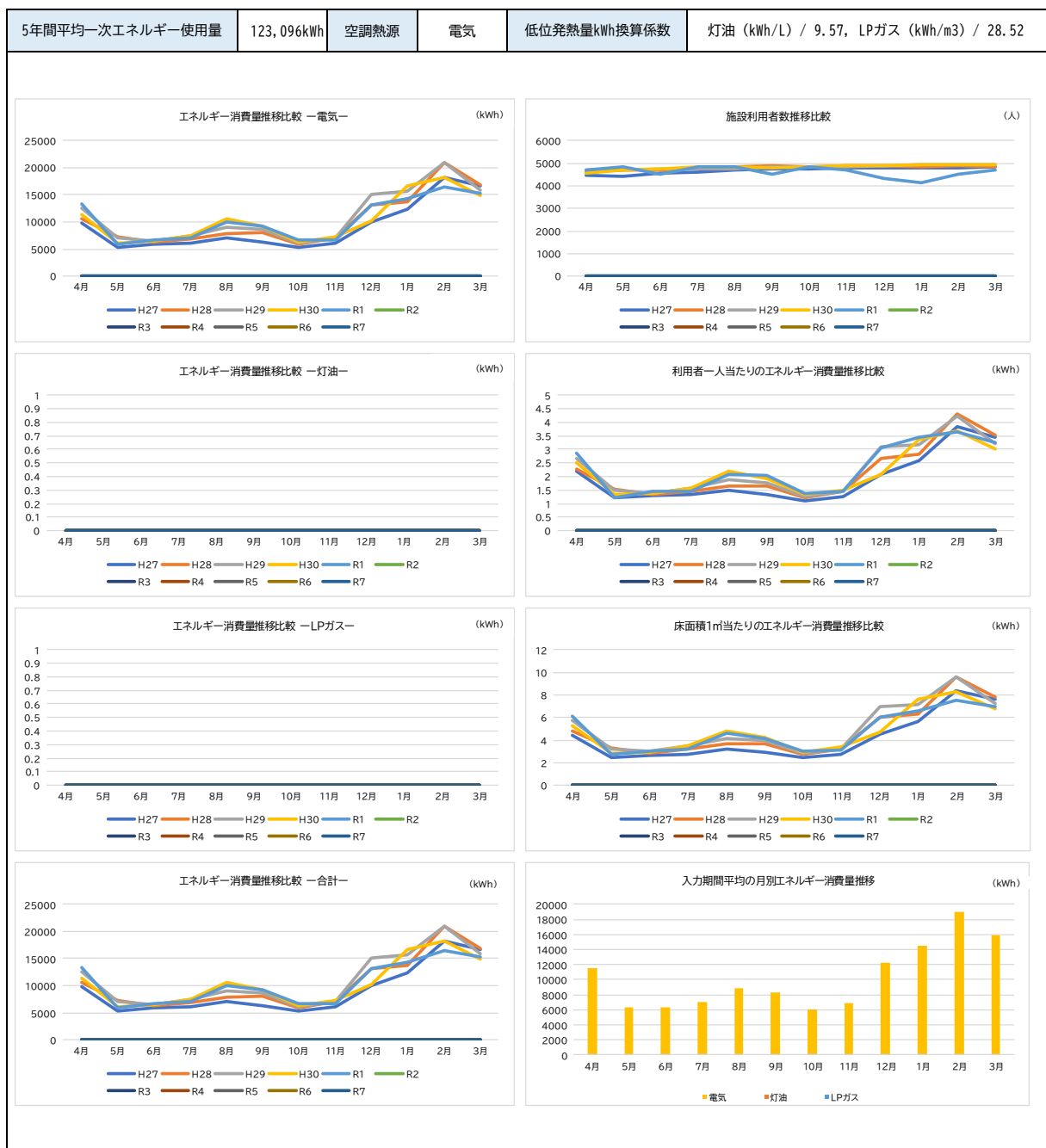
##### 1) 施設用途

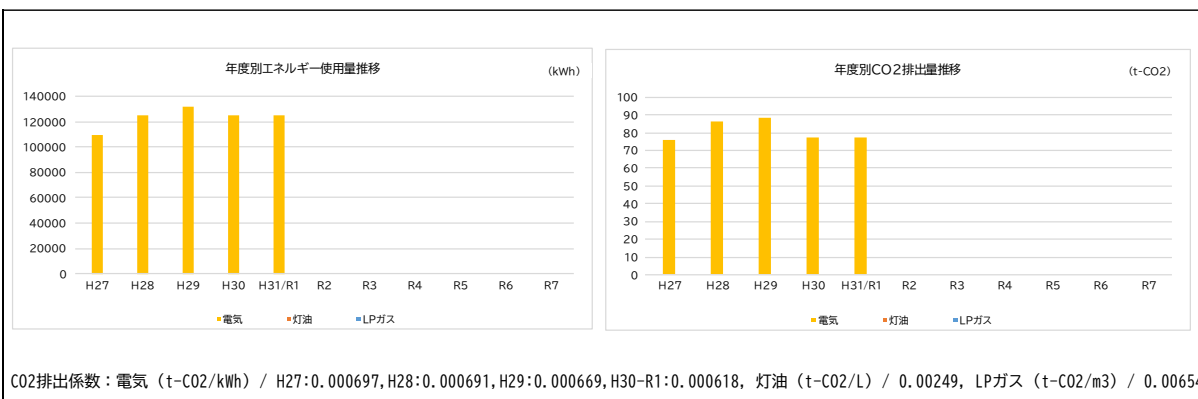
用途 (大分類)	子育て支援施設
用途 (中分類)	幼保・こども園
所管課	教育総務課

##### 2) 建物概要

所在地	国坂 680	地区	北条	構造種別	W	階数	地上2	延床面積	2181㎡
竣工年	1981/2012	経過年数	8年	想定利用期限(50年利用想定)	2062年	残利用年数	42年	耐震補強	—

##### 3) エネルギー性能





4) 利用状況

5年間平均利用者数	57,004人
利用状況	北条町のこども園で最も床面積が大きく、こども園全体の40%強の床面積であり、児童数も35%強の171名が通っている。 空調は暖電気蓄熱式暖房機を使用しており、冬季の電気使用量が多い。
客観的な分析結果	電気蓄熱式暖房機はエネルギー効率が低く電気使用量は大きいので、エアコンの使用に切り替えることを推奨する。 建物は築年数も新しく、また北条エリアの拠点としても重要な施設になると考えらえるので、2060年を超えても維持することを想定して、将来的に省エネルギー改修を検討しておくことを推奨する。

5) 検討方針と実行年代

検討方針	<p>【共通】…北条こども園・由良こども園・大誠こども園・大谷こども園 今後の児童数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。</p> <p>【北条こども園】 増築部分の建物は築年数も新しく北条地区の施設として長期利用を想定し、定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、適切な時期に省エネルギー改修を行うことを検討する。 旧部分は老朽化が進んでおり、今後の児童数等を考慮した施設のあり方を検討する。</p>	
実行年代	2050年代	維持（長寿命化・省エネ改修）

## (2)由良こども園

番号	23
施設名	由良こども園



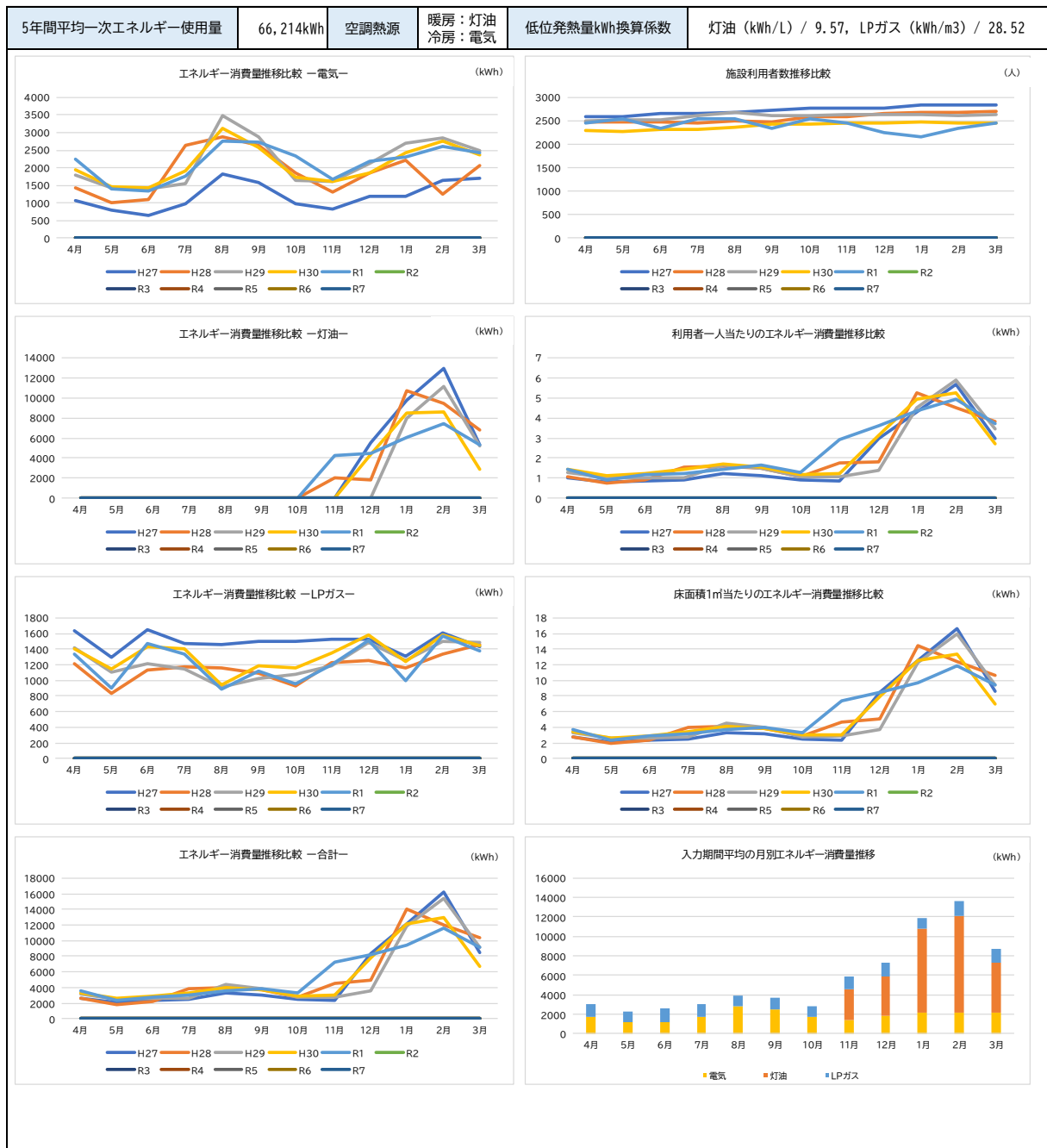
### 1) 施設用途

用途 (大分類)	子育て支援施設
用途 (中分類)	幼保・こども園
所管課	教育総務課

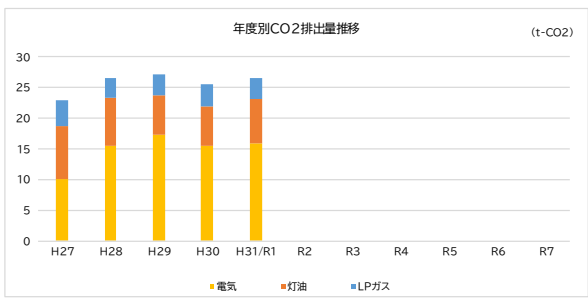
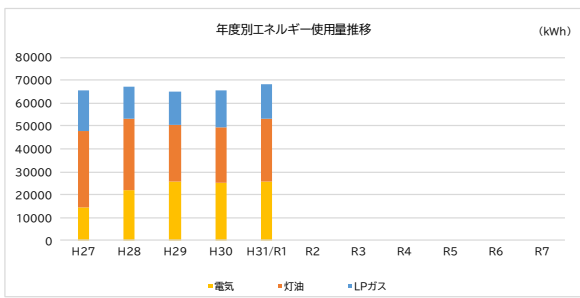
### 2) 建物概要

所在地	由良宿 1802-1	地区	大栄	構造種別	RC	階数	地上2	延床面積	973㎡
竣工年	1986年	経過年数	34年	想定利用期限(50年利用想定)	2036年	残利用年数	16年	耐震補強	—

### 3) エネルギー性能







C02排出係数：電気 (t-CO2/kWh) / H27:0.000697, H28:0.000691, H29:0.000669, H30-R1:0.000618, 灯油 (t-CO2/L) / 0.00249, LPガス (t-CO2/m3) / 0.00654

4) 利用状況

5年間平均利用者数	30,474人
利用状況	H28年度に増築改修を行っている。暖房には灯油式FF暖房機を使用しており、冬季にエネルギー使用量が増加する。児童数はこども園全体の20%の95名が通っている。
客観的な分析結果	大栄エリアの中心にあるこども園であり、H28年度に増築改修を行っていることから長期利用を想定されており2050年代までの利用を推奨するが、省エネルギー化は行われていないため、10~20年の間に省エネルギー改修を行うなど検討が必要。 その際に北栄町全体の園児の減少傾向を見越して大誠こども園、大谷こども園のあり方と共に検討することを推奨する。

5) 検討方針と実行年代

検討方針	【共通】…北条こども園・由良こども園・大誠こども園・大谷こども園 今後の児童数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。	
	【由良こども園】 長期利用を想定して大規模改修を行っており、定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、適切な時期に省エネルギー改修を行うことを検討する。その際には児童数の変化に応じ、他のこども園と関連した施設あり方を検討する。	
実行年代	2040年代	再編検討

### (3)大誠こども園

番号	24
施設名	大誠こども園



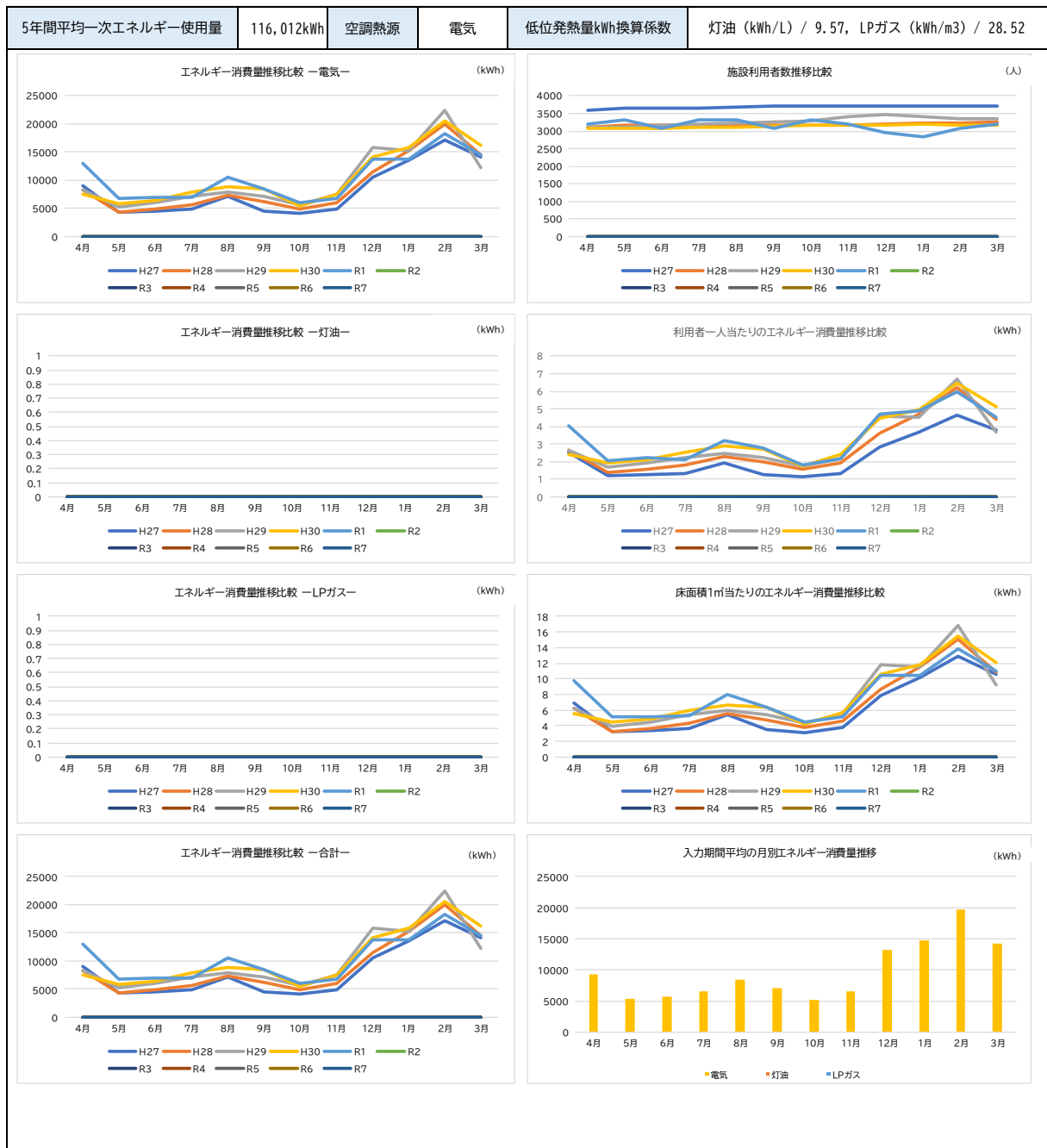
#### 1) 施設用途

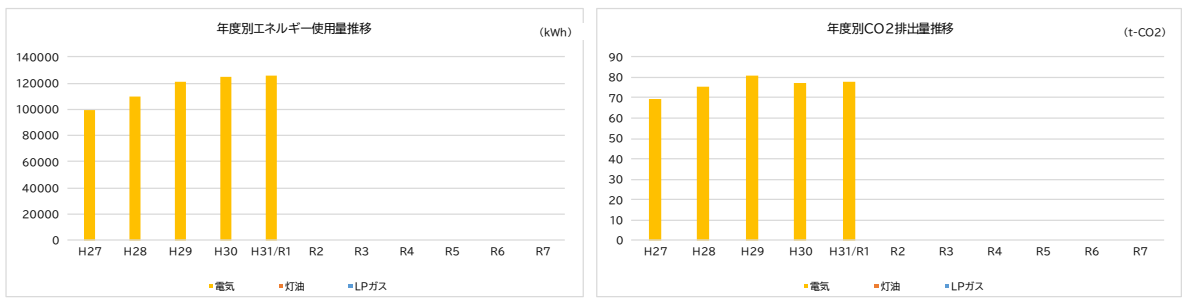
用途 (大分類)	子育て支援施設
用途 (中分類)	幼保・こども園
所管課	教育総務課

#### 2) 建物概要

所在地	瀬戸 38-1	地区	大栄	構造種別	W	階数	地上2	延床面積	1330㎡
竣工年	2004年	経過年数	16年	想定利用期限(50年利用想定)	2054年	残利用年数	34年	耐震補強	—

#### 3) エネルギー性能





C02排出係数：電気 (t-CO2/kWh) / H27:0.000697, H28:0.000691, H29:0.000669, H30-R1:0.000618, 灯油 (t-CO2/L) / 0.00249, LPガス (t-CO2/m3) / 0.00654

4) 利用状況

5年間平均利用者数	39,457人
利用状況	北栄町のこども園で2番目に児童数が多く、112名が通っている。 空調は暖電気蓄熱式暖房機を使用しており、冬季の電気使用量が多い。
客観的な分析結果	電気蓄熱式暖房機はエネルギー効率が低く電気使用量は大きいので、エアコンの使用に切り替えることを推奨する。 こども園の中でも最も新しいこともあり、児童数の変化に合わせて規模の縮小などは行うにしても、2050年辺りまでは活用してゆくことが好ましい。ただし、省エネルギー化は行われていないため、時期を見て断熱改修を行うことを推奨する。

5) 検討方針と実行年代

検討方針	【共通】…北条こども園・由良こども園・大誠こども園・大谷こども園 今後の児童数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。	
	【大誠こども園】 大栄地区のこども園の中で最も新しく長期利用の可能性が高いため、定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、適切な時期に省エネルギー改修を行うことを検討する。その際には児童数の変化に応じ、他のこども園と関連した施設あり方を検討する。	
実行年代	2040年代	再編検討

#### (4)大谷こども園

番号	25
施設名	大谷こども園



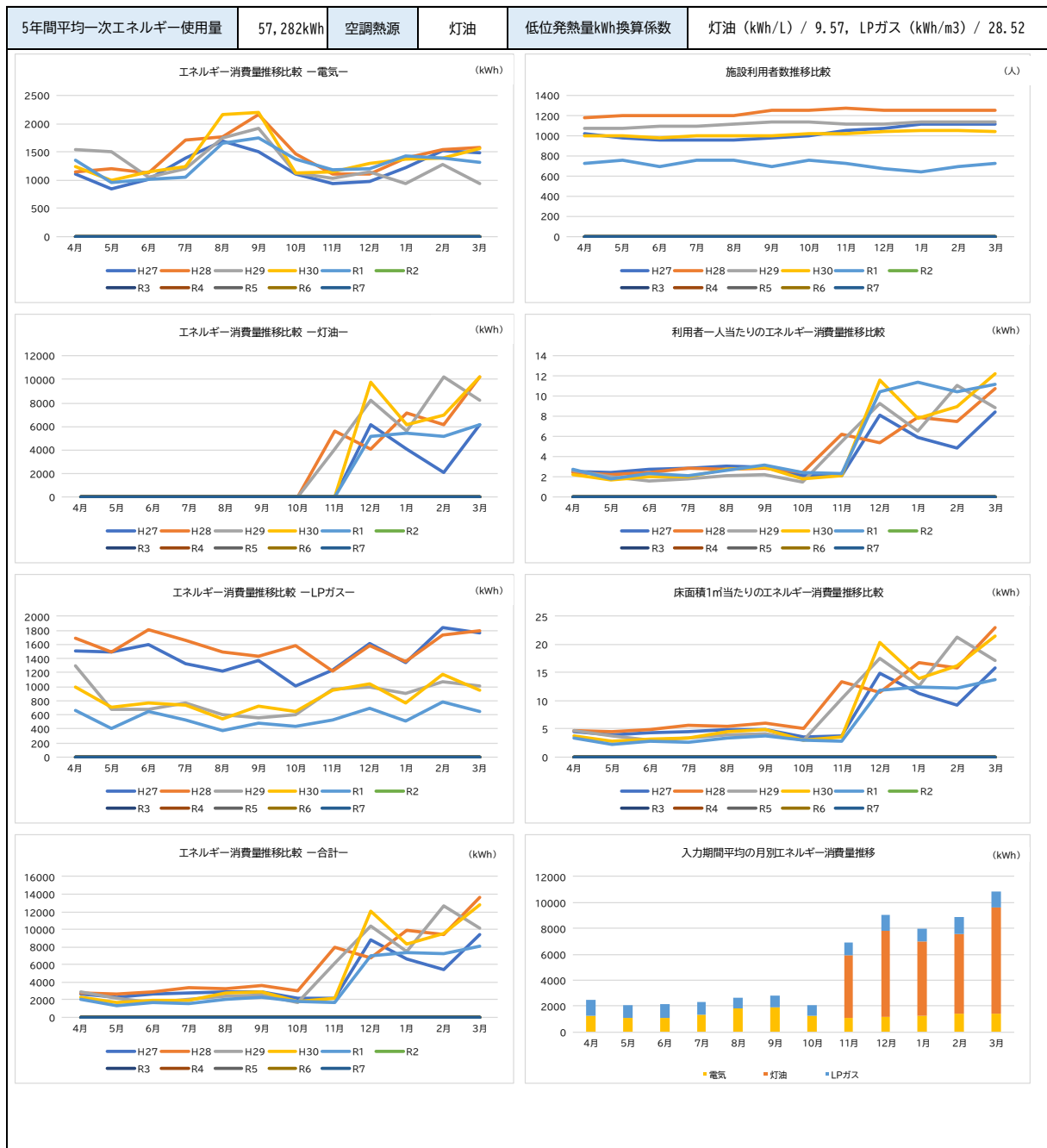
##### 1) 施設用途

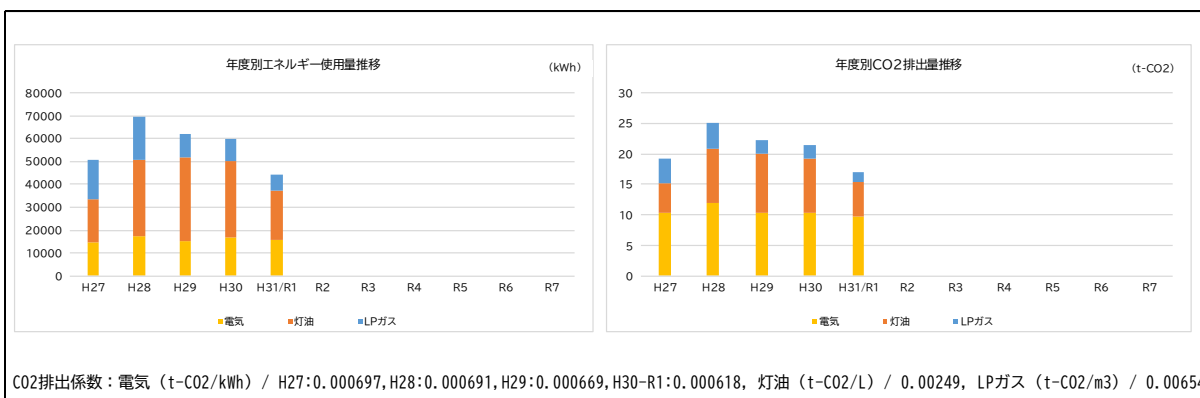
用途 (大分類)	子育て支援施設
用途 (中分類)	幼保・こども園
所管課	教育総務課

##### 2) 建物概要

所在地	大谷 2112-175	地区	大栄	構造種別	RC	階数	地上2	延床面積	592㎡
竣工年	1982年	経過年数	38年	想定利用期限(50年利用想定)	2032年	残利用年数	12年	耐震補強	—

##### 3) エネルギー性能





#### 4) 利用状況

5年間平均利用者数	12,289人
利用状況	暖房には灯油式FF暖房機を使用しており、冬季にエネルギー使用量が増加する。 年度別エネルギー使用量は減少傾向にある。 児童数は最も少なく、R2年度時点で21名。
客観的な分析結果	エネルギー使用量が減少傾向にある原因の一つとして、児童数の減少が影響していると考えられるが空調を行う空間の広さは変わらないので、それだけが原因とは言えない。エネルギー使用量が減っているとはいえ、1人当たりの使用量は他のこども園と比較して2倍近く多く使用している。 建物の老朽化と児童数の減少傾向から、2020年代の閉鎖を検討することを推奨する。

#### 5) 検討方針と実行年代

検討方針	【共通】…北条こども園・由良こども園・大誠こども園・大谷こども園 今後の児童数に見合った形で再編を検討し、比較的状态の良い施設を受け皿とする。	
	【大谷こども園】 建物の老朽化が進んでおり、今後の児童数や関係者の意向等を考慮し他のこども園と関連した施設のあり方を検討する。	
実行年代	2020年代早期	再編検討

## 第6章 保健・福祉施設

### 1 施設の現状と課題



施設分類	建物名	地区	延床面積 (㎡)	竣工年	経過年	耐震 補強	廃止・ 移譲検討	統合・ 複合検討
保健・福祉 施設	北条健康福祉センター	北条	813	1999	21	—		○
	大栄健康増進センター	大栄	1,365	1996	24	—		

保健・福祉施設は地区ごとに設置されており、町民の健康維持・増進活動の拠点として位置づけられる施設です。北条健康福祉センターは、住民票等の証明業務や地域振興、相談等を行い、保健・福祉施設と行政系施設との複合施設として機能しています。

平成に入ってから建設された比較的新しい施設であるものの、利用状況には差が見られることから、今後建て替え等を行っていく際には、利用者数を適切に踏まえた規模とすることなどを検討する必要があります。

また、検診等の事業は集会機能を有している他の施設でも代替可能であることから、他施設との複合化を検討していくことが必要です。

### 2 施設のあり方についての基本方針

保健・福祉施設は、町民の健康維持・増進活動の拠点としての機能を果たすことを目的とします。

ライフサイクルコストの低減をめざし、計画的な修繕等により長寿命化を推進します。施設量は原則として町に1つとします。大栄健康増進センターと北条健康福祉センターの検診機能は、建替時に統合し1箇所とすることも検討します。

### 3 施設概要とエネルギー使用量分析、検討方針

#### (1)北条健康福祉センター

番号	26
施設名	北条健康福祉センター



##### 1) 施設用途

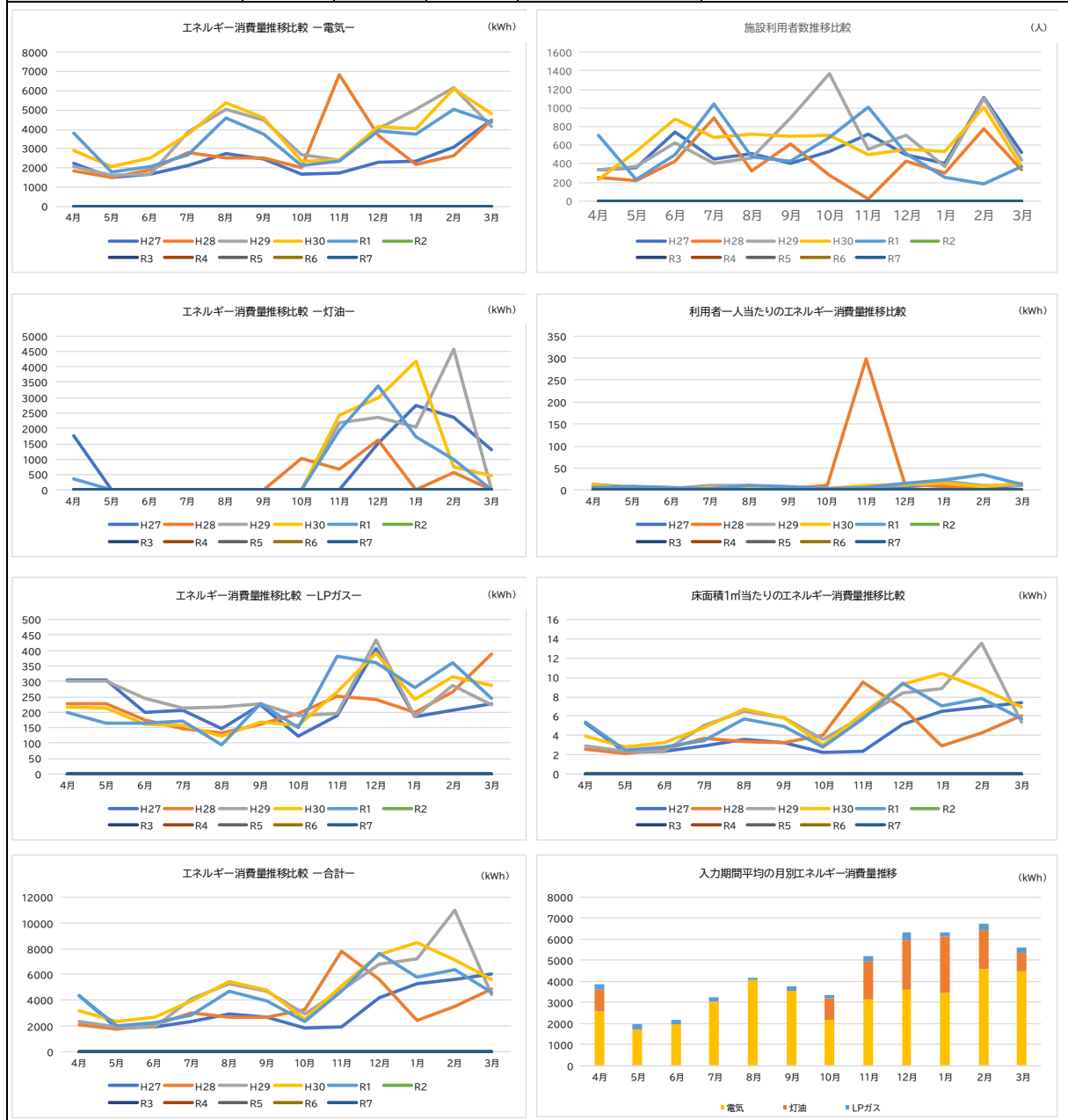
用途 (大分類)	保健・福祉施設
用途 (中分類)	保健施設
所管課	総務課

##### 2) 建物概要

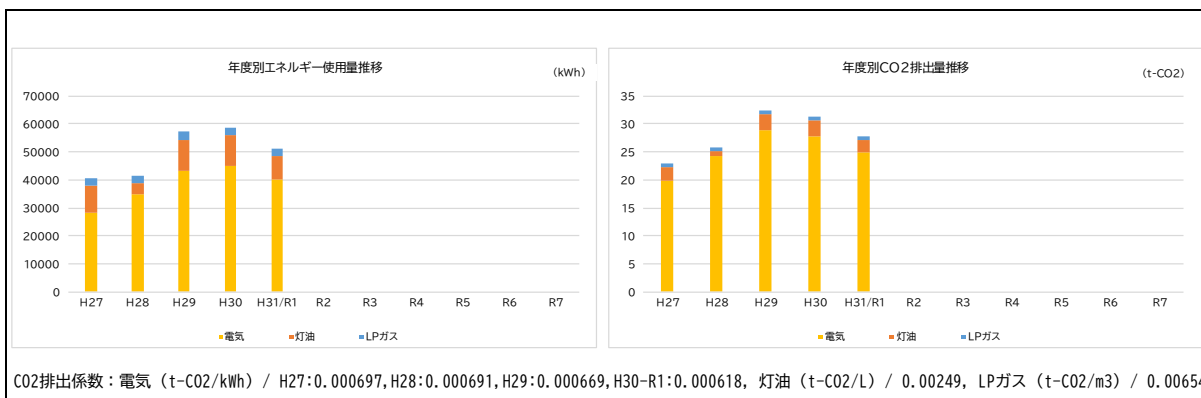
所在地	土下 121-1	地区	北条	構造種別	RC	階数	地上1	延床面積	813㎡
竣工年	1999年	経過年数	21年	想定利用期限(50年利用想定)	2049年	残利用年数	29年	耐震補強	—

##### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	49,913kWh	空調熱源	暖房：電気・灯油 冷房：電気	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m <sup>3</sup> ) / 28.52
-----------------	-----------	------	-------------------	--------------	---







4) 利用状況

5年間平均利用者数	6,575人
利用状況	H29年度から北条支所の機能移転。それにより施設稼働率が上がり各熱源のエネルギー使用量が増えている。特に電気使用量が増えている。また、R1年度に中央ホールにエアコンを追加設置している。 H28年度11月に電気使用量が突出して高く施設利用者数が少ないが、この時期に移転の工事を実施している。 LPガスは主に調理室の調理に利用されている。
客観的な分析結果	R1年度に中央ホールにエアコンを追加設置したことにより、ホールは周囲を部屋で囲われているため、壁からの熱損失は少ないが、無断熱の高天井で排煙窓が周囲についているため天井からの熱損失は多く、暖房効率が低いことが予想されるため、利用状況によるがR2年度より電気使用量が増加する可能性がある。 長期利用を想定するならば、省エネルギー改修についても検討を推奨する。

5) 検討方針と実行年代

検討方針	<p>【共通】…中央公民館・北条農村環境改善センター・北条健康福祉センター・旧北条庁舎 北条エリアの人口に見合った形で、点在する貸会議室機能を集約するなど周囲の公共施設機能の再編を検討し、利用目的に沿った比較的状态の良い施設を受け皿とする。</p> <p>【北条健康福祉センター】 築年数は比較的新しく、統廃合や複合化の受け皿となる可能性がある。長期利用を想定するならば、省エネルギー改修についても検討する。 現在は行政の支所機能を備えているが、周辺は介護や高齢者施設が連続しているエリアの一角にあるため行政機能の中心場所としては立地条件に優れているわけではない。再編検討の際には、より立地条件に恵まれている場所（例えば北条農村環境改善センター）への機能移転、機能移転後の建物を福祉関係事業者や旧北条庁舎にある広域連合で活用する可能性も検討する。</p>	
実行年代	2030年代早期	周辺施設再編検討

## (2)大栄健康増進センター

番号	27
施設名	大栄健康増進センター



### 1) 施設用途

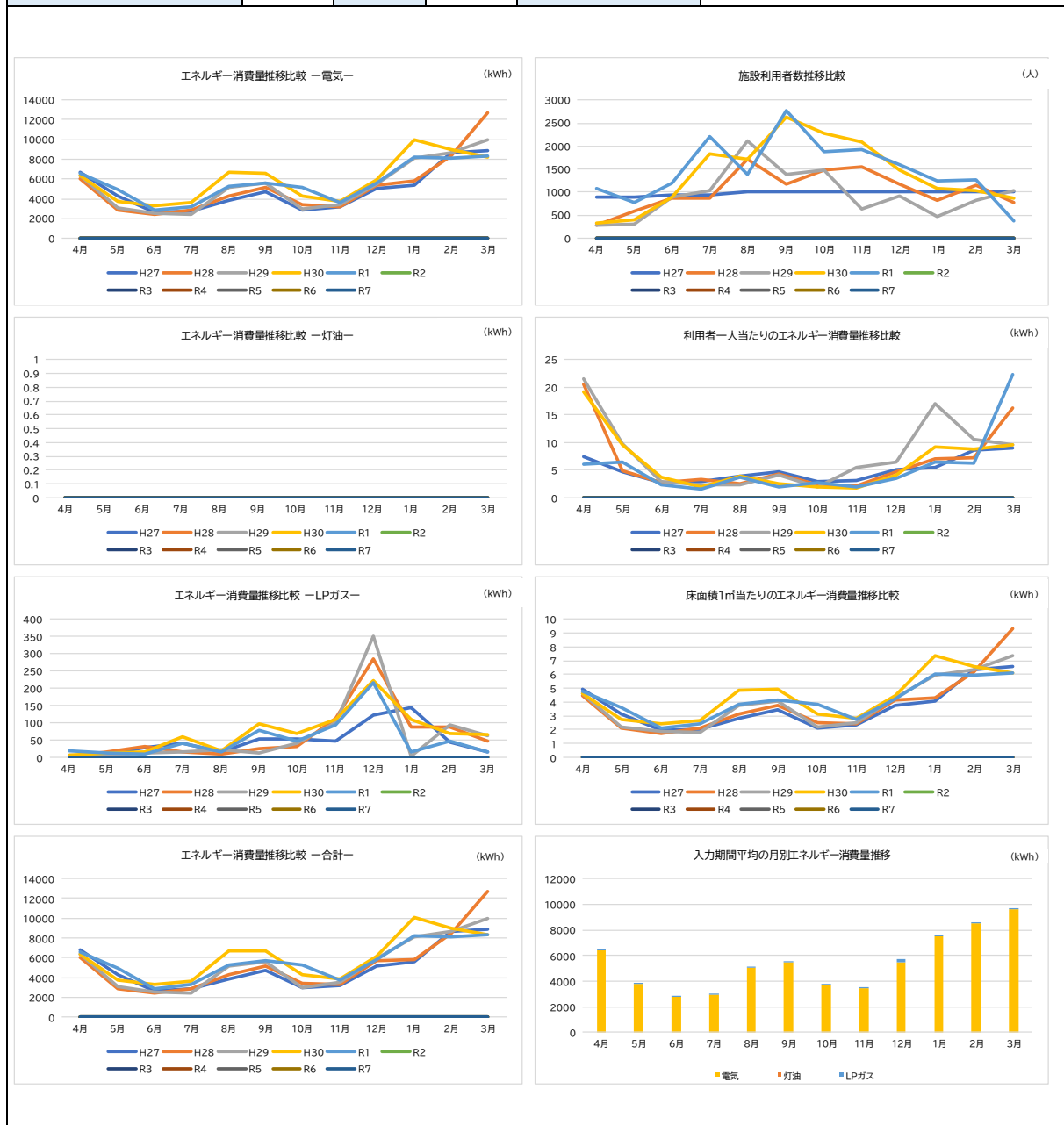
用途 (大分類)	保健・福祉施設
用途 (中分類)	保健施設
所管課	健康推進課

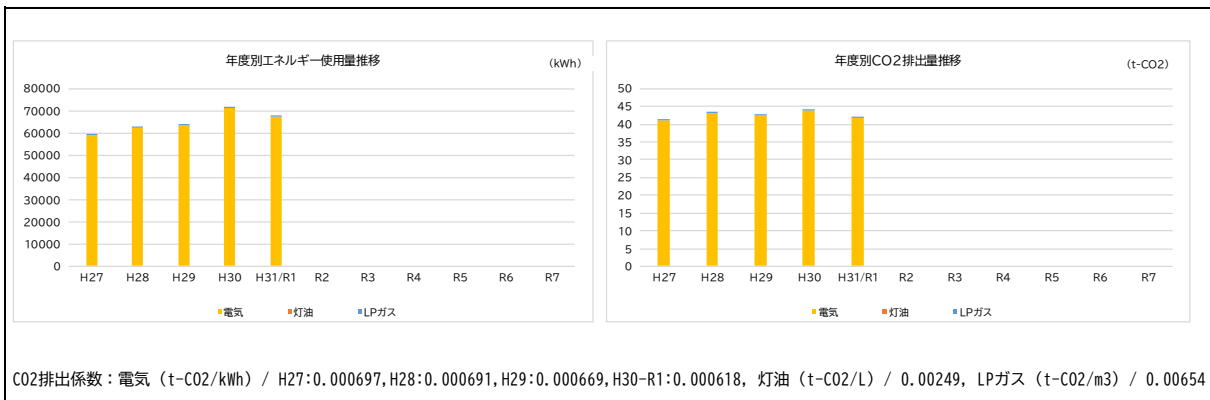
### 2) 建物概要

所在地	瀬戸 22-1	地区	大栄	構造種別	SRC	階数	地上2	延床面積	1365㎡
竣工年	1996年	経過年数	24年	想定利用期限(50年利用想定)	2046年	残利用年数	26年	耐震補強	—

### 3) エネルギー性能

5年間平均一次エネルギー使用量	65,393kWh	空調熱源	電気	低位発熱量kWh換算係数	灯油 (kWh/L) / 9.57, LPガス (kWh/m <sup>3</sup> ) / 28.52
-----------------	-----------	------	----	--------------	---





#### 4) 利用状況

5年間平均利用者数	13,970人
利用状況	施設稼働率が年間を通じて非常に低く、検診の時以外の利用はほとんどない。 トレーニングルームを子育て支援センターとして利用。 冬季は施設利用者が少ない反面、暖房を使用するためエネルギー使用量が多く、一人当たりのエネルギー使用量が夏季の3~8倍になる。
客観的な分析結果	施設利用者数と稼働率に対して施設規模が大きすぎる。建物の状態は比較的良いので、可能であれば北栄町社会福祉協議会本所/社会福祉センターについて改修が必要となる等のタイミングでこちらに移転していただく等して、活用の方策を探ることを推奨する。 子育て支援センターとしての利用はよいが、あまりにも高い天井高さのため無駄に空調エネルギーを使ってしまっているため、すぐに検診棟の利用目的が見つからないのであれば、そちらを利用することを検討してもよいと考える。

#### 5) 検討方針と実行年代

検討方針	築年数は比較的新しく、定期点検と補修を継続して深刻な劣化を生じないように使用し、周辺施設と関連した活用と適切な時期に床暖房設備の省エネルギー改修を行うことを検討する。	
実行年代	2030年代	維持（長寿命化・省エネ改修含む）

## 第7章 行政系施設

### 1 施設の現状と課題



施設分類	建物名	地区	延床面積 (㎡)	竣工年	経過年	耐震補強	廃止・ 移譲検討
行政系施設	大栄庁舎	大栄	3,937	1981	39	H22 実施	
	旧北条庁舎	北条	2,099	1977	43	H30 実施	○

行政系施設は、北条・大栄の庁舎で、住民サービスを提供する拠点として設置されています。

ともに昭和 50 年代に建設されており、老朽化が目立ちます。なお、旧北条庁舎内の各課は大栄庁舎へ集約し、住民票等の証明業務や地域振興、相談等は、近隣の北条健康福祉センターで行っています。

### 2 施設のあり方についての基本方針

行政系施設は、住民サービスの提供拠点としての機能を果たすことを目的とします。

ライフサイクルコストの低減をめざし、計画的な修繕等により長寿命化を推進します。

施設量は原則として現状を維持します。但し、旧北条庁舎については、老朽化が進んでおり耐震化対策を行っていますが、今後追加の大規模修繕が必要となった時点で廃止とします。

### 3 施設概要とエネルギー使用量分析、検討方針

#### (1)大栄庁舎

番号	28
施設名	大栄庁舎



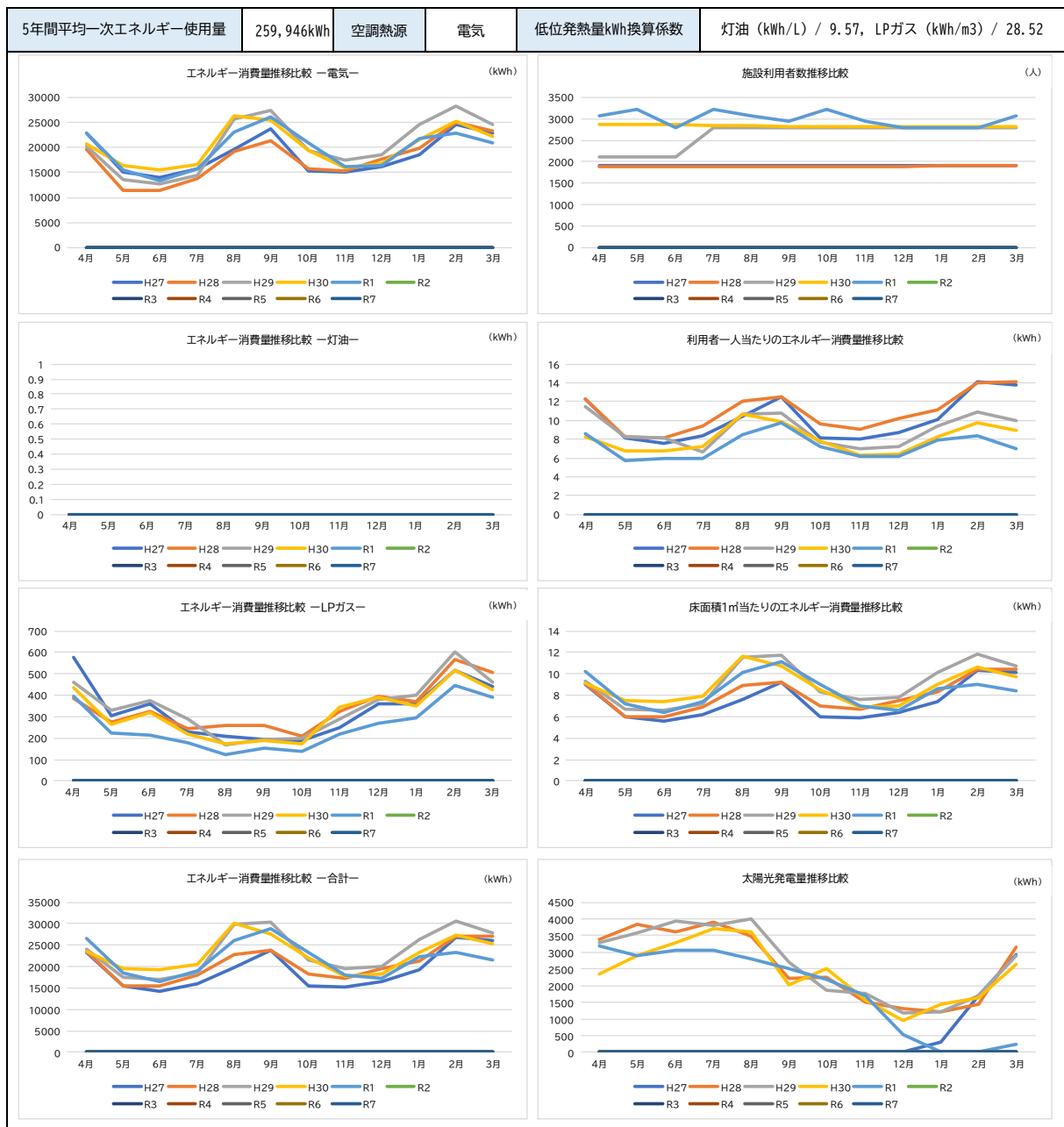
##### 1) 施設用途

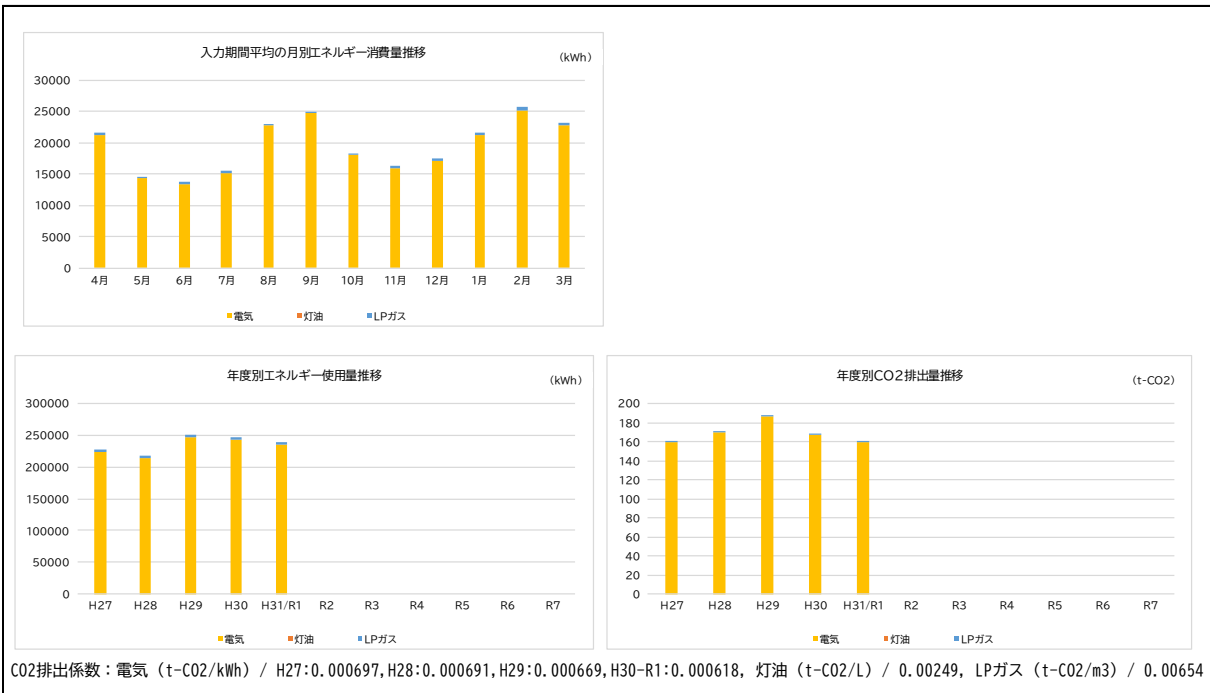
用途 (大分類)	行政系施設
用途 (中分類)	庁舎等
所管課	総務課

##### 2) 建物概要

所在地	由良宿 423-1	地区	大栄	構造種別	RC	階数	地上3	延床面積	2586㎡
竣工年	1981年	経過年数	39年	想定利用期限(50年利用想定)	2031年	残利用年数	11年	耐震補強	2010/H22

##### 3) エネルギー性能





4) 利用状況

5年間平均利用者数	29,428人
利用状況	H29年度庁舎統合。職員の人数が約1.5倍に増えたことにより、夏季の冷房による増加と思われる電気使用量の増加がみられる。夏季も冬季と同程度の電気使用量がある。最も電気使用量が高い8月と最も少ない6月を比較すると2倍近くの差があり、その増加分のほとんどが冷房に使われている可能性が高い。太陽光パネルを設置しており、自家消費を含む実際の電気使用量のH28～R1年度の平均で約11%を太陽光発電で賄っている。
客観的な分析結果	冬季と同じかそれ以上に電気使用量があり、推測ではあるが、職員の増加により執務室の内部発生熱が大幅に増えたことで、冷房負荷が増えて暖房負荷は減ったことが考えられる。一般的に冬季の暖房エネルギーを減らすことを1番の目的として断熱改修を行うことが多いが、大栄庁舎では冷房エネルギーを減らすことも同等に重要な目的となるといえる。

5) 建物状況

主な劣化状況	南側外壁/補修コーティングの劣化	西側階段室/著しいカビの繁殖
診断結果	南側外壁のタイル剥落防止で施工された樹脂コーティングが劣化して剥がれてきている。その隙間から雨水が壁体内に浸透し窓周りでの雨漏りやタイルの剥離に影響している。天井高さが高く、また外壁、開口部などの断熱性能が低いことで冷暖房の効きが悪く多くのエネルギーが必要となってしまう。	

6) 検討方針と実行年代

検討方針	<p>【共通】…大栄庁舎・大栄農村環境改善センター 両施設の大規模改修に併せて、ホール・会議室の配置や町民向けの貸館機能の再編を検討した上で、省エネルギー改修を実施する。再編は、近隣施設である中央公民館大栄分館とも関連させて検討する。</p> <p>【大栄庁舎】 外壁の劣化が進み、開口部も含めた断熱性能が低いため、早期の大規模改修実施を検討する。特に南側外壁のタイルが劣化しており、剥落防止のコーティングはこれまでと同様の対策を行っても数年ごとにやり直しが必要となるため抜本的な改修が求められる。省エネルギー改修として外壁改修時に外張断熱システムを取り入れ、また窓の断熱効果を向上させる日射遮蔽措置を検討する。 衛生面の問題として西側階段室の扉は常時閉じた状態とした上で、冬季も換気を常に行いカビの発生を防ぐこととする。</p>	
	実行年代	2020年代

7) 省エネルギー改修の例

施設名	大栄庁舎		年間CO2排出量	144.5t-CO2																				
省エネ改修の内容	屋根断熱+（西面以外の外窓+窓間ブラインド）+ 南面外壁断熱設置																							
改修費	総費用	うち補助金	町費																					
	74,413,900円	0円	74,413,900円																					
エネルギー削減効果（年間）	エネルギー種別・量		光熱費	CO2																				
	電気	-37,138kWh	-934,675円	-23.0t-CO2																				
投資費用回収	投資費用回収年数	費用回収年	改修完了年月																					
	80年	2100年	年 月																					
その他	<p>町の庁舎として長期間利用する必要がある。現在は問題が生じてから修繕を行っているが、劣化を予防して修繕を減らすことを検討する。</p> <p>省エネ改修については、試算上、投資回収が困難であるが、省エネ改修を行うことで、建物の劣化を抑え、修繕回数を減らすことにつながる。また、空調設備等を更新する際に、省エネ改修により削減した熱負荷によって空調設備等のサイズダウンをさせることが出来、設備コストの削減につながる。</p> <table border="1" data-bbox="593 1346 1374 1570"> <thead> <tr> <th>省エネルギー改修案</th> <th>改修コスト (千円)</th> <th>CO2 削減効果 (t/年)</th> <th>光熱費の 削減効果 (円/年)</th> <th>投資回収 年数 (年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋根断熱+南面改修（外壁+外窓+窓間ブラインド）</td> <td>49,173</td> <td>-16.0</td> <td>-650,338</td> <td>75.6</td> </tr> <tr> <td>上記+北・東面改修（外窓+窓間ブラインド）</td> <td>74,414</td> <td>-23.0</td> <td>-934,675</td> <td>79.6</td> </tr> <tr> <td>上記+外壁断熱+西側改修（外窓+窓間ブラインド）</td> <td>120,475</td> <td>-33.7</td> <td>-1,372,371</td> <td>87.8</td> </tr> </tbody> </table>				省エネルギー改修案	改修コスト (千円)	CO2 削減効果 (t/年)	光熱費の 削減効果 (円/年)	投資回収 年数 (年)	屋根断熱+南面改修（外壁+外窓+窓間ブラインド）	49,173	-16.0	-650,338	75.6	上記+北・東面改修（外窓+窓間ブラインド）	74,414	-23.0	-934,675	79.6	上記+外壁断熱+西側改修（外窓+窓間ブラインド）	120,475	-33.7	-1,372,371	87.8
省エネルギー改修案	改修コスト (千円)	CO2 削減効果 (t/年)	光熱費の 削減効果 (円/年)	投資回収 年数 (年)																				
屋根断熱+南面改修（外壁+外窓+窓間ブラインド）	49,173	-16.0	-650,338	75.6																				
上記+北・東面改修（外窓+窓間ブラインド）	74,414	-23.0	-934,675	79.6																				
上記+外壁断熱+西側改修（外窓+窓間ブラインド）	120,475	-33.7	-1,372,371	87.8																				



## (2)旧北条庁舎

番号	29
施設名	旧北条庁舎



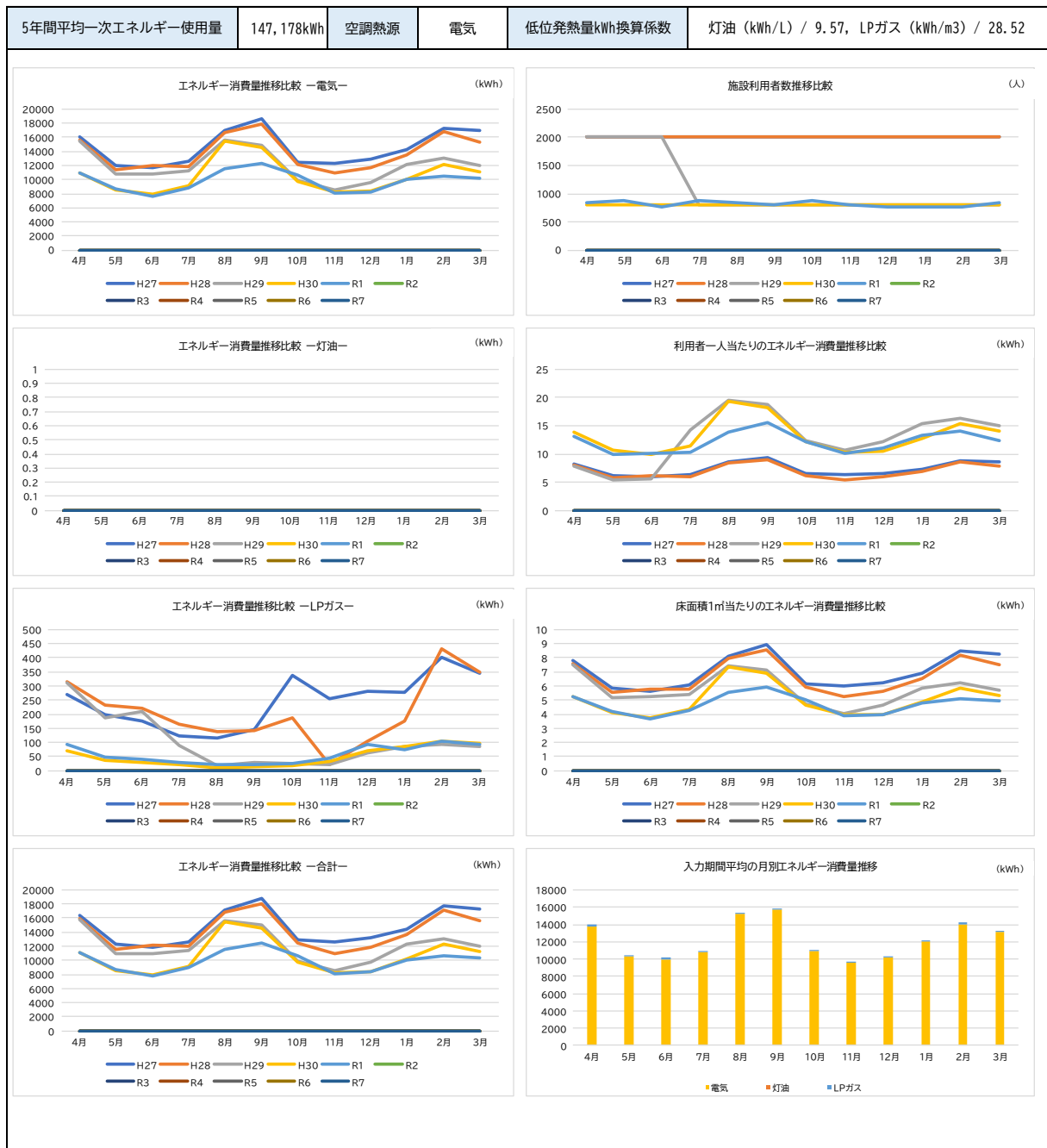
### 1) 施設用途

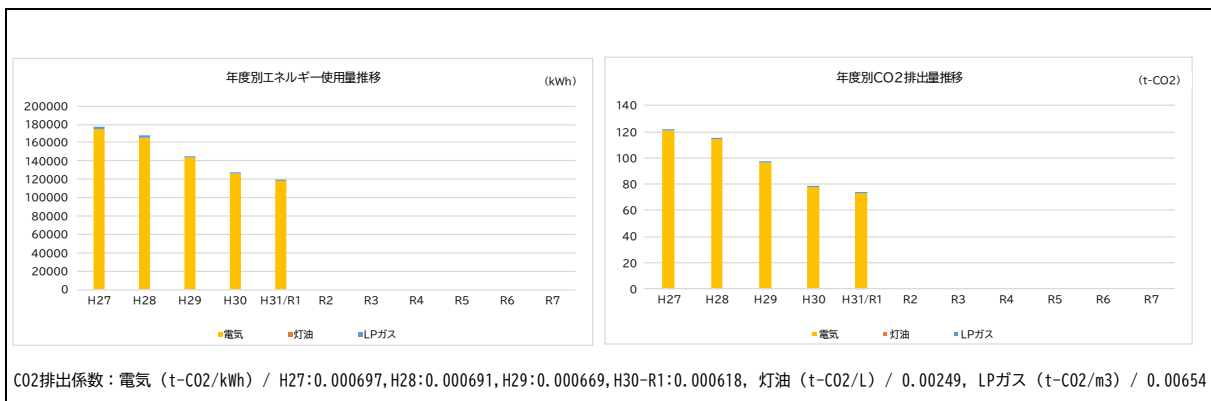
用途 (大分類)	行政系施設
用途 (中分類)	庁舎等
所管課	総務課

### 2) 建物概要

所在地	土下 112	地区	北条	構造種別	RC	階数	地上3	延床面積	2099㎡
竣工年	1977年	経過年数	43年	想定利用期限(50年利用想定)	2027年	残利用年数	7年	耐震補強	2018/H30

### 3) エネルギー性能





4) 利用状況

5年間平均利用者数	16,113人
利用状況	H29年度庁舎統合。H30年度に耐震補強工事を行い、現在、1階を防災倉庫、インターネット制御室、文化財倉庫、2・3階を鳥取中部ふるさと広域連合が利用している。エネルギー使用量は施設利用者数の大幅な減少もあり、年々削減されている。
客観的な分析結果	老朽化も進んでおり、省エネルギー化もされていないため空調のための電気使用量が非常に大きい施設となっている。人が常駐しているのは2階だけであり、床面積でみた利用率は非常に低い。施設利用状況からみて、この施設を省エネルギー化することは費用対効果も期待できないと考えられるので、機能移転して建物は閉鎖することを推奨する。

5) 建物状況

主な劣化状況	
外部柱/クラック	
階段室/階段周囲の壁にクラック	
診断結果	耐震補強が行われているが、それでも長期利用を想定すると更なる補強を継続的に行う必要が考えられ、省エネルギー改修を行うにも課題が多い。

6) 検討方針と実行年代

検討方針	【共通】…中央公民館・北条農村環境改善センター・北条健康福祉センター・旧北条庁舎 北条エリアの人口に見合った形で、点在する貸会議室機能を集約するなど周囲の公共施設機能の再編を検討し、利用目的に沿った比較的状态の良い施設を受け皿とする。
実行年代	2030年代早期
	周辺施設再編検討

## 第8章 その他施設

### 1 施設の現状と課題

建物名	地区	延床面積(m <sup>2</sup> )	竣工年	経過年	耐震補強	廃止・移譲検討	統合検討
北条海浜広場 (管理棟、バンガロー等)	北条	622	1993	27	—		
レークサイド大栄(管理棟、休憩棟)	大栄	392	2000	20	—		
お台場公園 (管理棟等、テニスコートトイレ)	大栄	566	1990	30	—		
天神いこいの広場(トイレ)	北条	49	1991	29	—		
蜘蛛ヶ家山山菜の里	北条	159	1994	26	—	○	
北条野球場(本部棟)	北条	143	1987	33	—		○
大栄野球場(本部棟)	大栄	361	1994	26	—		
お台場公園サービスエリア	大栄	406	1992	28	—		
北条砂丘公園センター	北条	949	1989	31	—		
大野共同作業場	北条	268	1976	44	—	○	
国坂ぶどう団地資材保管庫	北条	1,033	1983	37	—	○	
フルーツドーム	北条	720	1992	28	—	○	
後口谷畜産団地	大栄	4,092	1979	41	—	○	
東亀谷共同作業所	大栄	271	1977	43	—	○	
東亀谷野菜集荷所	大栄	332	1978	42	—	○	
北条高齢者保健センター	北条	69	2000	20	—	○	
由良消防ポンプ車庫	大栄	72	1991	29	—		
瀬戸消防ポンプ車庫	大栄	49	1979	41	—		
亀谷消防ポンプ車庫	大栄	70	1990	30	—		
北条庁舎車庫東消防ポンプ車庫	北条	127	1991	29	—		
水防倉庫(北条)	北条	35	1985	35	—		
水防倉庫(大島)	大栄	29	1978	42	—		
水防倉庫(すくも塚)	大栄	58	1962	58	—		
由良駅前広場(トイレ)	大栄	36	1998	22	—		
免許試験場跡地(トイレ)	大栄	48	2009	11	—		
町営住宅(六尾北団地) ※譲渡予定	大栄	3,540	1993	27	—	○	
由良宿団地	大栄	4,715	2019	1	—		
お試し住宅	大栄	391	1985	35	—	○	
旧中央保育所	北条	848	1980	40	—	○	
旧東保育所	北条	440	1984	36	—	○	
大野児童館	北条	187	1980	40	—	○	
山西地区会館	北条	70	1981	39	—	○	
旧大栄学校給食センター	大栄	284	1970	50	—	○	

築 30 年以上経過している施設が多いことから老朽化が懸念され、統廃合や移譲等を検討していく必要があります。

## 2 施設のあり方についての基本方針

今後の人口動態や町民ニーズ、財政状況や防災計画等を考慮してライフサイクルコストの低減をめざし、計画的な修繕、更新、機能の集約、廃止、複合化等の検討を行います。

# 「公共施設」に関する町民アンケート 集計結果

回収率 448（回答数）／1,145（送付総数） 39.1%

## 1 目的

「公共施設」の必要性や、今後、どのように維持していくかなどについて、広く町民のみなさんのご意見を伺う。

## 2 実施方法

### （1）町民アンケート

●アンケート実施人数：1,145人

年代	生年月日	全町			大栄地区		北条地区	
		合計	男	女	男	女	男	女
70代以上	～S25.3.31	89	43	46	22	24	21	22
60代	S25.4.1～S35.3.31	98	48	50	24	25	24	25
50代	S35.4.1～S45.3.31	97	47	50	24	25	23	25
40代	S45.4.1～S55.3.31	188	95	93	47	47	48	46
30代	S55.4.1～H2.3.31	283	139	144	68	71	71	73
18歳～20代	H2.4.1～H14.3.31	390	196	194	98	97	98	97
合計		1,145	568	577	283	289	285	288

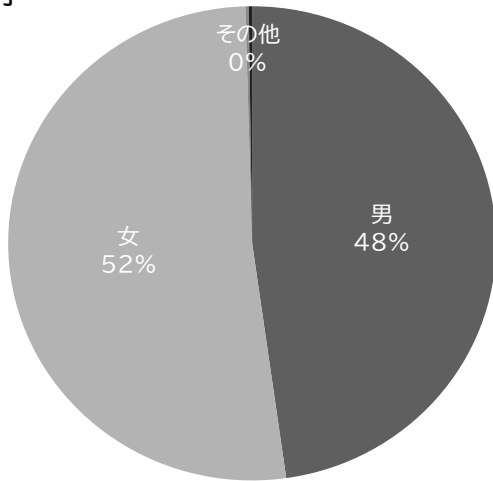
- ・若い世代の回収率が低いと思われるため、重点的に配分
- ・地区は大栄・北条で抽出。自治会別は抽出しない。

### ●配布方法及び時期

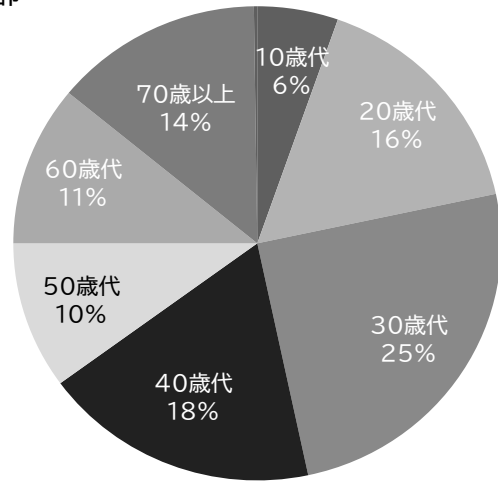
令和2年9月14日（月）発送、9月25日（金）〆切り（約10日）

# アンケート結果

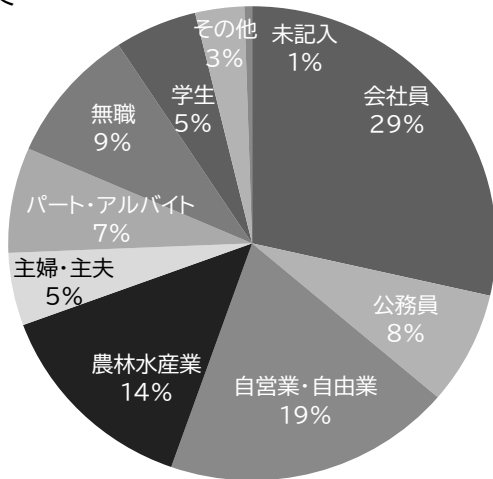
性別



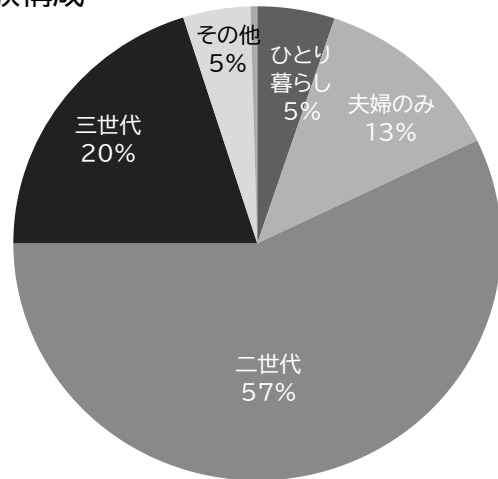
年齢



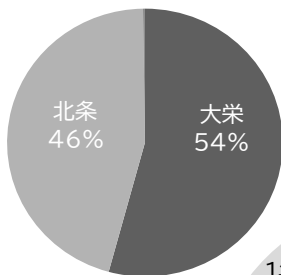
職業



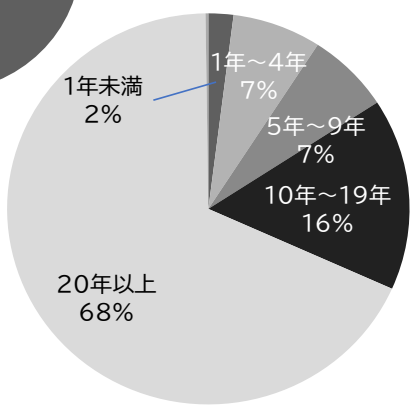
家族構成



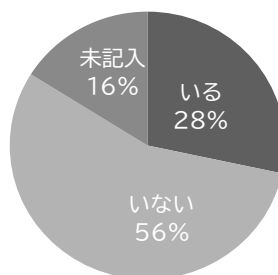
居住地区



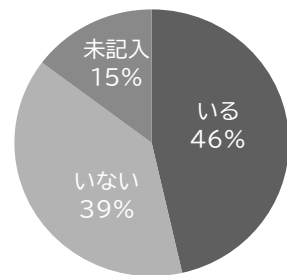
居住年数



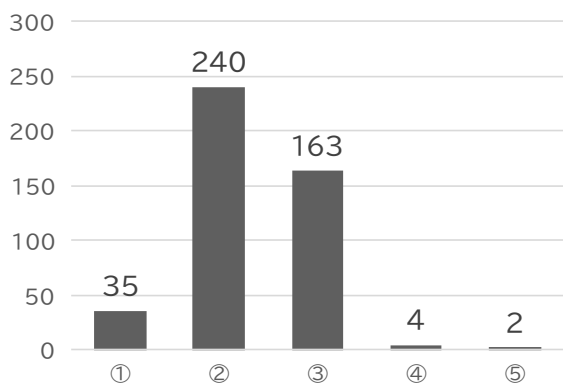
中学生未満がいる



65歳以上がいる



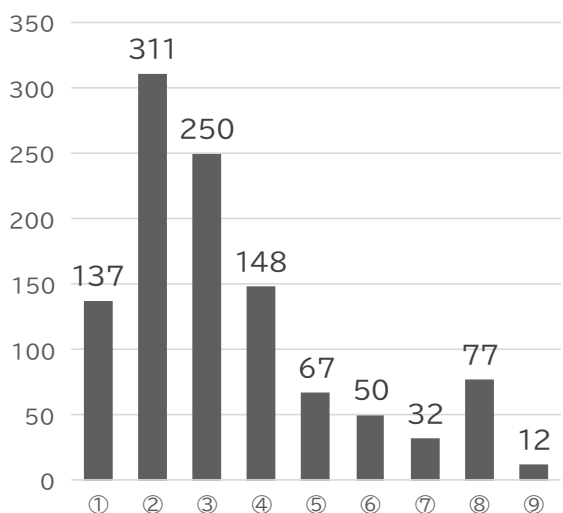
今後の公共施設の整備について、どのように進めていくべきだと思いますか？



- |                                     |
|-------------------------------------|
| ①今ある公共施設は必要なため、費用がかかっても現状を維持する。     |
| ②公共施設の必要性を見直し、人口や税収に見合った質や量に変えていく。  |
| ③必要性の低い公共施設については、積極的に統廃合や複合化を進めていく。 |
| ④その他                                |
| ⑤未記入                                |

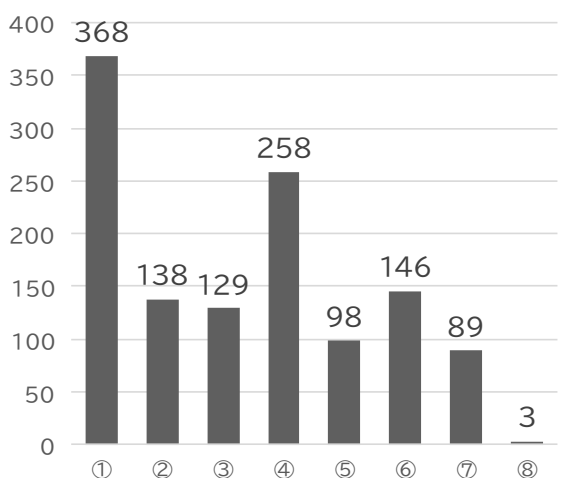
※4人が複数回答

今後、公共施設を維持していくため、どのような取組みを積極的に行うべきだと思いますか？（3つまで）



- |                                       |
|---------------------------------------|
| ①施設を補強して、しばらくの間、建て替えをしないようにする。        |
| ②施設を複合化し、一つの施設に複数の機能を持たせることで施設の数減らす。  |
| ③同じような機能の施設は、廃止や統合を行って、施設の数減らす。       |
| ④近隣の市町村と共同で施設を整備・管理運営し、共同で施設を利用する。    |
| ⑤地域に密着する施設の管理運営を地域住民に任せる              |
| ⑥施設のサービス水準を下げ、維持管理に必要な費用を減らす。         |
| ⑦今ある施設を今までどおり維持するために、必要な費用を町民全体で負担する。 |
| ⑧施設の使用料等を引き上げ、不足する費用を施設の利用者が負担する。     |
| ⑨その他                                  |

将来的に公共施設を見直すとしたら、どのような施設を優先して見直すべきだと思いますか？



- |                      |
|----------------------|
| ①あまり利用されていない施設       |
| ②主に一部の個人・団体が使っている施設  |
| ③公共性が低く、民間でも運営ができる施設 |
| ④老朽化が著しい施設           |
| ⑤維持管理費用が高い施設         |
| ⑥同じ様なサービスの施設が近隣にある施設 |
| ⑦交通アクセスが悪い場所にある施設    |
| ⑧その他                 |



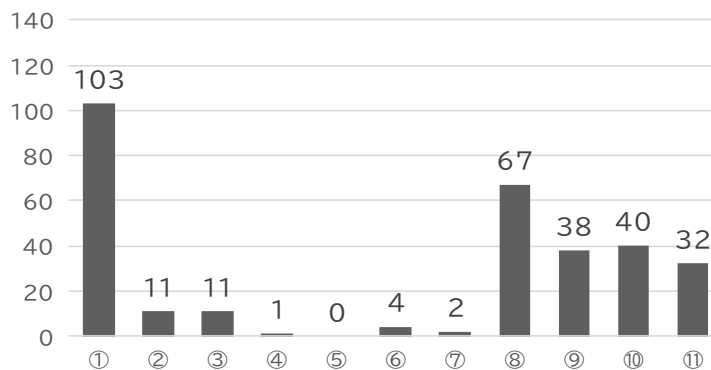
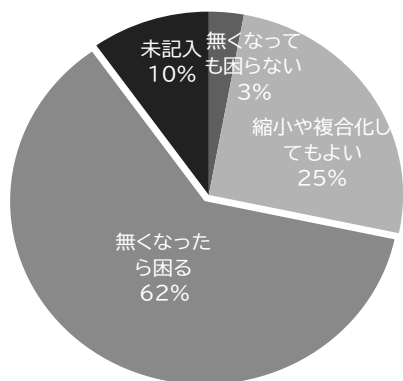
次のそれぞれの施設の「将来的なあり方」について、あなたはどう考えますか？

無くなったら困る理由凡例

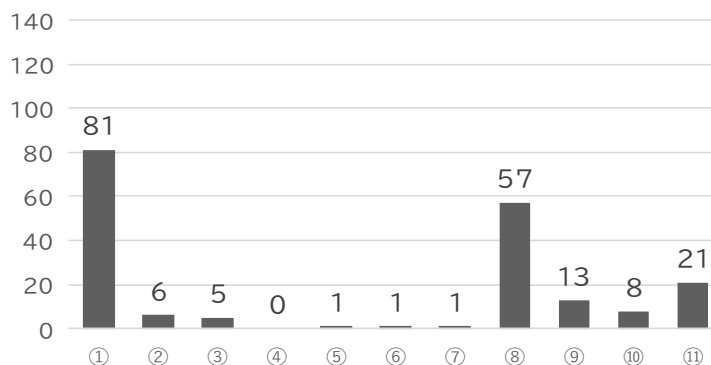
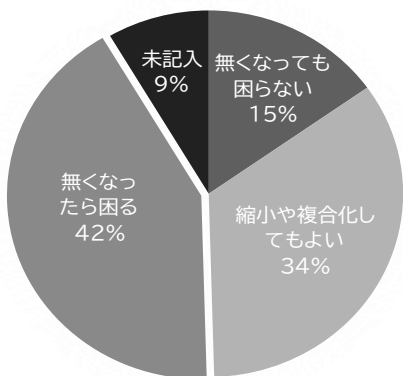
①交通アクセスがよい	②サービスがよい	③よい設備がある	④ここにしかない講座等がある
⑤料金が安い	⑥利用時間がよい	⑦部屋の広さがちょうどいい	⑧類似施設が近くにない
⑨慣れ親しんでいる	⑩建物そのものがシンボル	⑪その他	

(複数回答可)

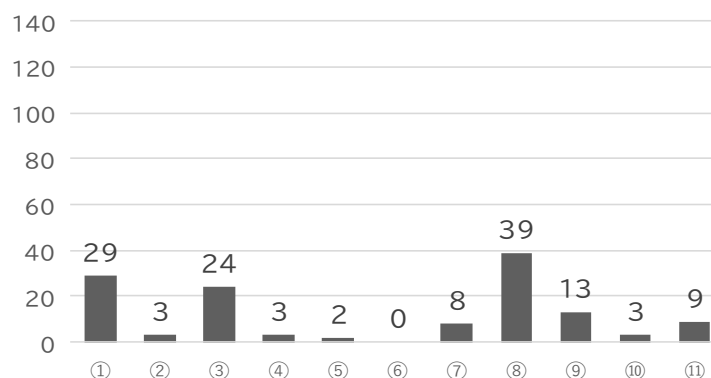
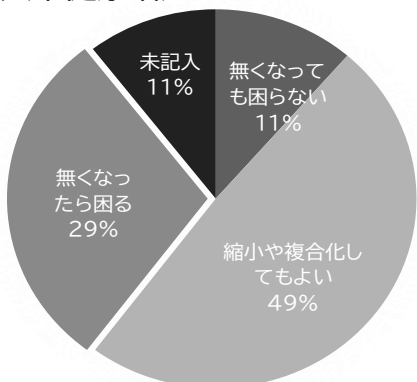
### 役場大栄庁舎



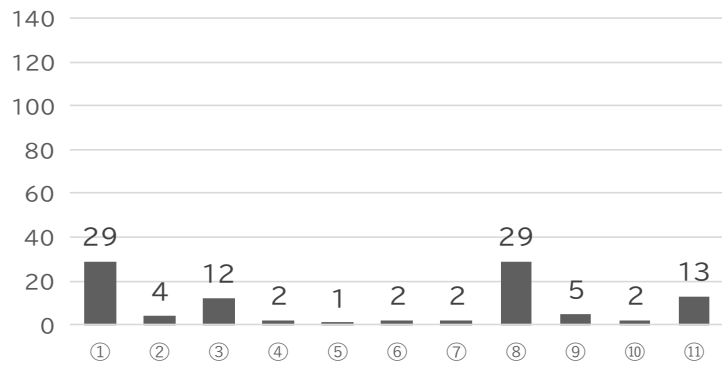
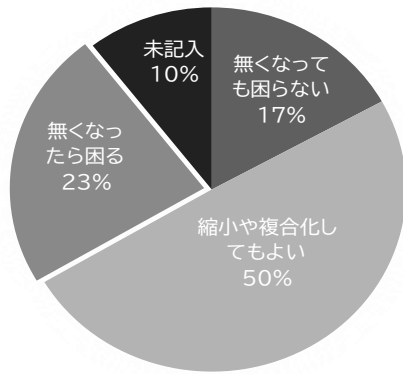
### 北条支所



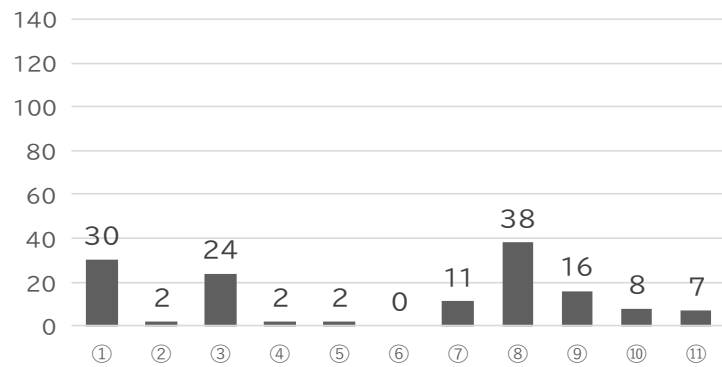
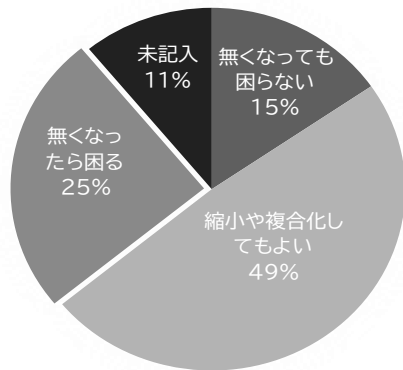
### 大栄健康増進センター



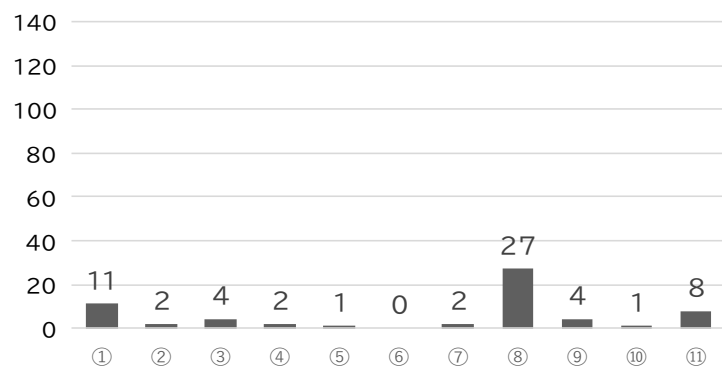
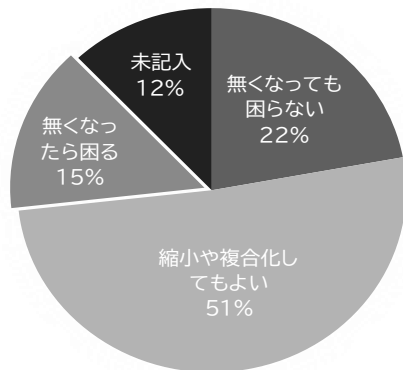
### 北条健康福祉センター



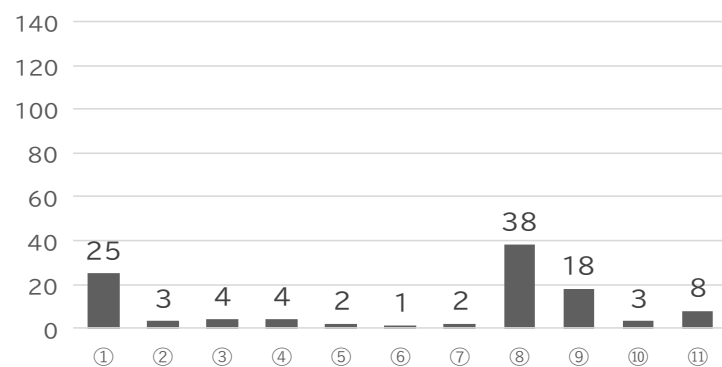
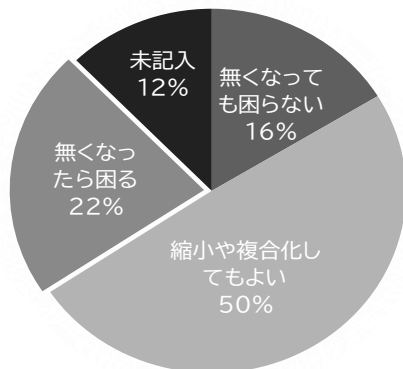
### 大栄農村環境改善センター



### 北条農村環境改善センター



### 中央公民館（北条）



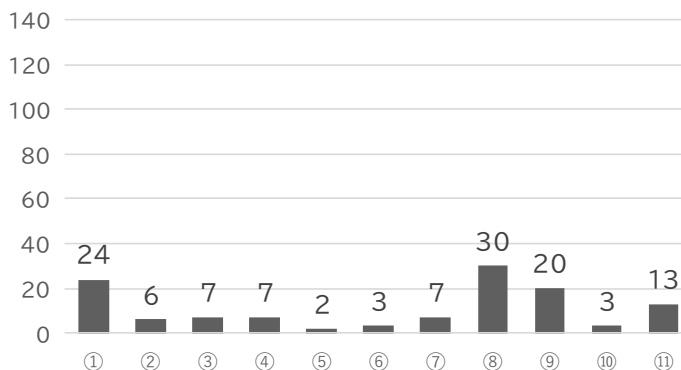
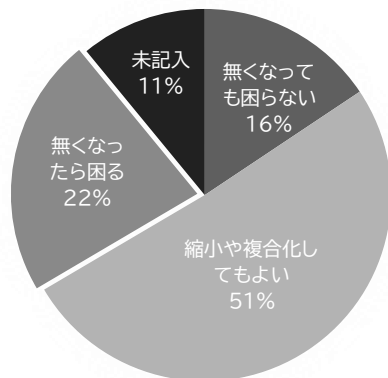
次のそれぞれの施設の「将来的なあり方」について、あなたはどのように考えますか？

無くなったら困る理由凡例

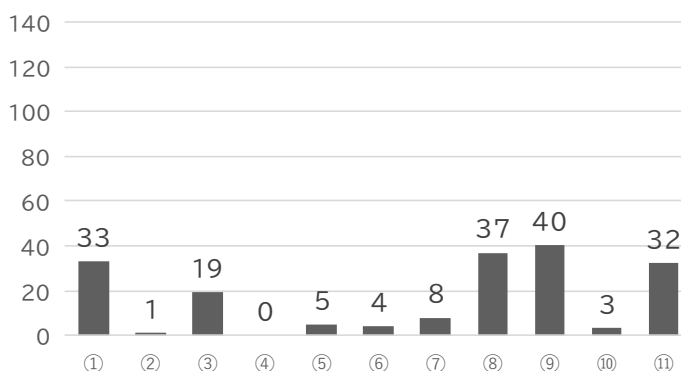
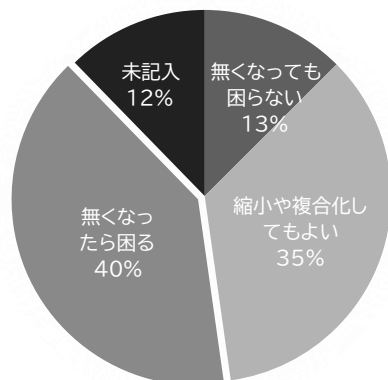
①交通アクセスがよい	②サービスがよい	③よい設備がある	④ここにしかない講座等がある
⑤料金が安い	⑥利用時間がよい	⑦部屋の広さがちょうどいい	⑧類似施設が近くにない
⑨慣れ親しんでいる	⑩建物そのものがシンボル	⑪その他	

(複数回答可)

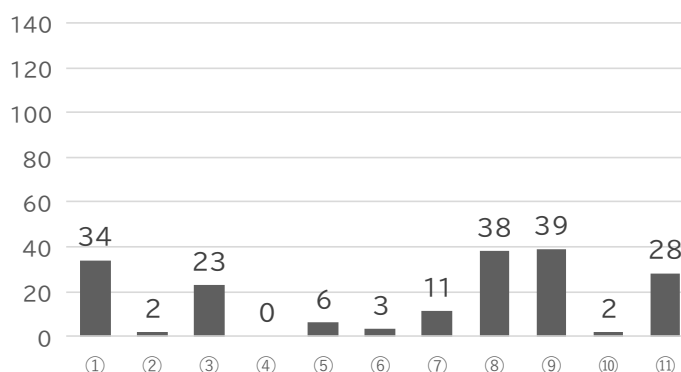
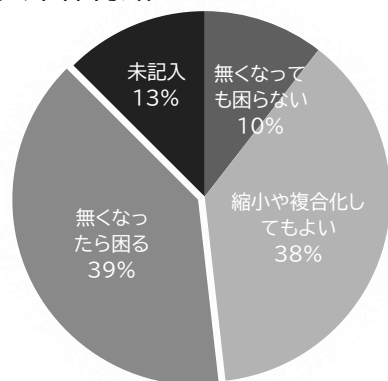
中央公民館大栄分館



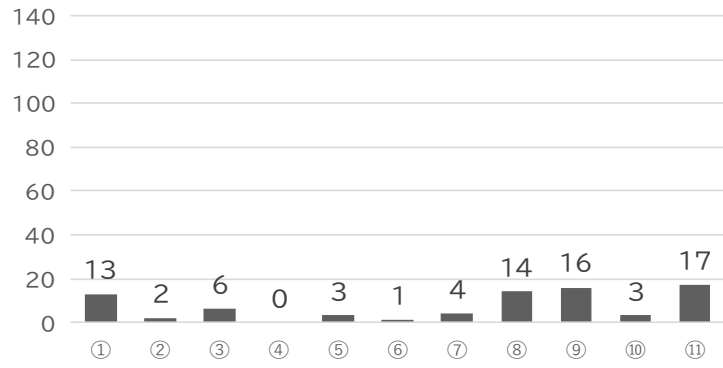
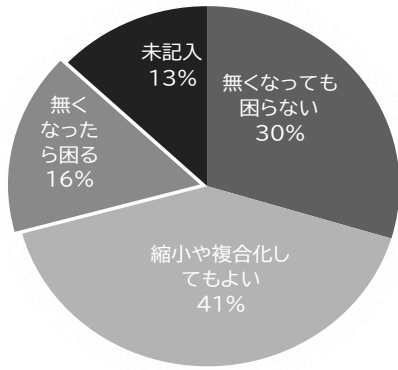
北条体育館



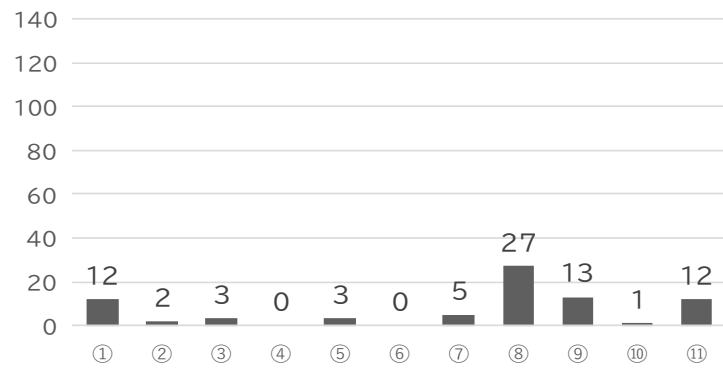
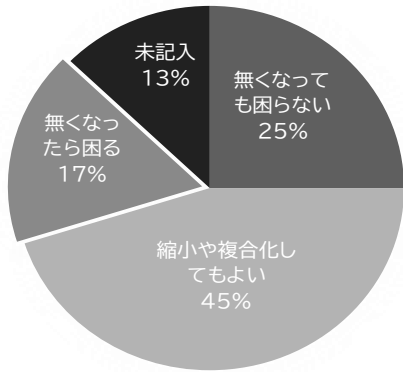
大栄体育館



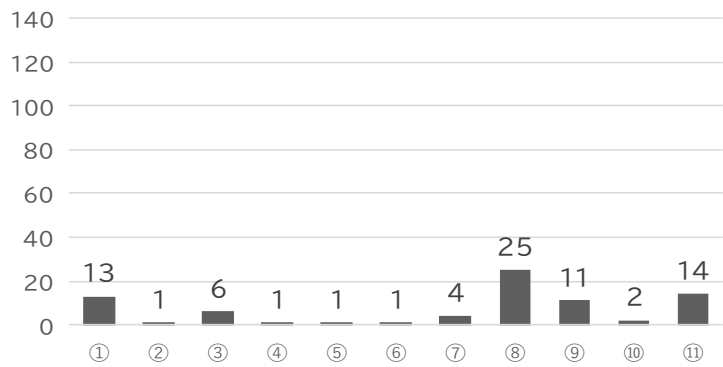
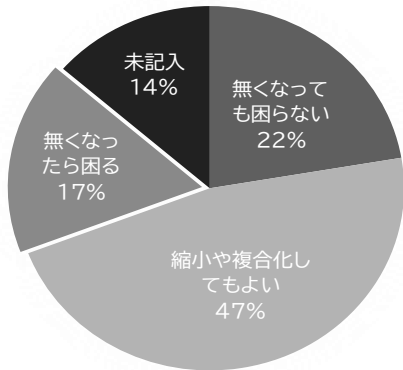
### 大誠体育館



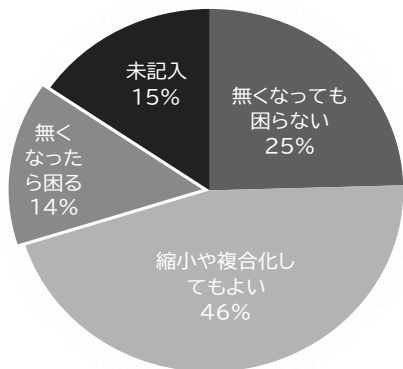
### 大栄ふれあい会館



### 北条ふれあい会館



### 勤労者体育センター



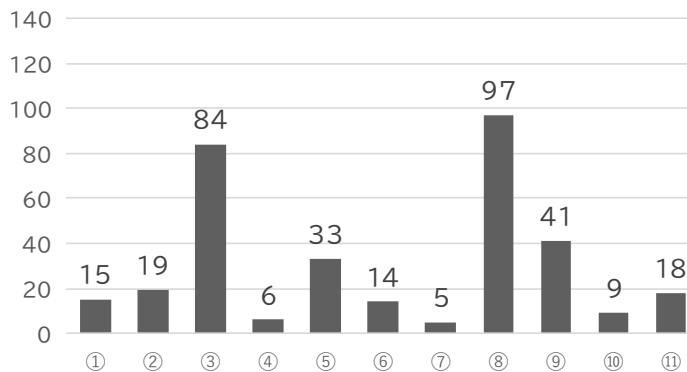
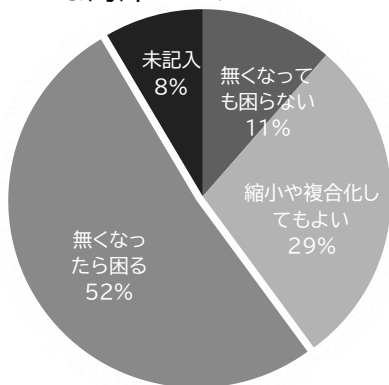
次のそれぞれの施設の「将来的なあり方」について、あなたはどのように考えますか？

無くなったら困る理由凡例

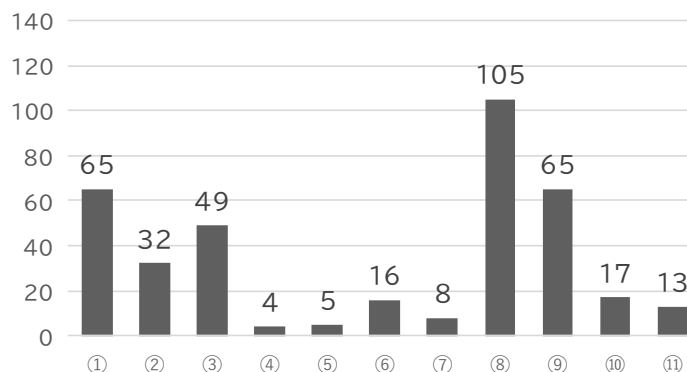
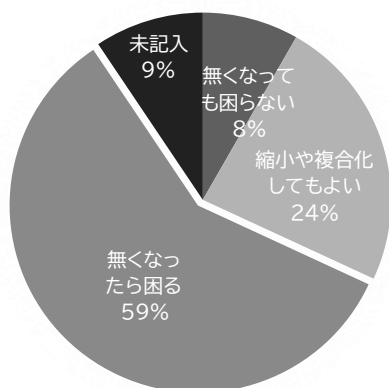
①交通アクセスがよい	②サービスがよい	③よい設備がある	④ここにしかない講座等がある
⑤料金が安い	⑥利用時間がよい	⑦部屋の広さがちょうどいい	⑧類似施設が近くにない
⑨慣れ親しんでいる	⑩建物そのものがシンボル	⑪その他	

(複数回答可)

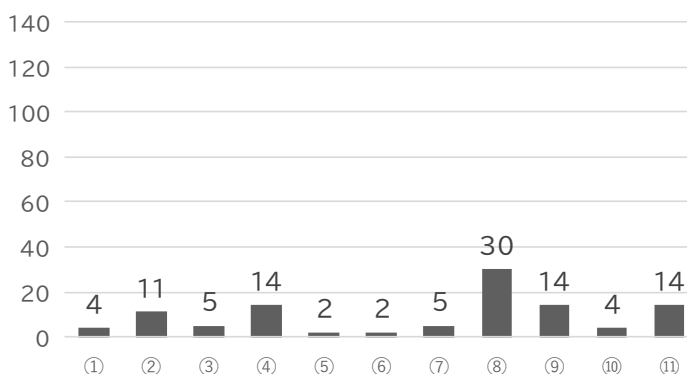
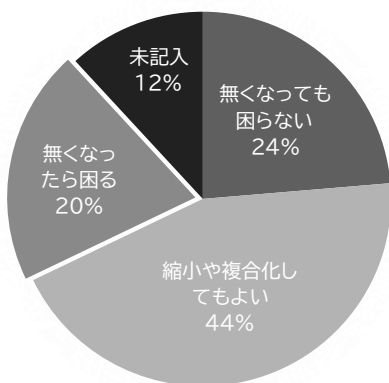
B & G海洋センター



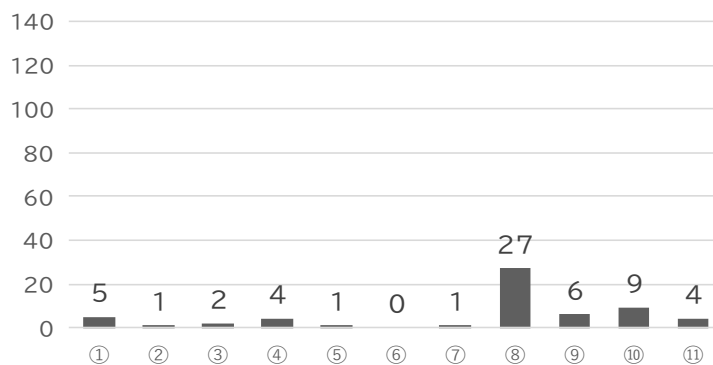
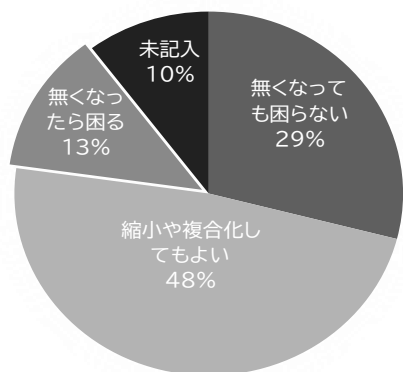
図書館 (大栄)



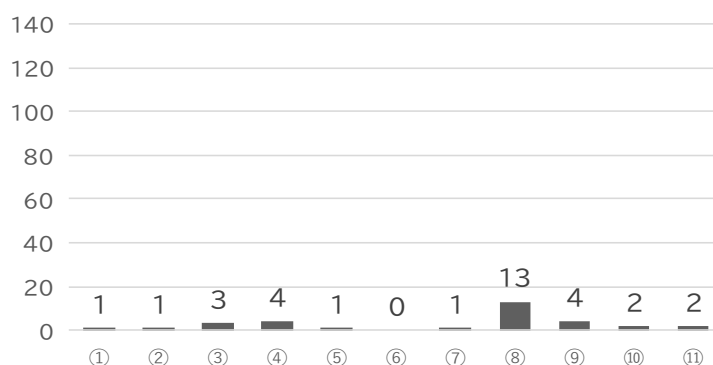
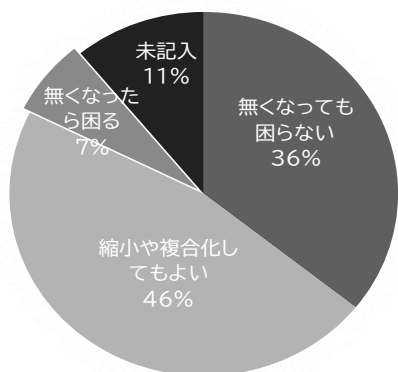
ほくほくプラザ



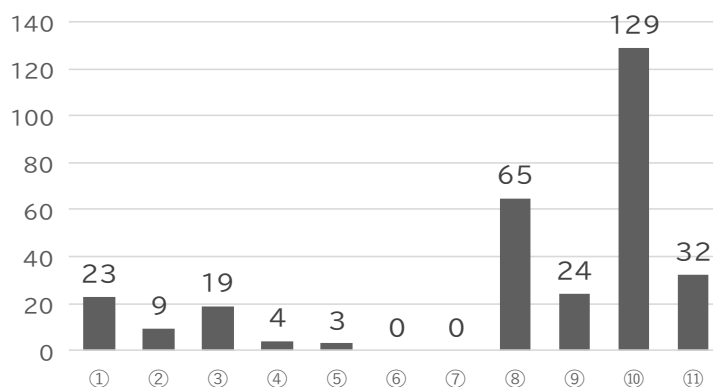
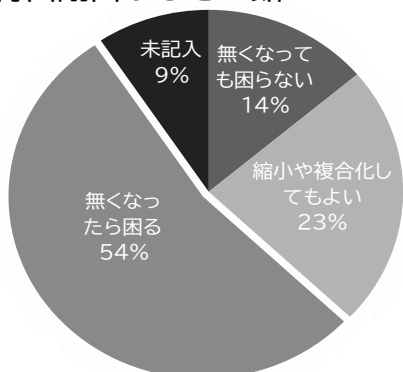
### 北栄みらい伝承館



### 民芸実習館

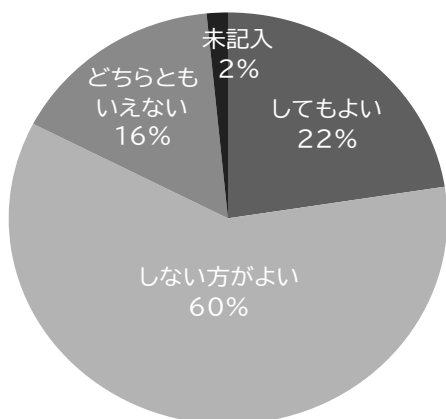


### 青山剛昌ふるさと館

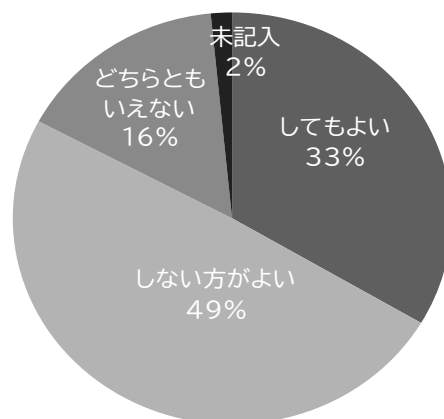


教育施設の「将来のあり方」にかかる次の質問について、あなたはどのように考えますか？

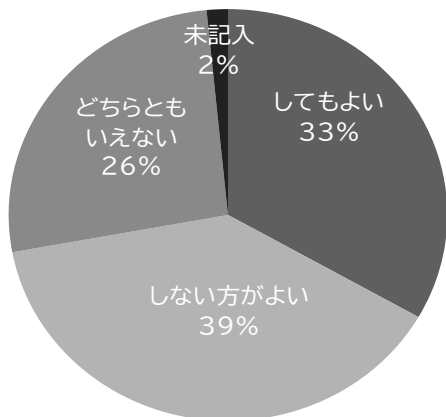
大栄小学校と北条小学校を統合して1つの小学校にする。



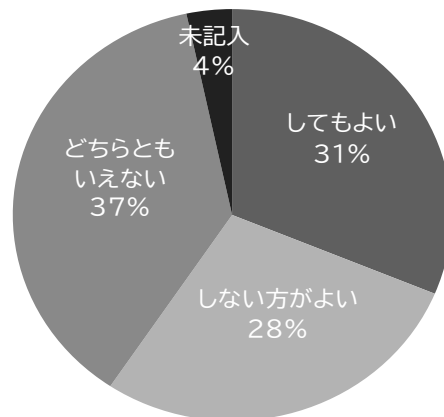
大栄中学校と北条中学校を統合して1つの中学校にする。



大栄・北条それぞれの地区で小学校と中学校を統合して、小中一貫校にする。

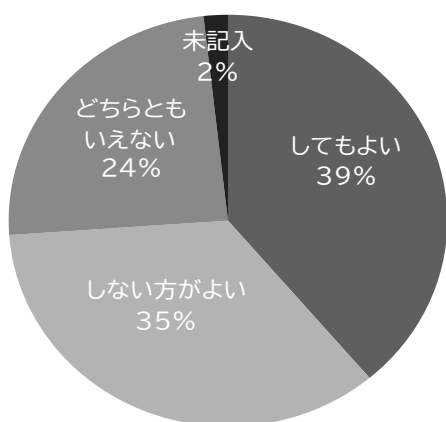


現状のまま4校全てを維持する。



こども園

廃止や統合をして、こども園の数を減らしていく。



現状のまま、4園全てを維持する。

